滿洲日報
夕刊

青史に輝く日滿兩國の親善

王道國の御若き元首 けふ櫻の國に御一歩 九千萬國民が歡喜奉迎

【東京特電六日發】東洋史上に輝く一新紀元——盟邦滿洲國皇帝陛下には帝國軍艦比叡に御坐乘、六日午前九時横濱港に御入港、わが九千萬國民歡喜して奉迎申し上げる日本本土に輝かしき最初の御一歩を印せられ、午前十一時三十分（滿洲時間午前十時三十分）帝都に御入京、午後一時三十分（滿洲時間零時三十分）宮中に御參入、天皇、皇后兩陛下と御對面、こゝに兩國皇室の固き御握手を交させ給うた、日滿協力によつて王道樂土の確立なるや、さきには深甚の謝意を表すべく鄭首相を御差遣あらせられた皇帝陛下が、けふこゝに尊貴の御身を以て御親ら帝國を御訪問あらせらる、日本の感激！、日本の慶喜！これに過ぐるものはない、一國皇帝の正式御訪日は正にこれを以て嚆矢とし、而もわが皇室におかせられては昨年御名代として御渡滿、皇帝陛下と御交驩あらせられた秩父宮殿下には横濱まで御出迎あらせられ、また畏くも天皇陛下には東京驛に行幸、親く御出迎へ遊ばされた、この盛儀こそ日滿兩國親善至高の象徴といふべきであらう

御出迎の秩父宮殿下 艦上御座所で御會見 感激、歡喜一色の港・横濱

【横濱特電六日發】滿洲國皇帝陛下御訪日最初の第一歩を印せられる六日の横濱港は、朝來薄曇りに北西二、三米の微風で絶好の奉迎日和で、限りなき感激と歡喜に滿ち、唯一筋に陛下の

御安着 を御待申し上げた、この日神奈川縣警察部では横濱稅關と協力海陸に亘る嚴重なる警戒線を布いてゐたが、午前八時を期して港内外の船舶航行は一切禁止され、喜びの裡にも靜肅の氣は漂ふ、午前八時三十分横須賀、館山、霞ヶ浦各海軍航空隊の精鋭數十機、三機、五機の編隊も見事に松永館山航空司令官の指揮の下に朝陽に銀翼を輝かせ空より御歡迎の爆音を投げれば春陽に港内の金波銀波躍つて奉迎の歡歌を奏すかゝるうちを天皇陛下の御沙汰により御出迎への秩父宮殿下には陸軍大尉の御正裝にて林權助男以下各接伴員を從へさせられて第四號岸壁御休憩所に御着、又柳川第一師團長、末次横鎭長官、谷東京警要塞司令官、飯田横濱稅關長、石田神奈川縣知事、大西横濱市長以下文武奉迎者を始め海軍儀仗兵一大隊、陸軍儀仗兵一個中隊、有資格者、鄕軍、青年團、各學校等の奉迎者は夫々所定の位置につき胸躍らせて御入港を御待ち申し上げた午前八時四十五分主檣高く滿洲國海軍旗を飜した光榮の

御召艦 比叡は、叢雲、薄雲、白雲の各供奉艦を從へ堂々碧波を蹴つて港口に雄姿を現すや外港にあつて滿艦飾を施した儀艦艦那智、那珂並びに港内の儀禮艦嚴島は一齊に諸員登舷禮を行ひ、同時に二十一發の皇禮砲が發せられた、殷々として港内外を壓する砲聲は日滿親善の響を水天の間に轟かせて響きわたる、在港中の内外船舶も一齊に滿船飾を施せば御召艦は悠々港内第十號浮標に繫留された、これより先隣從員入江滿洲國宮内府次官は大連まで御出迎申上げた坊城接伴員と共に小浮棧橋より上陸、上屋二階にて皇帝陛下が沈宮相謹話の形を以て發表せしめらるゝ最初のメッセージを發表された、かくて同九時四十分秩父宮殿下には林男以下接伴員、末次横鎭長官を從へさせられて皇族旗燦たる御召艇にて御召艦比叡に成らせられ、御座所長官公室にて皇帝陛下に御會見、御久方振りの固き御握手を交させられ、先づ秩父宮殿下より天皇陛下の御沙汰により

御出迎 へ遊ばされた旨の御挨拶あらせられゝば、陛下にはいとも御懷しげに迎へさせ給ひ懇なる御禮の御言葉あり、續いて殿下には接伴員及び末次長官を御披露遊ばされ、陛下には隨從官以上の扈從員を御紹介あらせられたと洩れ承はる、同十時二十分陛下並びに秩父宮殿下には諸艦の皇禮砲登舷禮裡に井上艦長の御先導にて御退艦、明石横濱稅關港務部長の嚮導艇御嚮導の下に午前十時三十八分大浮棧橋に御上陸遊ばされたが、陛下には滿洲國陸軍大元帥の御正裝も莊嚴に長途の御船旅にもかゝはらず、些かも御疲勞の御模樣なく、御機嫌麗しく拜された、御上陸と同時に飯田稅關長御先導の下に新裝清々しき臨港驛プラットホームに進ませられたが、御途中奉迎の諸員に一々擧手の禮を給ひ、又秩父宮殿下と御同列にて陸海軍儀仗兵を

御閱兵 あらせられた、かくして陛下には晴れの奉仕を御待ち申し上げてゐた金色の御紋章燦たる御召列車に乘御、同十時四十七分臨港驛御出發御歡迎の熱情に沸る帝都に向はせられた、この時又もや皇禮砲轟いて横濱の天地を喜びの聲に搖り動かせば、全市民日滿兩國旗を打ち振り萬歲を高唱して陛下を奉送申し上げた

兩盟邦を久遠に結ぶ 聖上、皇帝御握手 東京驛頭曠古の御盛儀

【東京特電六日發】滿洲國皇帝陛下御入京當日の東京全市はたゞ歡喜のるつぼと化し、春霞のヴエールをかけた爛漫たる櫻花の蔭に日滿親善の縮圖が限りなくくり擴げられてゐたが、この日

畏くも 天皇陛下には陸軍式御正裝に大勳位菊花章頸飾を御佩用、午前十一時十分略式自動車鹵簿にて宮城御出門、同二十分東京驛御車寄に着御、御先着の各皇族殿下を始め奉り、岡田首相以下重臣顯官の奉迎裡に便殿に入らせられ、十一時二十二分緋の絨氈敷かれたる第三ホームに出御、ついで岡田首相以下各國務大臣、一木樞相、牧野内府、湯淺宮相、西東京警備司令官、田代憲兵司令官、小栗警視總監、橫山東京府知事、牛塚東京市長、丁滿洲國公使他文武顯官約百二十名しく整列したが、滿洲國皇帝陛下に深き御ゆかりを有する第三ホーム參列の外相芳澤謙吉、前滿洲國顧問宇佐美勝夫兩氏がつゝましく控へてゐるのは人々の注目を惹き、この外近衞儀仗兵一個中隊、陸軍々樂隊が一糸亂れず整列してゐたが、第四ホームには公爵以下の宮中席次を有する文武百官、在留滿洲國各機關代表約二千名、同じく大禮服、燕尾服を裝うて堵列、何れも

五色旗 の模樣鮮かな滿洲國建國功勞章を胸間に輝かしてまこと盟邦の元首を迎へまつるにふさはしい景觀を描き出してゐたかくて午前十一時三十分（滿洲時間午前十時三十分）ゆるやかに奏で出された滿洲國々歌の莊嚴なる旋律に乘り、皇帝陛下の御召列車は先頭に日滿兩國旗を飜しつゝ滑るが如く進入、所定の位置にピツタリ停車した、最後部に連結された菊花御紋章燦たる展望車より御出迎への秩父宮殿下御下車遊ばされ、續いて滿洲國皇帝陛下には陸軍御正裝にてホームに降り立たせられ、茲に兩國元首の御雙眸は御力強さをしみ〴〵と拜し奉つたかくて松平式部長官の御先導にて天皇陛下を御右に御肩を並べさせられ重臣顯官に御會釋を賜り、御同列にて近衞儀仗兵の御閱兵ありたる後、中央道路を御車寄に出であらせらるる裡に午前十一時三十五分

御旅館 赤坂離宮へ……せられ、天皇陛下には十一時三十五分龍顏殊に麗しく宮城に……ばされ、東京驛頭の歷史的……了らせられた させられ、皇帝陛下には駿馬四頭鑾駕勇む金色の無蓋儀裝馬車に御乘車、秩父宮殿下御同乘、林首席接伴員御陪乘、近衞騎兵の槍旗を先頭に、畏くも天皇陛下御見送り

肅然たる鹵簿 御旅館赤坂離宮へ

【東京特電六日發】九千萬同胞御歡迎裡に無事御入京遊ばされた滿洲國皇帝陛下には、東京驛頭における聖上陛下との初の御會見を終へさせられ、午前十一時四十分（滿洲時間午前十時四十分）東京驛中央御車寄せより秩父宮殿下

御同乘に て御料四頭馬車に御乘車、林接伴員御陪乘、沈宮相張侍從武官長以下扈從員の坐乘する儀裝馬車を從へさせられ、公式鹵簿にて御旅館赤坂離宮に向はせられたが、御沿道一糸亂れず肅然として迎へ奉る近衞儀仗兵を始め、日滿兩國旗を各々手にせる男女青年團、各學校生徒その他諸團體、一般奉拜者に對して御會釋を賜はりつゝ進ませ給ふ陛下の氣高き御相貌は今ぞ特に御輝かに、奉拜者何れも言葉もなく、建國以來の御心勞を思へば胸打つ感さへ催す程であつた、鹵簿民の喜びの裡に市内各所より揚ぐる奉迎煙花春空を搖る櫻花にこだまする中を進みて進み、驛前廣場を飾る

滿洲國風 の大奉迎……て、松の綠も濃やかなる……に、拓務省前より右折、……門を左折、虎の門より赤……

宮中鳳凰間において 輝かしき御交驩 我兩陛下に動章御贈進

日滿の盟約緊密
外務大臣 廣田弘毅

盟邦滿洲國の皇帝陛下の御來訪を奉迎するに當り我國朝野九千萬の同胞は擧げてこの歷史的慶事に對し心からなる歡祝の意を表すると共に深い感激の湧くを禁し得ない抑々我帝國は建國以來他國皇帝の正式御來訪を御迎へ申上げたるは未だ嘗て無く、今次の御來訪を以て嚆矢となすのである、而も滿洲國と最緊密友好の關係に在る隣國の國であつて、この度滿洲國皇帝陛下の御來訪を御迎へすることは寔に前古未曾有の大儀といふべく又以て東亞の史上に永劫不滅の跡を印すべき最重なる意義を有する歷史的盛儀と稱すべきである顧るに滿洲國が三千萬民衆の總意に基いて獨立するや帝國は列國に率先して之を承認すると共に日滿議定書を締結して不可分、不可離の關係を形成し之を支援する確固不動の決意を示したのであつた加之客年六月には秩父宮殿下をかせられては畏くも天皇陛下の名代として帝制實施祝賀の……洲國を御訪問遊ばされ、ま……帝國皇帝陛下の御來訪を迎へ……兩國の親睦盟約は愈々緊密……今や世界に類例を見ざる……の關係は更に陸離の光彩を……に至つた惟ふに滿洲國は建國の日淺きにも拘らず治安は著しく改善……の施設制度は益々整備して……に建設の實を擧げ、國運は……く國運は隆々として進み……

御盛儀拜觀の滿洲國團體

兩國民に御垂範
陸軍大臣 林銑十郎

一大盛事
宮内大臣 湯淺倉平

一入感銘
海軍大臣 葵刈 隆

この歷史的御盛儀
滿洲國民の欣慶に勝へず
沈宮相のメッセージ

【横濱六日發國通】滿洲國皇帝御來訪に際し、沈宮内府大臣は六日午前九時十五分横濱稅關屋上において謹話の形式にて左の如きメッセーヂを發表した

此次我皇帝陛下の日本國帝室を訪問せらるゝは空前未曾有の盛事にして東洋歷史上に一新紀元を拓かれるものにして洵に日滿兩國民の欣慶に勝へざる所なり、我滿洲建國の肇に方り日本國は大仗によつて之を扶持し力を竭して援助し軍事には無數健兒の生命を犧牲とし、外交上には儼乎として國際聯盟の脫退を惜しまず以てわが爲めに立國の眞意義を表明せられたり

★

我皇帝陛下は曩に誠意民の爲に執政の任に就きてより政協ひ人和き復び天意に遵ひ多方の贊助により帝制を實施せしめ三千萬民衆盆に歸依する所なり、倶に王道政治の樂を享けたり、登極大典の禮既に成るや日本天皇陛下特に皇弟秩父宮殿下を差遣し給ひ厚く賀を效し誠意周旋訴合間るなし、既往の事實既に然り、この誠懇の酬答なき能はざる所以なり、兩國の特殊緊密の關係は分離すべからず、蓋し天然の形勢と我東邦固有の道德に基き相結合せるに外ならず

★

此次皇帝陛下と日本天皇陛下と親しく相睦み給はゞ、兩國々交の親善富に日に增し濃厚を加へて鞏固となり必ず東洋平和の上に莫大の公益あらんこれ將來に企圖する所にして此の盛大なる擧なき能はざる所以なり、睿謨深遠にして誠を積むこと既に久し、今や春

★

景和明の候に値ひ乃ち幾……して駕を命じ期を定めて……せらる、海陸萬里毫も跋……艱勞を憚らず茲に四月二日……朝六時五十分新京發輦と……午後五時二十分大連驛に……る、各團體及民衆の歡呼……奉送する者甚だ多し

★

是より先日本天皇陛下の……派し給へる御召艦比叡既に……を升けて發航を待つあり、……三十分艦に上れば禮砲……して春雷の轟くが如く同……に出港、艦中一切の設置……は備に隆盛を極む、航海の……皇情豫悅異常にして起居……康適を極めたり四日往き……州の西南海を過ぐるに、……海軍中將の統率する聯合……七十餘隻と會ひ各戰隊每……禮砲を放つて奉迎せり、……東京灣に至れば横須賀鎭……管下の各航空隊あり、……列式を行ふ壯觀極まりな……

★

今日朝九時御艦横濱に御……

扑舞歡喜
陸軍大將 本庄繁

……微力を陛下が建國の大業に……、不肖の陛下における公私……ら因縁淺からざるものあり……今や陛下遠く我皇室を來訪……、眞に有史以來未だ曾て見……盛事なり、不肖この盛事に……んとし忻躍抃舞歡喜の自ら……發するを禁ずる能はざる……

在留滿人の奉迎
八日駐日公使館にて

御歡迎

無慮十萬の奉迎陣

聖上の御出迎に我國民恐懼感激
鄭國務總理謹話

大空軍陣展開
高等技術を御覽

關東軍行賞

滿鐵辭令（六日）

蛇角

ばいかる丸 七日午前七時……

埠頭事務所を縮小 現場業務を統制

新京出張所長古川達四郎氏 十日迄に發表實施

鐵道部改職

既報の如く滿鐵鐵道部職制改正は急速に行ふことゝなり、六日朝鐵道部沖田庶務課長の歸任を俟つて各課長は部長室に會合、山口、清水兩次長と共に改正職制及び人事に就いて協議、午前十一時決定をみた、案は既に四日の重役會議において承認を得てゐるので沖田庶務課長は直に決定案に基いて人事の配置を手續中であるが十日までに發表實施をみることに決定した、是れによれば既報の鐵道部新京出張所長には現北鮮管理局次長古川達四郎氏が決定し、鐵道擔當理事の直屬機關として鐵道部及び總局との連絡機關として重要使命を遂行することゝなつた

鐵道部四事務所の廢合は既報の如く大連、奉天二鐵道事務所に併合し庶務、營業、事務、工務の四長を改め縣案の課長制を實施することゝなり庶務、營業、運轉、工務の四課を置くことゝなつた、このうち大連鐵道事務所には四課のほか課同格の埠頭長を置くが之によつて現在の本社港灣課及び埠頭事務所を廢し、港灣關係業務は埠頭長の下に包含するほか、更に輸送關係業務は本社貨物課の下に海運係を設置して之が當ることゝなつた、右の如く埠頭事務所が縮小されて夫々關係機關の下に包含されたが之によつて鐵道現場業務の統制を圖り運輸の圓滑なる連絡をはかる事が今次の改正の眼目である

兩事務所各課長内定

廢止課所長は暫く待機

別項の如く鐵道部職制改正の結果人事異動を伴ふが廢止される港灣課長小澤宜義、埠頭事務所長關根四男吉の兩氏は暫く鐵道部附として待機の形をとり、關根氏は勇退するとも傳へられてゐる、このほか兩鐵道事務所各課長は左の如く内定を傳へられてゐる

▲大連鐵道事務所
營業課長　九里正藏
庶務課長　菊田直次
運轉課長　大西正弘
工務課長　園田光雄
埠頭長　中富清美

▲奉天鐵道事務所
庶務課長　高澤公太郎
營業課長　關弘
運轉課長　七田積

なほ工務課長には新京鐵道事務所から轉入するが本社貨物課海運係主任には埠頭事務所庶務係主任藤津秀市氏が有力視されてゐる

宇佐美總局長

【奉天電話】北鐵接收を終へた宇佐美總局長は五日午後十時三十分着列車で歸奉、同夜は二時半まで杉、伊澤兩次長、下津總務處長等と接收報告の後今後の方針に就き愼重協議を重ね六日は午前十時より引續き理事公館において協議をなした

内地採用の新社員

千名續々來連

滿鐵が内地で試驗採用した今年度新入社員のうち專門學校、大學卒業者は七日入港のばいかる丸で來連する二十餘名を先陣に八日のあめりか丸、九日のうすりい丸、十日入港のたこま丸を殿に四百名全部が滿鐵社員會の盛んな歡迎を受けて憧れの滿洲の大地を踏み輝かしい滿鐵マンのスタートを切るこれ等の高級社員の卵は十一日から一週間協和會館で聘内各部長の權威者から社員の心得と滿洲國と滿鐵に關する一般的の智識を吹込まれる講演を聽かされその後は所屬の各部で支那語その他の講習を受けいよ／＼實務に就くことになる

なほ中等學校卒業者六百名は十五日のうらる丸、十六日のはるびん丸の兩船で來連する

方面總會開催

大連民政署では來る九日午後四時から滿鐵社員倶樂部において方面總會を開催、米内山、水谷の新舊兩署長をはじめ方面參事七名、方面委員四十三名列席、九年度中の方面事業報告の後各方面委員からの感想、希望條項を聽取して今年度方面事業の改善に資することゝなつた

春のウヰンク ㈠

甲羅は自慰のみ

龜よ
友よ我
が姿よ。
汝に威嚇の
武器、烈々の
焔なし。
さればおどけた表情
可愛らし、と賞づ。
打ち續く嵐。
甲羅ぞ汝の防壁。
フト靜かなるあたりの氣配に
首を出す。
燦々たる春光！
されど無限の鋪道に力無き足跡。
あゝ我れピエロよ。
甲羅は自慰のみ。
囚はれの身、我れは。
（寫眞は街頭に賣る龜、港橋附近にて）

榮轉の齋藤少將

七日、光で母國に凱旋

【新京電話】過般の陸軍定期異動で高崎旅團長に榮轉の齋藤彌平太少將は東部國境方面の警備に赫々たる武勳を殘し母國に凱旋することになり五日午後三時着列車でハルビンより來京、六日關東軍司令部を訪問し南軍司令官、西尾參謀長に離滿挨拶をなし七日午前七時發光にて朝鮮經由歸國することになつた、離京に先だち同少將は語る

別に感想はないが只一つ國防第一線にあつて相共に御國の爲に辛苦を共にして來た部下達と別れることが如何に寂しいことかをつく／＼體驗した、自分だけが一人先んじて歸國するのが何か相濟まぬ氣がして實に辛い思ひをした、一先づ郷里名古屋に立ち寄つてから上京し任地高崎に向ふ積りだ

中村大尉離連

陸軍運輸部大連出張所に滿二年十一ヶ月を勤め幾多の業績を遺し運輸部本部に榮轉した中村勇次郎大尉は六日うらる丸で盛んな見送りを受け家族同伴で赴任の途についたが船中語る

懷しい大連を去るに際し感慨無量です、在連中の各方面の御厚情は感謝に堪へません、最も感激したことは私が仙臺に勤務中下宿の御世話になつた本間專平――さん專平さんの息子博君が現在醫學士で衞生研究所に勤務し沙河口の官舍に居る關係上同官舍に起居してゐますが――は八十六歳の老齡で足が惡く歩行困難なのに昔のことを忘れず小生の出發だといふのでわざ／＼見送りに來て激勵して呉れたことです

宵の辻强盜

幻團の副團長、

高飛び準備中のふたり 二ヶ月半目に捕る

一月二十二日宵の伊勢町通で大連中學一年生二名が二人組の學生風辻强盜に襲はれた事件は當時市民に相當のショックを與へたが事件以來二ヶ月半杳として不明であつた犯人の足取りが漸く判明、六日午前十一時までに相次いで大連署三牧刑事に逮捕された

その時の被害者は伊勢安利（一五）長村敏治（一五）の兩君共に大連中學一年生、暗闇から現れて矢庭に短刀樣のものを突きつけられ嚢口を强奪された事件であつたが、兩君等の恐る／＼語る犯人の人相から三牧刑事は大連市内に巢喰ふ幻、陽炎の不良少年團の一味とにらみ二ヶ月半かゝつて二十四、五名のものを片つ端しから調べ上げた結果漸く早苗町十九番地齋藤正夫（一九）乃木町一一藤崎佐吉（一九）――共に假名の兩名が犯人であることを確め六日午前十時藤崎を同十一時齋藤を共に自宅に於いて取押へたが兩名は何れも幻團の副團長格で既に一味の忠告から高飛びの用意をなして居たところであつた

嚴重取調べの結果犯行の全部を自白したがなほ餘罪ある見込みで追窮中、これをきつかけにして市内に潜伏する不良團は殘らず檢擧される模樣である

母が欲しかつた！

アミー、親戚等々〃各代表〃あて 自殺青年が〃聲明書〃

母性愛を知らぬ一青年が春にそむいて厭世自殺を企てた、――六日午前六時頃市内信濃町六十一番地鐵西館（旅館）女中スギ（二七）さんが三階三號室に朝の火鉢を持つて行かうとすると室内から異樣なうめき聲が洩れて來るのであわてゝ扉を排し室内を調べてみると三月二十七日杉村良夫（二五）の名で投宿して居た青年が毒を呷つて苦悶中であることがわかり大騷ぎとなつて市内駿河町二十四番地志摩醫院に速報、應急處置を施した後赤十字病院に收容手當中であるが相當重態である、大連署からは澁邊檢證係が急行檢證を濟ませたが宿帳の杉村良夫は變名で京都府加佐郡新舞鶴町字市場村田修之助（二五）が本名、四月一日旅順に行くと稱し同館を外出六日午前一時頃飄然と歸宿し間もなく服毒したものと見られてゐるがその動機と思はれる點を遺書に拾へば、警察官、恩人代表、新聞記者、アミー代表、恩師代表、親戚代表、友人代表の分に

〃世に謂ふ親馬鹿でこそ親は良い物だと思つてゐる、優しい母何でも甘へ得る母が欲しかつたはつきり言ふと僕を生んでくれた實母が欲しかつたのだ、實母も死に、實父も死に、實兄も死に、實姉は病氣、こんな悲慘な事があるだらうか、小さい時から俺は運命の神からこんな苛酷な試煉を受けてゐたのだ〃とあり母性愛を知らぬ厭世を物語つてゐるが、更に感想らしく〃ゴルフやマージヤン、やれパーテイだのやれ〇〇會だのそんな事は第二義ではないか兄弟であるべき日本臣民（中略）子供達が唯自己の爲私腹を肥やさんが爲め又快樂のため金品を費消する等もつての外だ、そんな餘裕があれば哀れな同胞を助ける機關を作つてはどうか〃と教訓じみた言葉も殘して居た

老人轢き殺さる

平癒祈願參詣の途中

六日午前三時頃市内尾上町一四〇先を通行中の聖德街四丁目一七九浦部淸太郎（六三）は折柄進行して來たほまれタクシー運轉手浦川康雄（二七）の自動車に轢き倒され顔面打撲による腦震盪を起して即死、屆出により小崗子署から係官が檢證したが、被害者に非があるか運轉手に非があるかの點は被害者が即死したので詳細判明せず、目下取調中であるがこのお爺さんはこれまで脚部が惡く醫者にかゝつたがはかばかしくなく譚家屯人の道教會に通ひ神信心してからは具合がいゝので同朝も未明から同教會に行く途中この奇禍にあつたものである

頻々たる拔荷 門司に本據か

ほさんご定期船航海毎に被害

徹底的に檢擧の手

門司より大連入港の商船定期船内に最近拔荷事件が頻發し殆ど每航海被害者が出てゐるが

二日入港扶桑丸では大阪井上良商店員武田某君がトランク内より衣類十三點（約百八十圓）また五日

入港の ハルビン丸では市内連鎖街本町通安田春代さんが同じくトランク在中の衣類五點（約九十圓）が何時の間にか拔取られてゐるのを發見

現在水上署司法係に屆出られてゐる額だけでも千圓近くに上つてゐるので司法係では刑事を總動員し極力内偵を續けた結果、犯人は門司に本據を有する一團ではないかと見られる點多く、門司水上署に事件を移牒し徹底的取調べを要求した

即ち手荷物が大連に到着して陸揚され更に手荷物扱所まで運ばれる間は第二埠頭係員を始め

監視係 の嚴重な監視があり時間的にも到底この僅かの間に拔荷を敢行する餘裕はない而かも不思議な事に荷物が神戸或は門司より船内に持込まれた時、事件發生の際搜査の重要な參考となるべき合鑑が何時の間にか捥ぎ取られてゐるこれが事件を解決する唯一のキーと見られるに至つたのである、從來下關と門司の驛から港を中心として官許の赤帽と私設の赤帽が多數入交つて乘客の荷物運搬を爭奪し、一般乘客には赤帽の善惡の見極め附かず品物が

何時の 間にか紛失したり、不當賃金を要求されたり甚しく迷惑を蒙つてゐる實例は少くない

大衆文藝物語の夕

六、七兩日午後七時より協和會館で

伍東宏郎・里見義郎口演

會費　一般七十錢　讀者・倶樂部員五十錢

主催　滿洲日報社

投擲團體競技

滿洲初の試み

大連アスレチック倶樂部では來る十三日午後四時より大連運動場に於て滿洲陸上競技界の最初の試みたる投擲團體競技會を催すことゝなつたが參加規定左の如し

▼種目　砲丸投、圓盤投、槍投、鐵槌投
▼チームの組織　DAC所屬の各分會及び學校單位とし一團體三人宛とす
▼順位　出場選手三名の合計成績の優劣を以て順位を決定す
▼申込方法　來る十二日までに出場選手名を明記し滿鐵地方部學務課體育係氣付DAC宛申込みのこと

同では來る十二日午後四時三十分より滿鐵社員倶樂部にて本年度總會を開催することゝなつたが多數會員の出席を希望すと

大倶對育成戰延期

七日午後四時半より大連運動場において擧行する筈であつた大倶對育成戰は育成方選手の都合上延期することゝなつた

福田勝藏氏

滿洲主要都市に各支店を有し斯界有數の老舖として知られた市内浪速町二丁目硝子商福田勝藏氏は豫て胃癌にて養生中であつたが、去る五日午後三時十五分逝去した、行年六十歳

因みに氏は明治十八年渡連、明治三十九年開業以來孜々として業務に精進し現在の地位を固めた人であるが、性格は圓滿にして多方面に敬愛され、近來は聖德會評議員及び現業員組合の責助員等をもつとめて居り氏の逝去は各方面から惜しまれてゐる

尚ほ葬儀は七日午後二時攝津町大聖寺において佛式により營まれる筈

天氣豫報

（七日）南西の風　曇後晴

各地溫度（六日）

地名	午前五時	午後一時
大連	七	一三
旅順	六	一四
營口	六	一五
新義州	零度	一二
奉天	零下四	一六
新京	零度	一四
哈爾濱	零下三	一二
承德	三	未着

當の美濃部博士 態度頗る强硬

學說問題・政府處置に窮す

【東京特電五日發】憲法學說問題に對し政府は議會で適當な處置を執る旨言明した成行きがありまた軍部その他の要望が熾烈であり國體擁護のため該學說を抹消すべしとの要求がある際

全部 その要望に副はぬまでも成るべく穩健なる處置をもつて機關說の如き學說を解消するやう努力し度々人を介して美濃部博士に自發的の訂正を促した、しかるに博士は學者として研究の結果十分の自信をもつて發表したものを反對論があるからといつて一々訂正してゐては學說としての權威は皆無でまた學者の立場がなくなるといふので

態度 頗る强硬政府の希望に副はぬので當局は處置に窮してゐる、よつて司法部の告發問題に關し一應博士の出頭を求め詳細なる意見を聽取した上場合により博士の著書を發賣禁止し問題を一段落とすべしとの說もあるがこの發賣禁止もまた多年に亘る學說に對し今日改めて處分を加へることが妥當なりやまた學界に及ぼす影響等も考へねばならぬので問題は容易に解決點に達しない模樣である

七日・出頭を求め 一應の說明聽取

辯明如何では一波瀾

【東京特電六日發】小原法相は五日金山次官及び木村刑事局長を招致し美濃部問題に關する閣議の内容を說明した上司法部の對策について協議した結果、司法部としても早急に處理しなければならぬ關係にあるところから檢事局に命じて成るべく速かに博士を召喚一應の說明を聽取させることに決定し特別の支障起らざる限り來る七日午前中に普通の召喚形式によらず電話にて東京地方裁判所に任意出頭を求めることになつた、思想部主任戸澤檢事は同氏の憲法學說中不穩と認められる部分につき一應の說明を聽取し併せてその國體觀念をも質すことになつたが司法當局でも愼重に豫備的調査を重ねた結果、同氏の憲法學說中には國體の本義に照して穩當を缺く箇所ありと認めてゐるので博士の辯明如何によつては告發、事件處理にも相當支障を來すのみならず延いては行政的解決にも波瀾を生ずるであらうとみられてゐる

參加隨意

第一回ハイキング

愈々明七日午前九時
大連神社國旗臺下に集合
老虎灘裏街道で

主催　滿鐵運動會遠足部　滿鐵社員會體育部　滿洲日報社

親鸞聖人 (174)

女人篇

吉川英治作　山村耕花畫

時雨の罪（九）

やがて、鷹司卿が、

「使僧」と、よんだ。

「は」

範宴は顏をあげた。

「お許、何にても、師の叡圖にかはつて、答へ得るか」

「師のお心をもつて——」

「うむ」

うなづいて少し膝をすゝめ、

「さらば問ふが、不犯の聖たる僧正が、あのやうな艶めかしい戀歌を詠み出でたは、そも、何ういふ心情か」

「僧も人間の子にございます故——」

「なんぢや」

大膽な範宴の答へに、諸卿は色をなして、

「——では、僧正も人間の子なれば、女犯あるも、戀をするも、當りまへぢやと、お許はいふか」

「さは申しあげませぬ」

「でも今、僧正も人間の子なればと返答したではないか」

「いかなる聖、いかなる高僧といへ、五慾煩惱もなく、惡業のわづらひもなく、生れながらの心のまゝ白髮になることはできません。大地は、ふかく氷を閉ざしても、春となれば、草は燃え、花は狂ふ。その花も赤、永劫に散らすまいとしても、やがて、青葉となり秋となるやうに。——これを大地の罪といへませうか、大いなる陽の力です、自然の攝理です」

「さやうな論は、云ひ開きにはならぬ、いよ／＼、僧正の罪を、證據だてるやうなものぢや」

「しかし」

範宴の頰には若い血が春そのもののやうに紅くさした。

「しかし何ぢや」

「釋尊は、人間が、その自然の春に甘えて、五慾におぼれ、煩惱に焦かれ、可惜、永劫の淨土を見うしなうて、地獄にあえぐ苦患の狀を、あはれとも悲しいことゝも思はれました。さらば、佛陀は第一に、五戒を示し、五戒の條のひとつには、女色を戒めておかれたのです」

「それを犯した僧正は墮獄僧ぢや、遠流に處して、法門の見せしめとせねばならん」

「僧正の身は御潔白です、あのお歌が、若々しい人間の戀を脈々とうたつてゐるのでもわかります。密かに、女犯の罪を重ね、女色に飽いてゐる人間ならば、あのお年齡をもつて、あのやうな若々しい歌は詠み出られません、もう、人間の晩秋に近い僧正の肉體です、それなのに、まだあのやうな歌が詠まれるのは、いかに、僧正が、今日もなほお若いお心でゐるといふ證據であり、さういふ肉體を老年まで持つには、清淨な禁慾をとほして來たお方でなければない筈です。殊に又、御自身に、お疑ひのかゝるやうな後ぐらい行狀があれば、なんで、情痴の惻々と打つやうな戀歌などを、歌會の衆座に詠みませうか。もつと、聖めかした歌を詠んで、おのれの心をも、人の眼をも、僞らうとするにちがひありません」

範宴はすゞやかに云つて退けた。ことばの底には、人を打つ熱があつた。彼は、僧の禁慾がいかに苦しいものか、自分にとつて尊いものか現在の自分を、現在の自分に比べても餘りに分りすぎてゐる。彼は、師の辯護をするといふ氣持よりも、いつか自分の行の深刻な苦惱に對して、思はず涙を流して云つてゐるのであつた。

伍東、里見の第一聲 六日協和會館で

關西映畫說明界の双璧伍東宏郎、里見義郎兩君の渡滿第一聲はいよ／＼六日午後七時より本社主催の大連協和會館にてあげられるが「大衆文藝物語の夕」の人氣は大連全市の話題の中心となり大成功を豫想されてゐる、又沿線各地にかても一行の巡演日程ほゞ決定し前人氣旺んである

日活で音樂映畫 川畑文子主演

今夏五ヶ年の豫定で歐米音樂行脚に出發する川畑文子は故國を去るに當つて日活渡邊邦男監督の音樂映畫、サトウ・ハチロー原作・全發聲「裏街の交響樂」に主演と決定、小杉勇、星ひかる、黒田記代、西條エリ子等を相手に得意の唄と踊りでファンを惱殺することになつた

池永氏復歸で 三社協定確立か 各社幹部東京に集合

池永浩久氏の日活返り咲きは各方面から相當期待を以つて迎へられてゐたが果然紛糾途上かなりの難色を見せてゐた松竹、新興、日活三社の所謂三社協定に拍車をかけるに至り、同問題の解決のため關西在住の各社幹部が東上、東京にかて會同の上一氣呵成的に協定の實現を圖る模樣である、即ち松竹新興方白井信太郎、井上重正、日活横田永之助、池永浩久の四氏が三十日夜京都驛發東上の上大谷松竹、堤新興、杜重日活の諸氏と重要會見を行ふことゝなつた

梅村蓉子 銀幕に返咲く 「マリヤのお雪」に出演

老けの主演級パイプレーヤーに不足を感じてゐる第一映畫社に一日かつての日活大スター梅村蓉子が正式入社、直に溝口健二監督が撮影中の「マリヤのお雪」に橫井の妻通子の役で出演することになつたが、梅村が日活で賣出したのは故岡田時彥と共演した、溝口監督の「足に觸つた女」であり、今回も返り咲く映畫が溝口氏の作品であることは奇緣である、今後は瀧田の飯田蝶子と對立溝口とコンビで活躍するものとして期待されてゐる

大河内傳次郎 逢初と初顏合せ 稻垣映畫「富士の白雪」

日活の京都撮影所で池永久氏の復歸を祝つて企畫した映畫「富士の白雪」は稻垣浩監督が脚本執筆中のところ一日脫稿したので、同日午後三時から、本讀みを行つたが筋は

冬籠りしてゐた盜賊二人が春が來て白雪が解けると共に稼ぎに出かけ、それに美しき女旅藝人が絡んで明朗なナンセンスを繰返し、爛漫たるストーリーの中に池永浩久氏の復歸と日活更生を祝ふ

と云ふので、稻垣監督の持つ明朗性を發揮するものだが、之が主演者は大河内傳次郎と鳥羽陽之助で女藝人には現代劇スター逢初夢子を選び東京撮影所に目下交涉中であるが、兩三日中に決定の上クランク開始すると

入江プロ三轉 日活と提携

日活との契約を破り東寶入りを傳へられてゐた入江プロは三轉して東上中の日活杜重常務との間に正式に提携契約を取り交した、その內容は年五本の作品を日活に提供すること、契約は向ふ一ヶ年間とすることの二ヶ條で、五月には新作品〃緣の地平線〃を製作配給する筈で、しばらくの間假スタヂオで製作するがこの假スタヂオは特に同プロのために杜重日活常務が提供したものである

新京官吏消組の賣上三十萬圓を突破す

在庫は四、五十萬圓の好績

【新京電話】滿洲國官吏消費組合では業務の擴大に伴ひ過日本部を興隆ビルに移轉し、今までの行政學會の建物を賣場專用となしたが開業以來の總賣上高は約三十萬圓にして三月中のみにて十二四萬圓に上つたとのことである、なほ現在販賣品の入庫ストックは二千個で約四、五十萬圓の多額に達し消費組合業績の進展を物語つてゐる

新京の土建工事

第一・四半期は百六十餘萬圓

七月以降から激増せん

【新京電話】躍進を續けてゐる康德二年中の新京地方の土木建築工事は恐らく七千萬圓に達するものと豫想され、滿洲國の全計年度變りたる七月以降八、九月には入札額は激增するものと期待されてゐるが、既に第一四半期においても百一件九百六十餘萬圓に上つた、即ち左の如し

			合計
一月	土木 建築	三一、三三 二九、八〇三	五三、九九三
二月	土木 建築	三六六、二〇七 六四四、八一六	一、〇一二、〇二三
三月	土木 建築	一、三〇〇、六九五 六、九〇三、四〇八	八、二〇四、一〇三
合計	土木 建築	一、九〇〇、〇四三 七、三五八、二三六	九、六六九、二一九

以上の如くであるが各企業者別に見れば軍部の十三件、二百九十萬圓を筆頭に滿洲國需用處七十二萬圓、國道局六十六萬圓等である

建築講習會

受講者多數

【新京電話】愈々本年も土建工事期に入いたので滿洲建築協會では四日より八日迄の四日間滿洲土建協會新京分會々議室にて建築講習會を開催してゐるが參加者は關東軍並びに滿洲國方面の技術者等七十名の多數に上つてゐる

滿鐵の直營旅館

九年度は好況

附帶事業も增收

滿鐵直營旅館及び附帶事業の九年度營業成績は好況に惠まれて極めて良好で、旅順黃金臺ホテルを除くほかは全部前年に比し收入增加してゐる、即ち左の如し（單位圓）

▲旅館收入

	九年度收入	昨年對比增收
大連ヤマトホテル	四六九、七〇四	四五、七六九
星ケ浦ヤマトホテル	一〇七、三八四	六、一七五
同分館	一七、四一七	九二二
旅順ヤマトホテル	三〇、一二二	六、二三〇
黃金臺ヤマトホテル	二〇、二六六	（一）六〇〇
奉天ヤマトホテル	四一八、九六六	四、六七九
新京ヤマトホテル	四一六、五二二	二二四、四〇一
滿洲屋	六九、八七五	一四、二七五
五龍閣	五五、七〇七	九、二〇八
筑紫館	九、九二五	五九一
扶桑館	三九、六二四	三二、一二一
計	一、七一八、五五三	三三四、五九九

▲食堂車收入　七六二、五三一　一五〇、三一七

▲洗濯所收入　二一七、三八四　四七、三二一

▲自動車收入　四八、一三八　一二、五三四

合計　二、八一六、五五六　五六〇、五五六

遠洋近海共不振

三月中大連海運市況

三月中における大連港を中心とする海運市況は近海遠洋いづれも前月に引續き不振商狀を辿つた

▲近海方面

……漸次好轉の兆あるも石炭は若濱二圓二十錢、若松—伊勢灣一圓八十錢、室蘭—京濱二圓十五錢見當と保合ひ、大連特產物が引續き內地相場に比し逆鞘なるため商談寥々、各方面とも積荷少なく從つて運賃も軟調を呈し阪神、伊勢灣、橫濱行ともに豆粕九錢、袋物十錢、九州行豆粕十一錢、袋物十三錢、臺灣行も略同事であつた

目先豆粕の輸出期に入り當地相場も稍々下押し氣配なるため漸次好轉するものと見られる

▲遠洋方面

歐洲行大豆はなほ不冴商勢にて落花生、雜穀また不振を告げ三月積歐洲向大豆は凡そ三、四萬噸とみられ運賃も同點率は二十シルを持するも實際の取極めなく市場筋の商氣配は十六シル見當にて昭和五年以來の不振狀況を現出、散油も特殊徃行を除き引合を見なかつた三、四月は例年荷況不振なるも早晚常態に復歸すべく觀測されてゐるが現下ヨーロッパはドイツの軍備擴張ベルギーの金本位離脫に伴ふ金ブロック崩潰懸念等不安材料山積せることゝて買手には更に特產物相場の安値を見越す向もあり前途見通し難の折柄反撥困難の模樣である、アメリカ方面はサンフランシスコ、シヤートル、バンクーバー方面行落花生、麻子等の輸出比較的好調なるもニューヨーク方面行はなほ軟調を呈し一時旺盛なりし散油の引合も杜絕せる狀態であつた

哈爾濱交易所

本期の業績

【ハルビン發】ハルビン交易所の本期（自昭和九年十月一日至昭和十年三月三十一日）出來高及び手數料左の如し

立會日數　一三八日

▲大豆（十六噸半車）前年同期との比較　五四、二一〇車　二八、三〇四車增

▲小麥（同）　二四、五三七車　四、四〇七車增

▲豆粕（一、一〇〇枚）　八一車　五五車減

手數料　一六五、九〇〇圓

▲錢鈔部

國幣對金票立會日數　六一日

定期　一二〇、一二四、〇〇〇圓

現物　一一、四五七、〇〇〇圓

手數料　八〇四、〇八二圓

滿洲炭礦後任理事に

前島吳一氏

【新京電話】滿洲炭礦會社では來る四月二十日臨時株主總會を開催し、過般病死した撫順駐在高畑理事の後任選擧並びに同氏の慰勞金贈呈の件を附議することになつたが後任には現技師長前島吳一氏が推されてゐる

訪日經濟使節

張氏來安す

【安東五日發國通】訪日經濟使節として中華民國を代表し日本內地各地を視察旅行中であつた張嘉璈氏は隨員三名と共に京城平壤を視察の後、五日午後八時半着列車で新義州に到着直に陸路來安、安義有志の歡迎宴に臨んだ、なほ同氏は一兩日滯新の筈である

北鮮、上海定期航路を朝鮮郵船が開設

二十九日から試驗的に運航

日支關係の好轉を傳へられまた北鐵讓渡も完了せる折柄朝鮮郵船では北鮮と上海を結ぶ定期航路を開設することになつた、即ち同社の平安丸（二、〇〇〇トン）が四月二十九日淸津發を期し當分の間試驗的に各一航海おきに運航、十月ころよりこの正式定期化を行ふはずであり、大體釜山、仁川、鎮南浦、靑島に寄港し北鮮からは滿洲木材、北鮮鹽干魚を上海からは紫、石炭、滿洲向綿糸布等を積荷するとみられ各方面より注目されてゐる

奉天城內の邦商活況

春期需要期で

【奉天電話】奉天城內邦商最近の商況は愈々春期需要期に入つたのと一部治安の回復による地方向け商品の荷動き旺盛から各商店にも活況を呈してゐる

一、雜貨商　前月に引續き意外の活況を呈し滿鐵線、奉吉線兩沿線への荷動き最も多く熱河方面チチハル方面からも相當の注文あり、前年同期に比較して倍額以上の賣上高を示してゐるがこれが原因は地方の治安回復により取引範圍が擴大されたのと、關稅關係のため上海品の入荷が停頓したゝめである、中折帽は手當一巡後にて僅に返り注文あるのみであるがゴム靴、石鹼、化粧品、琺瑯製品等は各商共遂にストックを一掃し、一方對支貿易の復活旺盛に影響され內地問屋筋の品薄から當地邦商は仕入難に陷りこれが對策に大童になつてゐる程で素晴らしい景氣である

二、陶器商　陶器類は例年舊正前に手當を終り三月は商狀一服の狀態を繰返すを例としてゐるが本年は例年に比し氣候著く暖かつた關係から豫想外に荷動き早く殊に奧地方面の治安の確立、最近の北鐵問題解決等のためハルビンから以北の荷動きは頗る活潑で滿人向きの彩色丼物の賣行きは依然として第一位を占めその他土瓶、コーヒー茶碗、石鹼入れ等の賣行きも相當あり前年同期に比し約二、三割の增加を示してゐる

バナナ糶問題再び紛糾す

仲買人と市場側の微妙な感情對立

臺灣バナナの滿洲輸入は步戾し問題で大連中央市場に上場せずとの噂があつて市場側を不安に陷れてゐたが三月二十日初入荷以來意外な好成績を收めその後も圓滑に取引されて來た、然るに五日山東丸積五百三個の上場に際し午後四時半糶市開始の直前滿洲人仲買が現在の見本糶に對して苦情を持出し見本糶は一籠全部を仲買の目に止めて後糶行爲をしてもらひたいと云ひ出し、糶場にて仲買側と糶人側との紛擾を生じ森本市場長は營業主任、臺灣靑果會社員と交涉とにかく一先づ解決したが開始時間は一時間半も遲れると云ふ醜態を演じた、仲買筋の言分は現制度の見本糶は籠蓋を開いてやつて來たが、現在までの仲買の買つた品では上部、下部に優劣又は熟過ぎ等あり高價であるといふにあるこれに對し市場側は本年一月二十八日に各仲買人に宛て一、バナナの見本選り出しは從前通りとす、二、見本は籠蓋を取除きて販賣す、但し夏季腐敗又は必要と認めた場合はこの限にあらずと通知しこの通知を受取つた際各仲買人は異存なしとして初入荷以來五、六回取引して來たのに今さら文句を云ふのは不可解だとしてゐる

この紛糾の裏には極めてデリケートな問題が潛み、市場の先年暮仲買人に對して取つた仕入金の未拂に對する請求書が仲買宛に絕えず入り込んだ事等が原因と見られてゐる、かくて五日の糶は仲買の氣乘薄で相場は當然下押と豫想されたが反つて引締り初入荷の高値より十錢安の八圓九十錢、平均は九錢高の七圓十錢と仲買筋の買氣依然強く無事終了した

香川縣特產展示會

香川縣では今回縣特產品の滿洲進出を企圖し關係者一行八名は八日來連十二日大連商議、二十一日奉天日滿貿易館で、午前九時より午後三時迄特產品展示會を開き同縣特產品の紹介をすることになつた

株榮會幹事改選

五品取引所の市場代理人株榮會では四日取引所內に定時總會を開催し幹事改選を行つた結果辻富雄（山田）地神新一（三谷）藤田重政（入丸）の三氏を再選重任に決定した

運照制度撤廢で

奉天の綿糸布市況振ふ

【奉天電話】昨秋の第二次關稅改正により滿洲國財政部では綿糸布に對する統稅廳止驗訖證制度の實施等に關聯して運照制度を撤廢したため綿糸布の取引に際し從來の如き運照制度等の煩雜な手續きを要さゞるため當地滿人綿糸布商、糸房等の地方取引は著しく增進し綿糸布市況は頓に活氣を呈しつゝある

愈よ操業の滿化【二】

ウーデ法着眼以來

滿鐵總裁更迭毎に澁滯

生れ出づるその苦心

會社の創立が昭和八年五月三十日でそれから直ちに基礎工事にとり掛り四月三日初めて製品の顏を見る迄の二十二ヶ月は全く脇目も振らず事業の完成に對する從業員必死の努力を以て綴られてゐるが、それ以前昭和二年に初めの計畫に着手以來會社創立に至る迄にも幾多の艱關を通り拔け一時は絕望と思はれた此の事業が多少遲れた憾みもあるが兎も角今日完成を見たのは關係者の信念と努力もさる事ながら事業自體にそれ丈けの

必然性 があつたと云へやう、最初これを切り出したのは前滿鐵總裁山本條太郞氏で、氏が大同肥料會社々長時代イリス商會に命じ調査をしてゐた時恰もウーデ法が發明され非常に有利な事を聞き面白いと思つてゐた矢先き、滿鐵總裁に任命されたので鞍山製鐵所のコークスに着目し並三年當時鞍山に居た現在滿化常務深水壽氏に相談を持ちかけたのに始まる早速滿鐵から深水氏、大同肥料から一人、昭和肥料から二人イリス商會からも一人都合五人でドイツに赴き裝置の優秀な事は認めたが特許權が馬鹿に高く、外のクロード式、ファウザー式を比較研究した結果、矢張りウーデ法に比し壓力が高く從つて生產費が高いので昭和四年春一同歸朝ロを極めてウーデを稱揚した爲め滿鐵から再交涉の結果漸く話が纏まり

滿鐵の 手で買收に決し、昭和、大同へは權利を分與することとし深水氏が再度ドイツへ行つて機械の一部分を買ひ取つた時に滿鐵總裁が替つて仙石氏となつたのが第一回計畫頓挫となつた、其の後委員會を開いて專門的な研究の結果絕對に損をしないと折紙つけて答申書を出したが、これが何かの手違ひで仙石總裁の手元に屆かず話が立消えになつた頃、偶然仙石氏が深水氏を呼んで「君あの仕事は儲かるかい」「答申書で詳しく說明しておきましたが」「いや俺は何も聞かない」「そんな馬鹿な事はありません」「ではも一度數字を持つて來て說明しろ」と云つた具合で仙石さんもすつかり理解され、其の日の午後早速重役會を開くなど話は再びトンく拍子に進行したが、又復總裁の更迭で江口さんに替り當時の顧問（後ち滿化の初代社長となる）斯波博士すら初めの裡は理解がなく更に內田總裁、林總裁と總裁の替る每に

十二月漸く拓務省の認可となつた日計畫の澁滯を繰り返し、昭和七年一番最初から終始一貫固い信念のもとに努力した深水常務が山本條太郞氏を訪れたときは互に手を取り合つて男泣きに泣いた程で大事業生誕迄の惱みと感慨は四月三日製品產出の日深水氏から高橋社長と共に打電した山本氏宛の報告で一層新なものがあつたと思はれる會社の豫定では九年一ぱいに完成直に生產開始の豫定で右近、深水兩常務以下畫夜兼行で工事を督勵し直接工事責任の衝にある深水常務は每朝六時から現場を見廻り晝間本社事務を決裁して夕方から再び甘井子に赴き歸宅するのが每晩七時過ぎとなる精勵振りで現場諸力に至る迄全く一身同體となつて只管工事が進められて行つた

これは 同工場の設立が單に營利的立場から出發したものでなく前述の如き重大な國家的使命を持つものであり、同時に大滿鐵の名譽にかけて苦心研究の結果有望を認められたウーデ法の實績を立證する爲めにも更に日滿關係が漸く親密の度を加へつゝあつた折柄日本化學界の技術が如何に優秀なものであるかを滿洲國々民に對し如實に示すことは兩國信賴の度を高めるに大きな役割を果すものであるとの信念が絕えず全從業員の作業を緊張に導いてゐた事も見逃せない、工事が豫定より

遲れた のも本國から態々派遣された獨人技師が十二分の愼重な態度で細心な据付けを行つたのと會社首腦者が徒らに功を焦せらず充分の確信の裡にも更に萬全を期した結果であつて今日に至つては意とするに足らない、また當初生產額十八萬噸說主張に對し內地業者の猛烈な反對を前拓務次官堀氏が會社側の意見を強硬に支持して贊成させた事を忘れてはならない（寫眞は飽和器から遠心分離器へ送られたアンモニアが硫安となつて乾燥機に送られるところ）

滿洲日報
朝刊夕刊共十四頁

滿洲國皇帝晴れの御入京第一夜

春雨煙る宵・豐明殿に 日滿兩皇室の御交驩
絢爛眩ゆき御歡迎夜宴

【東京特電六日發】青史に輝く大金字塔、尊貴の御身を以て御親ら友邦日本を御訪問遊ばされた滿洲國皇帝陛下には六日御入京、わが聖上陛下と東京驛竝びに宮城鳳凰間にて御對面あらせられ、兩國皇室の御交り愈々緊密を加へさせられたが、畏くも聖上陛下には午後三時半宮城御出門、略式自動車鹵簿にて赤坂離宮に皇帝陛下を御答訪、午後三時五十八分御還幸あらせられ、午後六時十分皇帝陛下には自動車鹵簿にて赤坂離宮御出門、大内山の暮靄の中を二重橋より再び御參入、シャンデリアの光まばゆき豐明殿において、日滿顯官御陪席の下に御睦まじく御食卓を圍ませられ、春雨煙る春宵を御交驩あらせられ、同九時二十五分御退出、イルミネーションの光輝く帝都の夜を赤坂離宮に御歸還、晴れの御入京第一夜を過ごさせられた

嚠喨・國歌演奏裡に 兩國元首御乾杯
日滿親善の慶びに溢る

【東京特電六日發】六日輝かしき滿洲國皇帝陛下を迎へさせられ宮中鳳凰間に御握手も堅く兩國々交史上久遠と榮ゆる公式御會見を終へさせられた天皇皇后兩陛下には内苑の櫻花ほのかに和む六日夜、滿洲國皇帝陛下を御主賓に皇族方、日滿兩國重臣百六十名を召され、宮中豐明殿にて盛大なる御歡迎の夜宴を催させられ、菊蘭の薫りも高く兩國皇室の御親善御和樂をいや深めさせられた、この宵六時十分、皇帝陛下には

御正裝 に蘭花大勳位綬章、大勳位菊花章頸飾御佩用、林接伴員御陪乘、沈宮相以下扈從員接伴員を從へさせられ赤坂離宮御出門自動車鹵簿にて二重橋より午後六時二十二分宮城御參入、天皇陛下には御正裝に大勳位蘭花章頸飾竝に大勳位菊花大綬章御佩用御車寄階上まで親く御出迎へ遊ばされ松平式部長官御先導にて御肩を竝べさせられ大奥牡丹間に御誘引あらせれた、これより先秩父宮殿下、同妃殿下を始め各皇族方は御正裝或ひは中禮服華やかに御參内牡丹間に入らせられ、又岡田首相以下各國務大臣、一木樞相、牧野内府、湯淺宮相、齋藤前首相以下各前官禮遇、丁滿洲國公使竝に扈從員の一部は大禮服正裝に

威儀を 正して參内、千種間にて皇帝陛下の御參入を御待申し上げてゐた、天皇陛下、皇帝陛下御同列にて大奥に進ませ給ふや皇后陛下には御麗しき御中禮服に大勳位蘭花大綬章を佩びさせられ牡丹間御間外まで兩陛下をお迎へ遊ばされ三陛下御揃ひにて牡丹間に入御、皇后陛下には御先着の秩父宮妃殿下を始め各妃殿下を皇帝陛下に御紹介御挨拶を御交換遊ばされた、次いで三陛下には松平式部長官の御先導にて千種間を通御、諸員に御會釋を賜はりつゝ御揃ひにて豐明殿に入らせられ、天皇陛下には正面中央の玉座に着御、御向ひ側皇后陛下を

御中心 に御右に皇帝陛下、御左に秩父宮殿下、天皇陛下御右に秩父宮妃殿下御左に高松宮妃殿下を始め各皇族方御着席、日滿重臣竝に鈴木侍從長以下側近者等一同もそれ〴〵席を賜はり御宴に入つたが、燦々たるシャンデリアの下、絢爛たる御間の内、櫛形に白布を以て覆はれたる御食卓には馥郁たる和洋の名花が盛られ、中にも滿洲國花たる蘭花の鉢が一際氣品高く匂ふ樣は天皇皇后兩陛下の皇帝陛下に對さるゝ御親しき御心遣ひと拜察されて畏き極みであつたと洩れ承はる、樂部の奏する管絃樂隊等の亂序を基調とする「歡迎の曲」の勇壯なる行進曲、「バルカローレ」等の優雅なる奏樂に御興を添へつゝ

御宴を 進めさせられたが和氣藹々たる裡に日滿兩國親善の御慶びは堂に滿ち、兩元首の御感慨彌々御深げに拜されたと承はるが、かくてデザートコースに入らせ給へば天皇陛下には玉座に立御、諸員起立の裡に玉音いと御高らかに滿洲國皇帝陛下御歡迎の御挨拶を述べさせられ、皇帝陛下の御健康を壽ほぎ給うてシャンペンの玉杯を擧げさせ給ひ、滿洲國國歌喨喨と響き渡る裡に御乾杯、次いで皇帝陛下にも我が皇室の鄭重なる御歡待竝びに帝國の友誼に深く感謝される旨の御挨拶あり

莊重な 「君ケ代」奏樂裡に天皇陛下の御爲めに御乾杯あらせられ、各皇族殿下を始め奉り御陪食の諸員共に杯を擧げて兩皇室の御榮を慶祝奉つたが、洵に莊重感激の極みなりしと承はる、かくて日滿御交驩の華やかなる御宴は終へさせられたが、畏き邊りでは、この夜の御宴を御記念の意味にて皇帝陛下御始め御臨席の各皇族殿下に「帆かけ船」の銀製ボンボニエールを御贈進、また御召しに浴した一同にも同樣のボンボニエールを賜はり、三陛下には一旦牡丹間に入御あらせられた

太平の氣正殿に滿つ
三陛下お揃ひにて御睦じく 舞樂を御覽遊ばさる

【東京特電六日發】御夜宴を終らせられた皇帝陛下には天皇、皇后兩陛下と御揃ひにて牡丹間に入御御少憩あらせられた後、天皇陛下の御披露にて湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄武官長、廣幡皇后宮大夫、宮内大臣、岡田首相以下各國務大臣、竝びに前官禮遇以上の重臣顯官に對し一々謁を賜はつたが、滿洲國建國に勳功輝く本庄武官長に對しては殊に御感深げに拜されたと承はる、かくてしばし

三陛下 には原田、岩村兩御用掛の御通譯にて種々御歡談の後、午後八時三十分御揃ひにて舞樂正殿に出御、各皇族殿下、隨員竝に重臣、接伴員にも陪觀を差許され、舞樂を御覽あらせられた、金色鮮かな飾りをつけ、朱の欄干を廻らした緋の舞臺には黄金、朱色、華麗な大太鼓、小太鼓が打ちそろへられ、樂師の裝ひも床しく千四百年來傳へられた宮中秘曲諸夜に典雅なる音を漂はせば、この夜の晴の御前出演に選ばれた光榮の樂童東儀信太郎、東儀博、上近正、奧飛夫の四少年樂生、優雅な平安時代の裝ひに桃花の華挿も和かに春の野に舞ふ蝶にも似たる姿にて童舞「迦陵頻」を舞ひ納め優にやさしき情景をかもしたが

御趣味 豐にわたらせられたる皇帝陛下には殊の外御興深き御樣子にて御覽あらせられたと洩れ承はる、續いて安倍季巖、東儀文成兩樂師の輕妙な「納曾利」蘭廣高、東儀俊輔、奧好察、辻壽果四樂師の優雅な「春庭花」が演ぜられたが春太平の氣正殿に充ち滿ちて三陛下の御機嫌いと麗しく拜された由承はる、かくて典雅極みなき舞樂終了するや三陛下御揃ひにて御退出、三度牡丹間に入らせられ、皇帝陛下には盡きぬ御名殘を惜まれつゝ御暇を告げさせられ、午後九時二十五分再び自動車鹵簿にて宮城御出門、同卅三分御旅館赤坂離宮に御歸還、御入京第一夜の御夢を結ばせ給うた

聖上陛下御答訪
大勳位菊花章頸飾御贈進

【東京特電六日發】滿洲國皇帝陛下の公式御訪問を受けさせられた天皇陛下には、御答訪のため御通常禮裝に御召替、わが大勳位副章皇帝陛下より御贈進の大勳位蘭花章頸飾を御佩用、鈴木侍從長御陪乘、湯淺宮相、本庄侍從武官長以下供奉、略式自動車鹵簿にて午後三時半宮城御出門、同三十八分赤坂離宮に行幸あらせられた、このとき皇帝陛下には御通常禮裝を召されて御車寄まで御出迎へあらせられ、御揃ひにて階上狩の間に入御、天皇陛下には御答訪の御挨拶の後わが國最高勳章大勳位菊花章頸飾を御贈進、更に種々御物語の上午後三時五十分離宮御出門、同五十八分宮城に還幸あらせられた

お慶びに堪へぬ
無事大任を果した 井上比叡艦長謹話

【東京六日發國通】無事大任を果した御召艦比叡艦長井上大佐は謹んで語る

◇…皇帝陛下には長途の御航海の御疲勞もあらせられず御機嫌麗はしく御上陸遊ばされまして御喜びに堪へぬ次第です、御乘艦以來九州の南端に至るまでは至極海上平穩にしてまことに結構な御航海でした

◇…太平洋に出ましてからは低氣壓の中心が本艦近く通過しましたので動搖も五度に及び恐懼に堪へぬ次第でした、この荒天の二日間陛下には前艦橋に特設された御休憩室に御移り遊ばされましたが終始御機嫌麗はしく拜されました

◇…皇帝陛下には毎日午前六時御起床、果物、紅茶などの簡易な朝食を濟ませられ、晩餐、午餐には西洋料理と滿洲料理とを代る〴〵召上がられました、御展望臺に出でさせ給ふ外は概ね御部屋で御書見と御書道とに過ごさせられ御就寢は午後八時前後で毎日の御所感と御行動とを御親ら御記錄遊ばされてをられました

◇…四月三日の神武天皇祭には乘員とともに御遙拜遊ばされ御熱心に艦内を御巡視、乘員の武技體技を御覽になり、准士官以上とともに記念撮影など遊ばされました、朝の甲板洗ひの際など御休息中を御心配申上げましたところ艦務の作業は遠慮なく行へと有難き御沙汰を拜しましたのでこれ以後一切平常通りに日課作業を行ふことにいたしました、一夕御晩餐に特に思召により兵食を供し奉りましたところ兵食のみにてお濟ませ遊ばされ乘員一同感激に堪へません

殊の外御滿足
入江宮内府次官謹話

【東京五日發國通】滿洲國皇帝陛下御上京後入江宮内府次官は皇帝陛下御航海中の御動靜につき左の如き謹話をなした

大連御出港と共に渤海附近は稀にみる好天氣で皇帝陛下も非常に御滿足の御模樣に拜されました、既に海軍省發表で御承知のことゝ思ひますが三日の神武天皇祭には隨員を從へさせられ、親しく御遙拜遊ばされ終日御元氣に艦内で御暮し遊ばされました、四日朝から波高まり風を伴ひ雨さへ加はりましたが聯合艦隊の來迎を受けさせられ殊の外御滿足の御模樣に拜されました夜に入つて風は益々募り一時は風速二十米を算する程で嵐の經驗の少ない隨員中には船暈を按じたものもありましたが皇帝陛下には終始御元氣に渡らせられました、此雨は五日の晝頃まで續いたので皇帝陛下には御室内に御止まり遊ばされましたが御食事などは全く普通に終始御元氣に拜されました、昨夜は雨も静かになりました爲め我々が日頃心に思つてゐた日本に關係ある喜びごとはすべて好天に惠まれるといふ確信を持つてをりましたが、今日此の晴天に御上陸出來ましたことは皇帝陛下も殊の外御滿足の御樣子に拜され私も此上もない喜びであります

各宮家へ――
御禮使御差遣

【東京六日發國通】天皇陛下には六日午後三時三十分滿洲國皇帝陛下を赤坂離宮に御答訪遊ばされたが、皇帝陛下には御入京の際、東京驛に御出迎への各宮家に對し午後三時五十分左の如く御禮の御使ひを御差遣遊ばされた

沈宮内府大臣―秩父宮家、梨本宮家、李鍝公、李鍵公家
謝外交部大臣―東久邇宮家、高松宮家、竹田宮家、北白川宮家
袁尚書府大臣―閑院宮家、李王家、伏見宮家、賀陽宮家

感激の帝都 東京驛前奉迎門の夜景(上)と櫻花爛漫たる赤坂見附の奉迎塔

皇帝を奉迎して

賀屋主計局長渡滿

【東京六日發國通】賀屋大藏主計局長は議會明けの休暇を利用して滿洲視察旁々滿洲國要人と日滿經濟提携、財政問題等に就き意見を交換するため十日午後十時三十分東京發西下する事となつた

菱刈大将謹話

【東京六日發國通】日滿兩國旗で目も綾に彩られた青山高樹町の邸に菱刈大将を訪へばまだ大禮服の儘でタッタ今の東京驛頭のさめやらぬ歡喜と興奮とを漂はせて語る

感慨無量、たゞこの一語に盡きる、東洋の二元首の驛頭での御握手は正に日滿兩國の親善と東洋平和の確立とを象徴するものに外ならぬ、滿洲國皇帝には遠路御來訪にも拘らず御疲勞の色も拜せられず昨冬御別れ申上げた際より一入御健かに拜したことは喜びの極みであつた、殊に東京驛で天皇陛下と皇帝陛下には畏きことながら御兄弟とも申上ぐるやうに御親密に拜され感激の外ありません

宇佐美氏謹話

【東京六日發國通】滿洲國皇帝御着京の東京驛に芳澤謙吉氏と共に二人特に許されて陛下をお迎へ申上げた前滿洲國顧問宇佐美勝夫氏は御出迎への感激去りやらぬ面持で左の如く謹話した

文武百官居並ぶ後方で御出迎へしたのですが時間切迫するにつれて胸は高鳴り國歌の吹奏が始まる頃には思はず誰か前の人を押しのけてしまひました、仰げば日滿國交史上最大の盛儀、兩陛下は固き固き御握手を交はされてをられました、お別れしまして丁度五ケ月、いつに變らぬ堂々たる御威容は拭いても〳〵曇る眼をどうしようもありませんでした、御航海中の惡天候に如何ばかりか御疲れかと御心配申上げてをりましたが、今日御元氣な御英姿を拜するを得て唯々無限の感激あるのみです

東京市長謹話

【東京六日發國通】滿洲國皇帝陛下を東京驛に奉迎した牛塚東京市長は左の如く謹話した

五百萬民衆を代表する市長として特に御沙汰によつて滿洲國皇帝陛下を東京驛にお迎へ申上げる光榮に浴したことは眞に感激の極みであります、皇帝陛下は非常に御立派な態度であらせられ流石一國の帝王としての御風格をお備へになつてをられる御樣子を拜して友邦のために心からお喜び申上げる次第であります

けふの御日程

【東京六日發國通】滿洲國皇帝陛下御滯京第二日(七日)の御日程

一、明治神宮御參拜午前九時三十分
一、聖德記念繪畫館御成午前十時
一、大宮御所に皇太后陛下御訪問午前十一時
一、皇帝陛下御主催皇族御招宴午後六時

丁公使以下・・ 公使館員の喜び

【東京六日發國通】滿洲國皇帝陛下を東京驛に奉迎申上げた丁公使外館員は正午近く一旦公使館に引揚げ櫻花八分咲きの官邸で一同晴れやかに記念撮影をなし、東洋史上特筆すべき兩國元首の東京驛頭における御會見の目出度く終らせられた事をお喜び申上げた、丁公使は不自由な足どりも此の日はいと輕やかに

天氣はよし萬事好都合にいつてこれ程喜ばしい事はない

と餞一杯をにこやかな微笑にして輕い晝餐の後直に御機嫌奉伺のため御旅館赤坂離宮へ自動車を走らせた

東京市主催の 市民奉迎大會

【東京六日發國通】東京市主催市民奉迎大會は皇帝をお迎へした六日午後六時より日比谷公會堂で開催折柄降り始めた細雨をも厭はず夕刻より續々入場者が詰めかけ忽ちに三千餘名立錐の餘地無き盛會、劈頭東京市教育局長の挨拶、牛塚市長の挨拶に次いで德富蘇峰氏起つて皇帝の御偉德を讃へ滿洲國の健全なる發達と日滿兩國を結ぶ楔の愈々固からん事を希望すとの講演があつた 最後に牛塚市長起つて滿洲國皇帝御來訪を祝する挨拶を述べ萬歳を三唱するや滿堂起立して之に和しその堂を搖がす熱狂振りであつた、次いで餘興に入り留日學生俱樂部、樂團の情緒豐な演奏は聽衆の盛んな拍手を浴び盛會裡に十時散會した

彌生高女生 けふ歸連

【京城六日發國通】彌生高女母國見學團一行は五日京城に一泊、市内見學を終へ一同元氣に滿ち溢れ乍ら六日朝八時京城發、七日午後四時二十五分大連に歸着する筈

大觀小觀

若き盟邦の元首を奉迎して我帝都は歡喜の坩堝と化したといふ▲感激性に富む東京市民の奉迎氣分が想察せられるものがある▲それはひとり東京市民のみではない、全國民の心情が其のまゝ東京において發露さるゝのである▲友邦に對する我國民的熱情が如何に熾烈であるかを滿洲國の人々は感得したであらう▲世界史上未だ曾て斯樣な國際交驩の美しいページがあつたか▲現に歐洲諸國の如きは相互に猜疑し、排擠し、相率ゐて危機を醸成しつゝある此の際▲日滿兩國が握携をいよ〳〵固めて融合和親を深くしつゝある狀態は一大偉觀であり列國に對して多大の衝動と反省とを與へずには措かぬであらう。

社說

國運の伸暢と省察點

時局以來、我が國萬古不易の皇謨を奉體して、內に在つては民氣の頽廢を一洗し、外に對しては東洋振興の新契機を作興し得た功績は、一に忠勇義烈なる軍部の活動に歸すべく、之に依つて促進された昭和維新の大精神は、擧國民の均しく感激する所であり、環境の各國亦た眼を拭うて帝國元氣の勃々たる狀態に驚倒して居る。この秋に當つて陸軍當局は昨年十一月事件の眞相を發表し、在東京青年將校及士官候補生若干が、不穩の企圖をなし居るやの嫌疑あり、嚴正調査の爲め軍法會議に附し、軍規に照してそれぞれ適當の處置を講じたが、その理由とする所はそれ等將校及び士官候補生が、我が國の現狀に慊らず、山積する宿弊を一掃するが爲に、何等かの手段の決行を謀つたといふにある。之は我か居然たる軍部の全體から見て、單なる局部的特殊現象に過ぎないが、その人心に及ぼす影響頗る大に、萬一を事前に防止し得たる陸軍當局の英斷は確かに特筆すべきだ。

◇

言ふ迄もなく、我國近時の政治的社會的缺陷は、朝野の識者が夙に指摘痛論し來つた所であるが、かうした頽風發生の原因中には、他動的刺戟や自發的怠慢など各種現象があつて、必しも一局一部者の責任のみではなかつた。換言すれば國民全體が或る大なる反省期に際會して居たのだ。それを時局の激成した非常時氣分に依つて覺醒した譯だが、今や非常時氣分が沿々たる全國的新潮流となつた以上、如何にして之を指導し強化し、總體に建設的となすべきかに就ては、餘ほど愼重に考慮されねばならぬ多くの實際問題がある。若し思をこの點に潛めずして焦躁輕擧せんか、當に民心を惶惑させるのみでなく、敢て或は折角興隆された刷新氣運に、一抹の暗影を投ずるなきを保せない。此の意味において陸軍當局今次の處斷は、現下の時風に大なる警告を與へたものと思ふ。

◇

右の出來事と好對照をなすものに、最近旅順において發起された日本精神聯盟がある。これも同じく青年軍人の首唱に係る企畫だが、その綱領とする所は道義的國際關係の確立にあつて我が皇謨を奉體する民族の忠誠を誓ふと共に、自他の言動を正義觀念に準據し、力めて排他心を嚴戒する處にその面目の躍如たるものがある。この種の信仰養成は殊に國運の伸暢を思ふに當つて必要であり、國際的福祉を增進せんとするにおての第一條件である。如何なる民族も對內的に團結力を鞏固ならしむるには國家主義的精神が中核だ。併し多くの國家論者の陷り易い弊害は、是非善惡の標準を自家の狹隘なる利害範圍に限り、他國他民族の實情は寂寞を論ぜずして無暗に排擊しやうとすることだ。之れは大なる人類生存の正義觀と背馳する謬見であつて日本の國際的責任が一層その範疇と意義とを大化された今日、特に國民が刮目すべき眞諦はこの點にある。外交經濟の諸方面から見ても偏狹なる唯我獨尊は准されない。羅馬の大帝國政治も、時代に完成された王道も、曾て世界に比類少ない永續性を示した社稷の興亡は、一にその民族精神と政治觀念との道義的聯絡隆替に因を發して居る。況んや古今の無比の國體を誇り、一層高處より世界文化の復興を基礎附けんとする大和民族の理想においてをやだ。蓋し我が全國民の深く省察を負すべき問題である。

關東軍司令部關係の論功行賞きのふ發表

武藤、本庄兩將軍に功一級

【東京六日發國通】元關東軍司令官本庄大將をはじめ關東軍司令部並に同軍直屬部隊の殘部に對する將兵六千二百名の論功行賞は六日上奏御裁可を仰ぎ發令された、故武藤元帥並に本庄大將は武人最高の功一級金鵄勳章を賜はつた、主なるもの左の如し

殊勳甲

元關東軍司令官元帥陸軍大將 男爵 武藤信義

叙功一級授金鵄勳章

元關東軍司令官侍從武官長 陸軍大將 本庄繁

授旭日大綬章叙功一級授金鵄勳章 陸軍少將 板垣征四郎

叙功三級旭日重光章 步兵大佐 石原莞爾

叙功三級旭三

殊勳甲以外の主なるもの

功三級旭一 陸軍中將 三宅光治

功三級旭一 陸軍中將 小磯國昭

功二級旭日大綬章 陸軍中將 橋本虎之助

功三級旭一 陸軍少將 土肥原賢二

功四級旭日重光章 陸軍少將 岡村寧次

功三級旭日重光章 陸軍少將 多田駿

旭日重光章

海軍部等の論功行賞

【東京六日發國通】上海事變に偉功を樹てた第三艦隊司令部並に滿洲方面の武勳輝かしき駐滿海軍部及び松花江海軍派遣隊に對する論功行賞は畏き邊りの御裁可を經て六日發表された、主なるもの左の如し

授功二級 大將 野村吉三郎

授功三級旭日重光章 中將 小林省三郎

授功三級旭日重光章 中將 島田繁太郎

授功四級旭日中綬章 大佐 伊藤整一

授功四級旭日中綬章 大佐 阿部勝雄

授功四級旭日中綬章 大佐 大西瀧治郎

授功四級旭日章 大佐 伊藤賢三

授功四級勳四等旭日章 中佐 荒木敬吉

滿洲國の會計年度曆年制採用に決定

二年度豫算一億程度

【新京電話】滿洲國政府では歲入並びに土木營繕工作に對する支出の都合により會計年度を改正せんと計畫中であつたが、三月上旬大藏省關係と折衝中であつた松田主計處長の歸任後、軍部の諒解も得たので康德三年以降曆年制を採用することになり、每年一月一日より開始同年十二月三十一日に終了する方針となり、從つて康德二年度豫算に對しては本年七月一日より十二月三十一日に至る六ヶ月間を編成することになつた、康德二年度歲出歲入豫算は當初の豫定額約二億萬圓を變更することになり稅收入額の最も多い時期である一、二、三月を含まざる爲め歲入關係に或る程度の膨脹並びに新規事業增加を豫想されてゐる二年度豫算は略一億圓程度と推測される

旗收入の整理實施

各旗長諒解す

【新京電話】蒙政部がその政治工作の最も苦心を拂つてゐた旗收入の整備問題についてはいよいよ明年度豫算において旗長と旗との間に截然と公私の區別をなすことに決定、卽ち從來旗の收入は擧げて旗長たる王侯の自由裁量に委してゐたものが、爾今その收入は總て旗の收入とし旗長に對しては一定の俸給を給することに決定した、從つて多年の懸案を一朝にして刷新したこの擧は對蒙政治としては非常に重要事であり、一方蒙政部當局も愼重に研究考慮し各旗長の諒解に努めた結果極めて圓滿に解決したと

米國極東視察團來朝

米國對外貿易の協議會主催の下に元駐日大使フォーブス氏を團長に米國の各產業部門の代表者二十數名より成る米國極東視察團一行は、世界貿易界の驚異たる新興日本の產業及び支那滿洲國の市場を視察通商貿易促進に資すべき使命を帶びて四日午後五時橫濱入港のプレシデント・クーリッヂ號で來朝した(寫眞は橫濱着の米國極東視察團一行、右より三人目がフォーヴス團長、その直後が出迎への門野重九郎氏)

正副會長以下過半を少壯の手に

關東州辯護士會の役員決定

刷新の業愈よ成る

關東州辯護士會は六日午後四時から大連中央公園內西圖亭において定時總會を開き役員改選の結果左の諸氏當選同六時散會した

會長 五十村貞俊(四月會)

副會長 石山憲一(同)

常務員 杉野耕三郎(無所屬)

同 笠置遇(四月會)

同 長古三郎(同)

同 松本文三郎(無所屬)

同 今井募(四月會)

新役員の顏觸れを見るに正副會長及び常議員五名のうち三名まで少壯辯護士を以つて結成する四月會員で占め、普通會員よりは僅か二名の選出を見たのみである、しかも總會の空氣は極めて平穩、四月會員中より正副會長始め大部分の役員を出すことに對し殆ど滿場一致の形式を以つて進行し、從來會の勢力を把握した所謂長老派は全く影を潛め、中心勢力は完全に少壯辯護士によつて占められるに至つた

この情勢は本紙既報の如く今日まで同辯護士會は單なる同業の親睦機關として極めて無力な存在であつた爲め在野法曹團たる權威の失墜、使命の沒却等社會的に信望を失ひ、延いては他法曹界の侮りを買はんとする憂慮すべき現狀に立ち至つたことを遺憾となし、この際少壯辯護士團によつて會の實權を握り、失はれたる威信の恢復に努めんとする氣運が果然擡頭、このファッショ的空氣が總會に反映した結果四月會員の大進出を見るに至つたもので在野法曹の使命に向つて毅然たる活動を開始せんとする

一脈の生氣たゞよふ同會及びこれを支持する四月會の動向は社會的に大きい關心を喚び起してゐる▲寫眞は五十村會長(左)と石山副會長(右)

國際會議を開催し歐洲の平和確保か

ロンドン外交界の意向

【ロンドン五日發國通】歐洲政局の重大化に伴ひロンドン外交界においては早くも歐洲國際會議招集の意見が擡頭するに至つた、ロンドン外交界の觀測に依れば刻下時局の打開策をストレーザ會議に期待することは出來ず、來るべき三國會議はベルリン會商に始まつた英國政府代表の打診工作に一段落を告げるに止まると云ふのである、從つてストレーザ會議において歐洲和平工作の保障を得た上更に大規模な國際會議を開き歐洲各國政府代表が一堂に會合隔意なく討論をなし歐洲の平和確保を議しようと云ふのである

八日の閣議で英國々策決定

イーデン氏の報告聽取

【ロンドン五日發國通】イーデン國璽尚書の歸還を以て時局に對する英國政府の打診工作は茲に一段落を告げるに至つたが、八日全員閣議を開會、サイモン外相はイーデン氏から折衝經過を聽取し、ストレーザ會議並に聯盟理事會に臨む國策を最終的に決定し、サイモン外相は九日下院において之が報告をなす筈である

審議會委員人選

官僚、政黨對立

【東京六日發國通】五日午後の三長老閣議は內閣審議會、調查局につき衆議院議員の官僚化防止を尊重のため

一、長官には內閣審議會委員の意向を參酌し任命すること

一、參與專門委員も審議會委員の推薦により政黨側より多數任命すること

を提議され、後藤內相、吉田書記長等新官僚系は不滿の意を表し、この對立は今後益々激化するものと觀られ注目されてゐる

齋藤少將榮轉

【東京六日發國通】若山○○艦長の下に驅逐隊長として膠濟を中心に東部方面の警備に重任を果した齋藤彌平太少將は今回旅團長に榮轉、高崎に赴任することゝなつた

救世軍司令官瀨川大佐來る

日本救世軍新任司令官瀨川八十雄大佐補は關東局及び關東州廳其の他各方面の歷訪を兼ね在滿救世軍人の指導のため先頃陸路來滿、新京を經て來連した

救世軍大連小隊では同氏來滿を機とし七日午前十時より沙河口滿鐵家事講習所にて、また同午後七時半より西廣場救世軍大連軍營にて講演會を開催する事となり一般の多數來會を希望してゐる、瀨川大佐補は既に廿五年間救世軍士官として山室軍平中將の片腕となり社會事業部、傳道部長官を歷任、山室氏の顧問就任と同時に氏の後を承けて司令官に就任したもので軍內の信望厚く各方面より多大の期待をかけられて居る

八相 金大間道路

投書歡迎 五十行以內

◇滿電バスが州內交通の發展に盡した努力を拂つてゐることに對しては敬意を表するものであるが、往々事故を起し、乘客に不安を與へることは面白くない

◇私は常に金大間バスの御厄介になるが、今後左記の點に特に注意を拂つて戴きたい

◇事故發生の原因としては運轉手の不注意が第一に責めらるべきで運轉手の質の向上を圖つて欲しい、そして運轉の場合過當なスピードで埋め合せやうとする所に危險がある、二分、三分の遲延を取りもどすなら乘客としても場合によりむしろのぞむ事だ

◇金大線にカーブが多いし、カーブの所に番小屋だの支那家屋だのがあつて見透しがきかぬ家屋はどうかと思ふが番小屋等障害物は取除いてもらひたい

◇自動車道路と馬車道路との高低が二段となり、その差が一尺以上も違ふ所が隨分あるが、常にさへひやひやさせられる、あれは必ず改修して平坦にすべきである

◇道路が一體に狹い、これは今更どうにもならぬと思ふが、カーブの所及び高低二段の箇所等特に廣くしておくべきだ、自動車がすれ違ふにぎりぎりで、偶には車體がすれ合ふ事すらある

◇金大間道路の架橋工事は數ヶ所弓狀の河底だ、經費がかゝらぬかも知れぬが、乘客として氣持の惡い事おびたゞしい、それもゆるやかな速度の場合は良いがぐつと底に降ろされるとき私はいつも吐き氣をもよほする

◇以上の點は安全保障のため是非とも緊急處理を希望する(一乘客)

溥傑、潤麒兩氏

九日皇帝と御對面

【東京特電六日發】滿洲國皇帝陛下御訪日に際し陸軍士官學校御在學中の皇弟溥傑氏並に皇后御弟潤麒氏は目下群馬縣の演習に參加されてゐるが、九日に歸京され滿洲國公使館にて皇妹三格格(潤麒氏夫人)と御揃ひで對面されるが御兄君皇帝陛下におかせられても昨夏以來久々の御對面の御事とて只管その日を御待ち遊ばされる由

滿洲國博覽會に協贊會設立

既に打合せを終り近く各都市と折衝を行ふ

【新京電話】明秋開催される滿洲國大博覽會の準備に關し、近く全滿各主要都市機關と提攜、滿洲國協贊會を設立することになつた、協贊會の事業豫算は約四、五十萬圓に上るべく、既に高橋事務局長は開催地たる新京特別市長、滿鐵地方事務所長、新京商工會議所會頭と設立に關する打合せを終り、いよいよ大連、奉天、安東、錦州の各都市機關と折衝を行ふことになつた

なほ博覽會開催時期にかゝる參觀者の旅館に關しては實業部としても今より注意を拂つてゐるが新京市內に於て日本人のみの收容力二千を有するとのことで旅館難はないものとみて博覽會目當の旅館は建設しない意向である

勞働會議代表

【東京五日發國通】近く開催される第十九回國際勞働總會の代表者人選に關して五日の閣議で左の如く決定發表された

政府代表 吉阪俊藏

同 赤松小寅

資本家代表 渡邊福雄

勞働者代表 八木信一

新京滿人學校增設計畫

【新京電話】現在新京特別市公署の市立小學校は二十五校に上つてゐるが、これらの多くは設備不完全で校舍も小規模であるので、今回市公署でこれを改むべく康德元年より向ふ三ヶ年繼續事業として市立小學校六校を新設することになつたが、第一着手として市立第一小學校を新設すべく近く着工することになつた

同校舍敷地は民政部廳舍南側空地で工費二十一萬圓、建坪三千六百平方米、總坪數一萬六千平方米の二階建、收容兒童千二百名で本年九月一杯に竣工十月より開校する

滿鐵改組よりも經濟會議が重大

東京にて 滿鐵總裁談

【東京特電五日發】林滿鐵總裁は五日午後二時二十五分着列車で入京したが、車中語る

北鐵接收の詳細なる報告を兼ね來る六月の總會の下打合せのため上京した、滿洲國皇帝を奉迎二十一、二日頃には歸任し再び大連で皇帝をお迎へ申上げたいつもりである、滿鐵當面の問題として協議すべき重大問題もないが事務局とは諸種の問題を打合せたいと考へてゐる、大汽の北鮮就航問題についてもこれは當然大汽に就航さすべきでこの點事務局に對しても依賴して行くはずだ、北鐵接收により滿鐵に改組の行はれるやうなことがいはれてゐたが、最近は問題にもならないやうだ、軍司令官とも度々會つたがこの改組については何等觸れたことがない、日滿經濟會議は一日も速かに設置し諸種の重大問題を議すべきではないかと思ふ

大連、奉天兩事務所所長の待遇

本社次長と課長の中間

新京鐵道事務所の廢合新職制によれば大連鐵道事務所は埠頭事務所の四千人を包含して約一萬人の現場人員を包含することゝなり、奉天事務所は新京を含めて七千人に上る大世帶となる、この結果、大連鐵道事務所長吉富金一、奉天鐵道事務所長臼井貞一兩氏の待遇は未だ決定してゐないが本社課長級以上、次長との中間に位する、なほ兩事務所の新人事は夕刊既報の如くであるが中富滿美氏の埠頭長は六日朝となつて本人の轉出希望により俄に變更され、その後任について目下銓衡中であるが庶務係主任堤津秀市氏などが有力視されてゐる、なほ奉天に合併される新京鐵道事務所の庶務長中山恕世氏は四平街驛長に、營業長野村富喜氏は本社庶務課事故係主任に夫々內定してゐる

阿武海軍少將

【東京六日發國通】海軍軍令部第一部長海軍少將阿武清氏は去る六日風邪から肺炎となり目黑海軍共濟病院に入院療養中、敗血症を併發六日午前七時五十五分逝去した享年五十五、危篤の趣き天聽に達するや特に中將に進級、從四位に敍せられた

あめりか丸船客(八日大連入港豫定)

滿鐵社員大橋締夫、技師大友富八、中澤武夫

人事

▲勝俣喜十郎氏(鐵路總局囑託)六日午後三時五十分大連發列車にて奉天へ

▲小笠原彰眞氏(本願寺上海別院輪番)七日午前十一時大連出帆の奉天丸にて上海へ

▲河內志郎氏(吉林省警務廳長)六日午後六時半着あじあにて來連

▲伍堂卓雄氏(昭和製鋼所社長)六日午後十時半はとにて來連

▲八田嘉明氏(滿鐵副總裁)八日午前八時四十分着列車で歸連の豫定

▲山下太郎氏(日魯漁業重役)同上

▲伊藤時雄氏(滿鮮社長)同上赴奉

▲兪曉嵐氏(滿洲國外交部官吏)

▲中村謙介氏(滿洲重に日滿土木建築協會顧問)同正午發はとにて赴奉

夫人同伴同上歸任

▲河野恵氏(滿鐵開原地方事務所庶務係長)同上赴任

奉天の青年學校
今年度の入學生は七百名
十日入學式を擧行

【奉天】非常時日本を背負うて起つ若き強者を育むべき青年訓練所は四月一日の勅令により全國一齊に青年學校と改稱する事となり、奉天青年訓練所でも之に倣ひ五日木の香も新しい青年學校の大看板を掲げたが、この新制度によれば非常時青年女子の敎育のため女子部を設ける事となるもの、之の奉天青訓は滿鐵學務課の監督下にあり家政女學校對女子部の問題で滿鐵側では反對の意向であるが **勅令の趣旨** に依つて軍部の支持を得るものと見られ之に對して許可權は關東局にあり志望者は既に五十名を超え續々申込あり現勢上十日開校は認可されるものと見られてゐる

青年學校の改稱も未だ滿鐵社報に發表されてゐないが、學校側では四月十日午前七時より奉天神社境内に於て入學式を擧行する事となつた、今年度入學生は七百名で、その内女子は五十名に及んでをり現學生數は定員一千名に達し校舍の狹隘と諸種の關係で現在は男女共學制を採つてゐるが學科として補修學校青訓時代と同樣で

科目	年限	入學資格
普通科	二年間(現就學數一三名)	(尋常科卒業生)
本科	五年(二〇〇)	(高等科卒及中等學校半途退學)
研究科	一年	(中學卒及本科の卒業生)
專修科		(二十歳以上の青年男女)

▲學科　普通學科、職業科、公民修身科、敎練等を科し女子部は家事、裁縫等が加へられる筈である（寫眞は五日掲げられた青年學校の大看板）

非難の鴨江鐵橋に
快速・豆タク出現
煩雜な通行を整備し朗かに
櫻咲く頃には實現

【安東】畝架、增架の懸案とさへなつた名物國際鐵橋鴨綠江鐵橋は日滿不可分の紹介と共に **稅關を** 除いては相互に異國感著しく薄く橋上交通從つて極めて增加し現在の狹隘な片道鐵橋は甚だしい不便を來して居る、而も自動車は官廳用或は特に許されたもの以外は一切通行を許さずそれで居て一日橋上に乘り入れるや幅員不足のために通行人はヤモリの如く欄側に停止して **自動車** をやり過ごさねばならず、先走る洋車は自動車に追はれて三キロの橋程を息切つて走らねばならぬといふひどく横暴な風景を映し出して居る、然も最近自動車に限らず橋上交通は著しい繁雜を來して居り、花の季節と共にそのクライマックスがどんな形になるかと心配され、之等豫想さるゝ種々な不便を防ぐべく安義兩警察間で案を練つて居たが漸く成案を得た模樣で、それによると近代 **交通界** の寵兒豆タクの通行を自由に許してはといふ事になつた、而も其の數は安義自動車業者一店につき二臺限り從つて六店都合十二臺が安義を結ぶ身輕な足として登場することになるのだが、安東新義州片道一圓程度として安義營業者は互に歸り車は客を漁らない事として許可を見やうとして居り櫻咲く頃までに實現するのではないかとされてゐる

全滿的に大募兵
滿洲國軍政部が擴張のため
主要都市を中心に

【奉天】今回滿洲國軍政部では國軍擴張の爲め全滿的に大募兵を行ふ事となり、奉天警備軍にありては四平街以南南滿一帶の沿線主要都市を中心に約三百名募集することに決定し、既に募集開始したが滿洲國混成旅、奉天警備軍、騎兵第八團機關銃隊旅長齋崎中尉の語るところによれば

目下鐵嶺、法庫、康平の三縣に亘り三十名の嚴選募中であるが一般國民の國軍使命に對する認識乏しき爲め應募率は非常に惡く軍としては困却してゐる現狀にあると

今年の雨量は
平年の半分にも足りない
奉天觀測所の談

【奉天】本年は例年にない天氣續きの暖かさで草木は既に發芽し殊に五日は十六度といふ記錄的の暖かさに奉天の杏の蕾も既にふくらみこの調子で行けば數日中に開花しどうしても例年より旬日は早からうと云はれてゐるが、本年一月以降觀測所の記錄によると

一月は三度、二月は五度、三月は三度例年より暖かく又降雨量は數回少量の降雪と三月廿四日七ミリの降雨があつただけで、十五ミリ二を示し例年の半分にも足りないといふ有樣で今後春播期に入りこの變態的天氣に旱天が杞憂されてゐるが、同所では語る

本年のやうに氣溫が高くしかも雨量の少いことはまだその例を見ない、殊に雨量の如き平年の半分にも足りないので相當空氣も乾燥してゐる、現在の處では天氣轉換の見込みなくどれだけ續くか判らぬ、これで行けば播種期に入り發芽に相當影響することであらう

北鐵舊從業員
就職配置良好

【新京】北鐵讓渡後本國に向け歸國するソ聯邦從業員に對しては既報の如くイルクーツク市にソ聯交通人民委員會を設けその手によつて歸國後の便宜並びに就職先等の振當てを行つてゐるが、これ等歸國從業員の歸國後の就職配置は出來るだけ迅速に行ふ事となり手際よき捌きぶりを見せてゐるが、大體ユーゴーウオーストーチナヤ鐵道、モスクワ・カザスカヤ鐵道、モスクワ・ドンバス鐵道、ザラマ・ヅラトウスカーヤ鐵道、中央アジヤ鐵道、リヤザン・ウラリスカーヤ鐵道の諸鐵道に振り當て既に夫々職に就いてゐる

奉◇撫◇八◇景
永久的名所として
鐵路總局が紹介する

【奉天】鐵路總局では奉天、撫順間五十六キロの路線勝地に奉撫八景を選定し、バスによつて之を紹介しやうと計畫を樹てゝゐるが、近く素人のカメラマンを集めバス七、八臺に分乘して奉撫線に出かけ思ひ/\に沿線の勝地をカメラに收め、この寫眞と實際見た所を合せて審査し八景を定め奉撫八景として永久的名所となすべく力を注ぐことゝなつてゐるので、山紫水明に惠まれない奉天人にとつては大なる福音で各方面から期待されてゐる

日清・日露の
戰蹟九連城を
さくらの公園に
遞信汽車公司が三千本を植樹
遊覽バスを運轉

【安東】櫻のシーズンが近づいて國境の櫻熱は著しく昂揚し、安義の戰蹟保存會では義州統軍亭の對岸に位する **日清日露役** の戰蹟九連城に櫻を多數植ゑ付けて同地を公園化して意義深かく戰蹟を保有して行かうといふ議が起りつゝある、既に遞信汽車公司では櫻苗三千餘本を無料で九連城に運搬、植樹を行つてゐるやうな狀態で、斯くて同地も櫻の名所となれば義州及び鎭江山の櫻と共に國境に一大櫻花圈を現出する事となり、從來の如く朝鮮側は義州を、滿洲側は鎭江山をと孤立的遊覽場となつて居たものが、特に **櫻の季節に** は安東、九連城、義州を結んだ櫻と戰蹟を巡る一大遊覽コースの編成さるゝ事は明らかで、既に遞信汽車公司では遊覽バス運轉の用意ありバスガールの乘務を行つてその準備訓練を行ひつゝある狀態である、安義の發展と共に自然美に惠まれた國境では早くも素晴らしい遊覽圈の出現が期待されて居る

櫻苗數千本
營口より註文

【安東】滿洲櫻の本場安東は滿洲櫻熱と共に營口より苗木數千本の註文を受けて驛公署では目下その需要に應ずるべく種々調査を進めてゐる

安東省公署
愈よ廳舍增築

【安東】狹隘で苦しみ續けて居た安東省公署廳舍の增築は十八萬圓の豫算を以て七月一日着工さるゝ事に決定を見た、それによると現在の約二倍の堂々たる廳舍が結氷期までに出來上る筈である

遼陽清交會
第二回懇親會
六日城內で開催

【遼陽】遼陽は三十年來日滿兩國官民の親睦融和なことは餘りにも有名である上に、去る昭和七年山崎領事、清水警察署長、關屋地方事務所長、楊縣長その他の發起で清交會なるものが組織されその第一回は滿鐵社員倶樂部で催され、其の後立ち消えの如くであつたが今回有志間に再開の議があり六日午後五時半から城內西海樓にて其の第二回懇親會を催すことになつた

娘々祭に
運賃を五割引

【奉天】滿洲名物の異彩娘々祭は湯崗子娘々廟が全滿のトップを切つて來る十八日より二十二日迄五日間に亘つて擧行する事となつたが、祭禮中は高脚踊、支那芝居、奇術映畫を上演し杏花滿開の湯崗子の巷は例年の樣に老若男女の蝟集歡喜に滿ち溢れる恒例の盛大な祭禮に今年の廟修理の完成で一層拍車をかけるもので、奉天鐵道事務所ではこのため大石橋遼陽間旅客運賃の五割引サービスをなし奉天驛よりは五名以上を團體とし往復五割引とし個人の際は三割のサービスで特に往復券所持者には福引の幸運券及び清林館、龍泉別墅の割引入浴券をサービスする筈である

吉林、新京間
驛傳競爭
十九日に擧行

【奉天】盛京時報社、新京日日新聞社主催の吉林、新京間の驛傳競爭は來る五月十九日擧行されるが出場者は日滿人いづれでも差支へなく、一組十人とし滿人は各省市對抗、日人は各都市對抗であるが、奉天體協、滿洲國體聯奉天事務局で希望者斡旋中であるが申込者は既に殺到してゐるので盛況を豫想されてゐる

國婦延吉支部
六日盛大に發會式

【延吉特電六日發】豫て計畫中だつた延吉在住日本國防婦人會は六日午後一時延吉小學校において地元在郷軍人分會主催の下に愈々芽出度く發會式を擧行したが當日の婦人參會者約百名來賓有志多數列席の上延吉○○守備隊長鷹森中佐の「非常時に處する日本婦人の覺悟」と題する頗る有益なる講演あり極めて盛會裡に終つた

萬泉園改修

【奉天】奉天市民の唯一の散策地小河沿萬泉園公園は最近荒廢し改修を要する所多く、これからの散策夕涼みに恰好の地たらしめんと奉天市政公署では中央銀行分行より特資四十萬元を受けて改修工事に着手、本夏までには完成の豫定である

談天炎信心

心外、附屬地黨
奉天大東醫院長　森川千丈氏

◆…奉天在住二十五年、近き十年間はここ大東門外に居を卜して、生命に別條もなく門前雀羅も張らずに、かうして生活して來たこと、人は冒險家のやうにいふけれども私はさほどにも思はない。

◆…事變の時ばかりではない、十年前からだから、郭松齢事件でも張作霖爆死事件でも、やはりこの家で見たり聽いたり感じたりしたものだ、郭事件の折など軍用無電が私の家に裝置されたので、家主としての特典には兩軍の軍狀掌を指すが如きものがあつた、その頃大東門外の日本人の家といへば私の家など目立つ方であつたから期せずして新聞記者の中所となり庭前に二十何社かの諸君が詰めかけ堅いペンの砦を築いたものだ、そこへ私が差當り傳令役を勤めるわけなんだが、一度かういふことがあつたことを憶ひ出す。

◆…郭がいよ/\捕つたといふ情報が例の無電ではいつた、むろん軍用であるからそのまゝ傳へることは出來ないけれども、とにかく「事件は完了だ」と取敢ずペン砦に向つて牒報したものだ、ところがペン砦の方ではウソだらうといふのだ、そんな筈はないといふのだ、といふのはまだ大砲の音がドン/\聞こえて居るからだ、規律のない軍隊のことだから郭の捕つたことなど知らうやうなき下層の部隊はだらしなく砲擊を續けたに過ぎなかつたのであるが、ペン砦の諸君にはそこまでは氣がつかぬから、到頭私の牒報をウソにしてしまつたといふわけだ。

◆…事變後は兵工廠やら滿洲工廠やらこのへんも大へん變つて來たが、日本人住宅が少い、大會社の首腦が相率ゐて附屬地に住宅を定めるのでその部下の中堅社員までが附屬地へかたまる傾向があるのは心外だ、危いことも怖いこともない、私が生身を以てする實證ではないかといつても却々聽き入れない。どういふ性根なのかね、私にはどうも不可解千萬なことだ（奉天）

北滿各地の
軍隊慰問に
國婦支部長ら
十六名が來滿

愛國婦人會本部救援部長中村鐵藏大佐に引率され五日來滿した同會各地支部長等十六名の一行は旅順大連視察後、錦州、山海關、新京ハルビンその他北滿各地の軍隊を約三週間の豫定で慰問する筈である（寫眞は愛婦慰問團一行）

奉天各校始業式

【奉天】奉天浪速、朝日兩高女校の始業式は五日午前九時から擧行されたが入學式は九日午前九時から行はれる筈、又奉中の始業式は六日、入學式は八日午前九時から擧行される

會と催し

◇鳳凰城自治會定期總會　八日午後二時より警察署會議室で開催
◇遼陽地方事務所酒井農務主任送別野球試合　四日午後四時より白塔公園グランドで開催
◇天津大東公司合資會社設立披露宴　七日午後六時半より大和公園公會堂で開催
◇鞍山聯合會青年部總會　十日午後四時より社員倶樂部にて役員改選其他を行ふ筈

スポーツ

◇ラグビー…▼奉天滿鐵對滿洲醫大戰（午後四時より）奉天國際運動場で

各地人事

◇陳明賢氏（營口縣警務局衛生股長）奉天衛生講習所へ入所
◇日向警正氏（營口縣警務局警務指導官）熱河省へ轉出五日赴任
◇山岡壯二氏（奉天鐵道事務所營業係）安東驛事務助役に轉任、八日赴任
◇南治之助氏（昭和製鋼所營業部長）赴連中の處五日夜歸任

滿洲國新皇居建築委員のうちに其顧問として伊東忠太博士が加はつてゐる。
◇
めちやくちやにポン/\撃つことを禁ずべく新京實業部の林務司で鳥獸保護法を考究中。
◇
滿洲全國の自動車は何臺あるか

乘車用	二、九七八輛
トラック	一、三〇二輛
合計	四、二九七輛

その三分の二が官廳使用。
◇
數日前瀋陽警察廳の衛生科で行つた奉天市內支那料理店の滿人女給さん六十名の健康診斷の結果はトラホーム氣管枝炎扁桃腺肥大等の患者が三十人あつた。
◇
支那のチャンバラ映畫として有名な火燒紅蓮寺に出演して一時名を擧げた張慧冲は其後轉向して奇術で賣出し香港で興業中前國務總理某氏のお妾さんを三人迄ひッかけて大問題を起しとう/\國…

小說　儒林外史（五）
原作　吳敬梓
譯　瀨沼三郎
挿畫　河野久

開校の日、申祥甫は村の衆と一緒に、背丈もまる/\な幾人の兒童を連れて來て、先生との初目見得をさせた。それが濟むと付添うて來た親達は直ぐに歸つた。周先生は敎壇の椅子に納まり、授業を始めた。

夕方生徒達を歸してから、贈られた謝禮の包を一々開けて見た。荀家から銀一錢と銀八分の茶代を包んでゐた外は三分、四分、中には十何文しか包んでないのもあつた。それは全部で一ト月の飯代にも足らなかつた。周進はそれを一纏めに紙の中にまるめ「孰れ勘定しませうから……」と無雜作にそつくり和尚に渡して了つた。

生徒達は發育盛りの仔牛のやうに、一寸でも眼を放せば表に出て瓦の打合ひや球蹴りに毎日遊んでばかりゐた。周進はぢつと性來の感情を噛み殺して、敎場に坐つてゐた。

二月餘は直ぐに經つた。天候は日一日と暖かさを加へた。或る日周進は晝飯を濟ますと裏口をぬけ川端に立つて景色を眺めた。村落は川のほとりにさへ幾本かの花をつけた桃の木、芽を吹きそめた柳が、殊に紅や綠の色彩を點綴して眺めは美しかつた。飽かず眺めてゐると、霧雨が細かに降りそゝいで來た。周進は門に雖れ、雨の日の河の景色を猶も眺めてゐた。遠樹は雨の煙に籠り景色はまことに妙なるものであつた。雨は降るにつれ大降りとなつた。

上流から一隻の船が雨を冒して下つて來た。船は餘り大きくはなく、アンペラの小屋掛けがしてあるだけで雨をおそるゝもの如くであつた。船が岸に近づくと小屋掛けの中に一人の男が坐つてゐるのが見えた。艫の方には二人の從者が轄り、食物を用意したいと擔ぎの臨時が置いてあつた。

岸の邊に差かゝると、小屋中の男は船頭に船を泊めろと口早に叫びかけ、お供を連れて岸に上つて來た。周進の前に現れたその人物は、文人頭巾を被り空色の緞子の給を着、厚底の先きの丸味をもつた長靴を穿き鬚髯を生した三十五六の男であつた。

彼は裏口に入らうとして輕い會釋を周進に投げ「これは學校なんだな……」と呟いた。周進は彼の後に跟いて入り、丁寧な挨拶をしたが、彼の男は横柄に構へ「あなたが此處の先生か」と問ひかけた。

「さうですよ」と周進は素直に返事した。

「和尚、なぜ出て來ぬのか」とお供の呶鳴り聲を聽きつけて和尚は飛んで來た。

「これは、これは、王家の大旦那樣でしたか。どうぞお掛け下さい。茶を入れて來ませうか……」と和尚は挨拶もそこ/\に周進の方に振り向いて「大旦那樣は去年の擧人の試驗にお通りなされました。先生、どうぞお持成してゐて下さい。俺は茶を運んで來ますから」と出て往つた。

王擧人は謙讓を知らぬ男のやうに横柄な態度を持續けてゐた。供の者は腰掛を持つて來て上座に据ゑた。周進は下座に持成役のやうな狀態で腰掛けさせられた。

「先生の御姓は」と訊かれて、周進は相手が擧人であることが分つたので「晩生は……」とへり下り「周と申す者です」と答へた。

「去年は誰家で敎師をなさつてゐました」

「縣廳の顧家に」

「では、足下は拙者の師の白老先生の頃、一番で試驗を通られたのぢやありませんか、この二、三年顧家に居たのですか。それは良かつた」

「顧さんとは元來御昵懇な間柄なものですから」

「顧の先生、彼は拙者の下で書記係をしてゐますが、私達二人は義兄弟の契りを取交してゐますよ」

謹奉迎滿洲國皇帝陛下

表彰狀

避雷裝置 延原觀太郎殿

優秀ナル發明ヲ完成シ我邦産業ノ興隆ニ裨補セラル其功勞洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和十年三月二十二日

大阪市長加々美武夫

電力界の福音

塔上用避雷裝置の應用によりて在來の一五四、〇〇〇V送電線にて二二〇、〇〇〇V送電可能なるを立證せられたり。鐵塔改造問題は之れによりて解決せらる。

塔上用避雷裝置の實蹟によりて線路に加はる數百萬**ヴオルト**の異狀電壓は完全に放電せられ、又塔上避雷裝置の放電狀態（碍子の耐壓力の**七〇%**以上を放電するは雷の直撃電壓而已なり）より視るも年中送電線路には雷の直撃以外には碍子を破る異狀電壓の起り居らざるの事實判明せり。

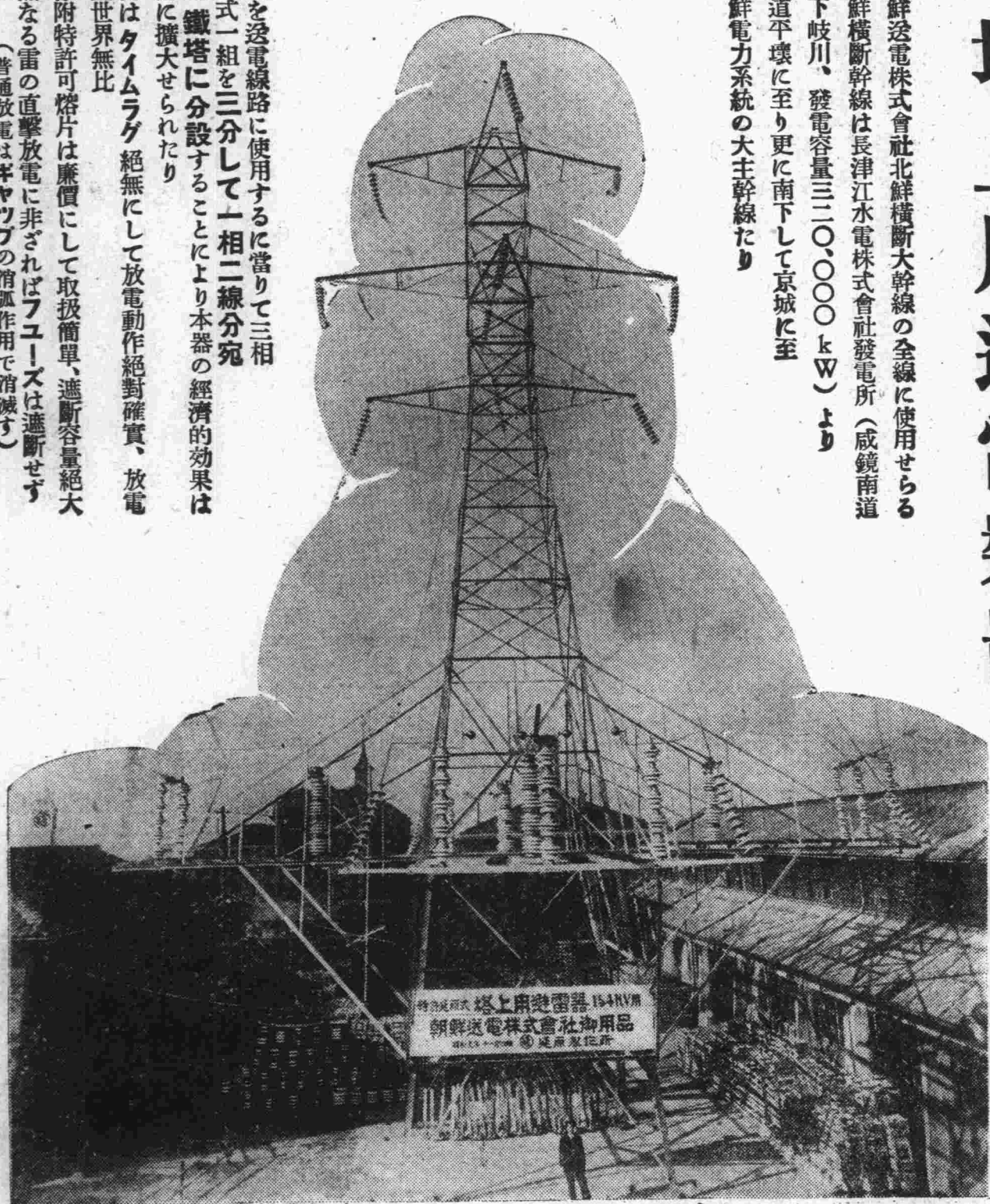
又從來避雷裝置無き送電線路に於て雷の直撃によりて懸垂碍子拾枚中八枚迄を燒破せられ、殘る二枚丈けにて雷雨中一五四、〇〇〇Vの送電を繼續するも支障なき事實より觀るも現在の送電線が使用電壓に對して如何に不必要なる過剩碍子を使用せしやを知らる、卽ち塔上避雷裝置によつて雷電壓を合理的に放電せしむるを得ば、在來の**一五四、〇〇〇V**送電線にて**二三〇、〇〇〇V**の送電するも猶ほ十分なる餘裕を存するものなり

社長 延原觀太郎

此度大阪市長から發明功勞者として表彰せられたる私の避雷裝置の特徴は放電容量最も大にして雷の直撃放電に堪へ是れを高壓配電線路に用ひて電燈電力の停電を防止し又特高用としては送電線の落雷停電を防止するを得又遮斷裝置を有する爲め避雷器より絕對に事故の起らざる事が特徴にて又其の發明の實施せられたる事が世界的に早かりし事でありまず此發明品が大量に實施せられたるは卒先御使用各位の御同情の賜ご感謝致します。

特許 延原式 塔上用避雷裝置

本器は朝鮮送電株式會社北鮮橫斷大幹線の全線に使用せらる

因に北鮮橫斷幹線は長津江水電株式會社發電所（咸鏡南道咸州郡下岐川、發電容量三二〇、〇〇〇kW）より平安南道平壤に至り更に南下して京城に至る全朝鮮電力系統の大主幹線たり

一、本器を送電線路に使用するに當りて三相六線式一組を**三分して一相二線分宛を一鐵塔に分設**することにより本器の經濟的効果は三倍に擴大せられたり

二、本器は**タイムラグ**絕無にして放電動作絕對確實、放電容量世界無比

三、其添附特許可熔片は廉價にして取扱簡單、遮斷容量絕大

四、猛烈なる雷の直撃放電に非ざれば**フユーズ**は遮斷せず（普通放電は**ギヤツプ**の消弧作用で消滅す）

五、故障絕無、耐久力半永久的（構造上老朽部なし）

大阪大仁

延原製作所

電話福島 長二二五一〇番 長二二五一一番 二二五一二番

晴れの御入京を拜す

御美しきお姿に……唯、感激の奉迎

今帝都は歡喜の絶頂

熱誠こめて齒簿を謹寫するシャム公使

には皇帝陛下もげに御目を留めさせられた御模樣に拜した、皇帝陛下の軍帽の前立は春光に映えて夢みる樣な御美しさ、外國新聞記者團も感歎詞を連發してゐた、宮城前廣場で新聞記者や寫眞班に立ち混ぢつてゐた色黒い中年紳士はシャム公使ラクサ氏で鹵簿を十六ミリに謹寫し〃直ぐ國元に送るが東洋二大帝國元首の御英姿を拜してみんな大喜びでせう〃と狂喜してゐた、虎ノ門近くでは滿洲國協和會の人々、滿洲國留學生、大同學院學生等が皇帝の御目にとまるやうにと念じてゐたのも麗しい情景である、一方この日の盛り場の

御珍し

人出は物凄く、殊に淺草の小屋は何處も申し合はせた樣に〃奉祝料金二十錢均一〃と銘打つて特別十時開館といふのに大入滿員、夜に入れば各所の

御旅館へく 奉祝提灯行列集る

奉迎門を始めメーンストリートの電飾は光榮に輝き眼を奪ふばかり、絢爛豪華な花電車は市民の歡喜を乘せて走り、歡びの夜は更くるを知らず、赤坂離宮前のお濠端には春雨にけぶる老杉が靜かな影を連ねてゐた

【東京六日發國通】滿洲國皇帝陛下には六日宮中における晩餐會に御出席のため午後六時三十分赤坂離宮御發、宮中に御參入遊ばされたが、此頃より降り出した小雨はまばゆい街燈をしつとりとぬらし柳の若葉薫る鋪裝道路、五色の色

たが、それとても大したものでなく煙る程度で、東京市並に在留滿人等による皇帝奉迎の提灯行列其他の催し物は御旅館赤坂離宮を中心に全市に亘つて華々しく繰り展げられた

滿洲色一色に

奉迎の光眩ゆく

醉ふよ・帝都の市民

【東京特電六日發】盟邦滿洲國皇帝陛下晴れの御入京の日、けふこそ、お待ち申上げた皇帝を迎へまつらうと熱誠あふるゝ帝都市民は東京驛から赤坂離宮までの沿道を埋めて無慮二十餘萬、團體だけでも四萬五千に達し、櫻田門前お濠端で消防組代表が〃いろは〃四十八組の纏を連ねて奉迎申上げたの

【東京六日發國通】友邦善隣の若き元首をお迎へした帝都、街頭に劇場に公園に隅々まで五色の旗一色に塗りつぶされ奉迎の赤誠は爆發した、午後七時記者は市民歡迎のルツボに飛び込んで市内を一巡した、日滿交驩の歴史的盛儀たる

豐明殿の夜宴 酣 と拜する宮城も、皇帝陛下を始め日滿の顯官を迎へ思ひなしかお欣びにざはめいて、二重橋の灯も松の緑に照り映えてルネッサンス式の建築美を誇つて光燦に輝いてゐる一方足を進めて赤坂を通り銀座に出つればこれはどうだ、宮城離宮の靜かな欣びに比し江戸ッ兒氣質丸出しの有頂天ぶり、電飾された滿洲樣式の奉迎大アーチの下櫻花絢爛たる中提灯、雪洞、國旗はもとより、電光畫をあざむくショウウインドウは悉く日滿色の飾りつけ、滿洲國歌を口吟む銀座マンの足取りも輕い松坂屋、三越の

滿洲展 覽會は殊に夜間も開催し引きもきらぬ入場者を迎へて整理係は汗ダクの態、奉迎の興奮は日本橋、上野のお成街道をめぐつて大衆の淺草まで續く、曰く御着京當夜の實況フィルム公開、曰く日滿レヴユウ、曰く赤い夕陽、茲に至つて江戸ッ兒の興奮は爆發した觀、咲きほこる櫻花と妍を競ふ日滿模樣あでやかな女優は舞臺から滿洲色をばらまく

一巡して日比谷に歸ると東京市民の赤誠こめた奉祝講演會は午後六

待ち切れぬ喜び

豫定を繰り上げた三格姫

兄君陛下を御訪問

【東京六日發國通】指折り數へてお待ち申上げた東京數日の滿人の中でも一入其日をお待ちわびの溥儁氏夫人三格姫はお肉親の御情愛また格別にて、八日公使館における御對面の時を待ちきれず、皇帝が六日宮中より御退下遊ばされた三時過、從弟の早稻田大學生溥佳氏と同道いそ〳〵赤坂離宮に參入

約二ケ月ぶりに御兄君陛下と盟邦日本に於て初の御對面、皇帝陛下に東京御安着のお欣びを言上し種々今次御訪問に關して御肉親としてのいとも打解けられたお物語が續けられ、宮中お晩餐に御出發まで離宮に留まられた、御兄妹のお睦み深きことには側近者一同唯々感激するのみであつた

拓明開發 心意氣 (21)

ルーサンの芽は伸びるよ!

附業課の人のごと

たゞ七人の社員が名ばかりの机を並べてスピアの響を響引かせてゐた、何も仕事がないからである……二年前の滿鐵地方部地方課附業係とはこんな狀景のところであつた、ところが昨日今日の附業課は雨に逢つた蝸牛の樣に盛んに觸角を伸ばして動き出した、歩みは遲いかも知れないが大地滿洲の表面を限なく肥やさうとする心意氣で今は百二十名の大世帶である、産業、土地、畜事、衛生の四科を以て轉手古舞の忙がしさである、昔七人の人の爲に部屋はあつたが、いま百二十人の人に部屋が無く、臨時事務室を隣接の東拓支店三階大廣間に急設し、一度に百名のペンの走りは微かなカサコソの音を立てゝ蠶と桑の葉の關係を響かす

……

附業課はその影響の及ぶ全滿鐵即ち鐵道線路の土手、驛舍附近の間地、局宅周圍の庭苑などに隙間もなくルーサンの芽を伸ばし、近づく南業の花盛りにはは蜜蜂を飼ふ養蜂にもなるのであるが、元來牧草が目的なので花は雷の間に刈り取られ、蜂も正餐までありつけず、ほんの香ひのオール・ドーブルのみ

この蜜蜂室から生れ出たルーサンは、辭書にうまごやしと譯じうまごやしはクローヴアであるし、然し決して同じものではなく、元來アルファルファと稱しアラビヤ語の最良の牧草であるだから、滿蒙の畜産を大援助する大きな力をもつてゐる、南滿では年四回北滿でも三回の收穫あり、牧草として好適のみならず、大氣中に遊離窒素を攝取し、土壤に有機質を流加し、土地を肥沃化する作用もあり、すこぶる効用ある新牧草として開拓滿蒙の土の上に今ルーサンのア、ラ、モードである。(寫眞は刈取初日の夕景色)

× × ×

豊かな滿洲色

時半から市政會館で行はれてゐる滿洲國各學生俱樂部が索國の奏する

豊かな 雅樂が日比谷の緑の内に流れると、折柄萬燈無窮、東洋平和、王道の光り等と十臺の花電車は日比谷に絢爛たる姿を現はし市民の眼を奪つてゐた(寫眞は奉迎花電車―國通)

交驩放送のプロ決まる

滿洲國皇帝の御訪日に際し電々會社では劃期的な御盛儀を奉祝するため九日「日滿交驩」放送を行ふこととなつたが、そのプログラムは左の如くである

滿洲國皇帝陛下御訪問奉祝日滿國歌合唱會

▲日本側 關東女學校聯盟主催「二萬人の合唱」神宮競技場より中繼、午後零時より一時十分まで及び二十分より一時まで

▲滿洲側 日滿教育聯合會主催、日滿女學生交驩合唱會、新京高女講堂より中繼、午後零時十分より二十分まで、出演者新京高女生徒七百人、同特別市立女子中學校生徒三百名、伴奏新京高女教諭山本芳智氏

△曲目(一)君が代(二)滿洲國歌(三)皇帝陛下御訪日記念日滿交驩歌 なほ日滿交驩歌の作詞者は樺甸縣張惠南氏、作曲者は西谷武平氏である

勝率で優勝決定

廿日から 六大學リーグ戰

【東京特電六日發】配分金を繞るリーグ戰の暗雲は早大の讓歩により一掃され、いよ〳〵來る二十日から二季制復活最初のシーズンを神宮球場に展開することゝなつた五日午後の理事會で早大山本部長より前回理事會の決議を承認する旨の通告あり岩本理事長を中心に議事に入り各項目を一瀉千里に決定した、試合方法は三回戰なしで勝率により優勝を決定することゝなつた、尙ほ呼び物の早慶戰は六月八、九兩日單試合で擧行さる

六大學リーグ 今期試合日割

【東京六日發國通】六大學野球リーグ戰は二期制に復し來る二十日の法帝戰を皮切りに春のシーズンを開く事となつた、春のシーズン試合日割左の如し

▲四月二十日―法對帝、明對慶▲二十一日―明對慶、帝對法▲二十七日―法對早、帝對立▲二十八日―立對帝、早對法▲五月四日―帝對明、法對立▲五日―立對法―明對帝▲十一日―早、立對慶▲十二日―立對慶、明對法▲十八日―法對明、帝對慶▲十九日―法對明、帝對慶▲二十五日立對早、法對慶▲二十六日―法對慶、早對立▲六月一日―明對立、帝對早▲二日―早對帝―立對明▲八日―早對慶▲九日―早對慶

選拔中等野球 けふ優勝戰

愛知商を破つて岐阜商勝ち殘る

【大阪特電六日發】大每主催全國中等學校選拔野球大會準優勝戰の岐阜商業對愛知商業の試合は六日午後二時半から甲子園球場で行はれ、先攻の愛知商業は一回に一點五回に一點を入れ、岐阜は四回に一點を得たのみで七回までリードされたが、八回に一點を入れて同點となり、双方好守して遂に延長戰に入り、十二回にいたて岐阜遂に得點し三A對二で午後四時半閉戰かくて優勝戰は七日廣陵中學對岐阜商業の間に行はれることとなつた

大衆文藝物語の夕

第一夜は大盛況

伍東、里見の名調子 滿堂の聽衆を完全に魅了

本社主催の「大衆文藝物語の夕」は六日午後七時より協和會館にて開催されたが、映畫解説界の二巨人によつて始めて紹介された「物語」は果然全市ファンの人氣を呼んで第一夜は大入滿員の盛況であつた定刻先づ里見義郎の「鳴館時代」より始められ次いで東宏郎「元祿忠臣藏」里見「椿姫」伍東の獨擅場「赤垣源太郎の唄」とプログラムを追つたが、その名調子は滿堂の聽衆を完全によはせ午後九時三十分盛況裡に終つた

【寫眞】當夜の大聽衆と壇上の伍東(左)里見(右)兩君

玄關の通り魔

半歳餘、市内を荒し廻るオーバー泥棒

怪鮮人二名捕はる

昨年の九月から今日まで通り魔のやうに市内各所に出沒し百數十件の窃盜、掻拂ひをなし、宛かも警察を愚弄するかの如く横行してゐた怪盜團の一味朝鮮人二名が大連署の

必死 の努力により遂に逮捕、千頭兩刑事によつて逮捕された―

昨年九月頃から頻々と起るオーバー盜難につき大連署では被害者の屆出により市内十數軒の質店より次々に贓品を發見し得たが入質者は二人組朝鮮人である事以外には詳細に突き止めることが出來ず、僅につかみ得た鮮人二名の人相を唯一の捜査資料として探索すること約半年、偶々遠藤、千頭兩刑事が六日午前零時頃逢坂町朝鮮遊廓附近を密行中、さきに知り得た人相と酷似する鮮人二名が素見しつゝある態度に不審を抱きその場で取り押へて本署に連行、嚴重取り調べたが、その夜は遂に口を割らず六日午後四時頃になり漸く犯行の一部を自白した

それによると朝鮮黄海道長淵郡長淵面邑外里三四、市外老虎灘會九四居住李震琪(二七)朝鮮咸北城津邑旭町七一、市外老虎灘會九四千明濟(三七)で李震琪が主犯となり市内三十六ケ所で主に

玄關 に掛けてあつたオーバー専門に荒し廻つたもので、贓品を入質した質屋は十六軒に及んでゐる、特に被害件數の多かつたのは嶺町方面であるが、若狹町池田小兒科醫院、但馬町保野氏方など各々一軒で數百圓のオーバーを窃取されてゐる

他の連累者については未だ口を割らぬが、これをきつかけに怪盜團の總検擧も間近にあると見

各國名品 双眼鏡

各種時計、眼鏡 セキスタント 船舶用時計 コロノメーター 晴雨計

大連市山縣通一五二番地 淺田商會 電話(2)六二三六番

今度は不法監禁

大東公司社員七名に

支那官憲の魔手

滿洲國及び關東局の入滿苦力取締による大東公司査照に對する支那官憲の不法壓迫は遂に龍口の大東公司社員不法監禁事件を惹起し外交問題化せんとしてゐる

去る三日龍口支那公安局は同地大東公司出張所滿人社員七名が苦力に對する支那官憲の貼附布告書を破棄したとの理由で不法にも逮捕し監禁してしまつた、これを昨日知つた同公司邦人社員柴田啓一氏(四三)が右七名の引取り交渉のため公安局に赴いたところこれまた不法にも暴行を加へた揚句監禁した

この情報に水上署高等係では眞相を調査せんとしてゐるが、支那官憲の不法壓迫のためか入港豫定の船が一日以來龍口より一隻も入港せず、事件の一切が判然としないので同公司天津出張所員織田定四郎氏は芝罘日本領事館の手を通して社員救出のため六日午後七時出帆の第十六共同丸で芝罘へ向つた

滿洲國皇帝陛下 御訪日映畫公開

御訪日第一日の御模樣(一卷)

日時 七日夜 場所 日活館 映樂館

滿洲日報社

中等學校選拔野球大會準優勝戰の

戸崎二等兵戰死

【ハルビン特電六日發】横山部隊の野澤部隊は五日橫道子附近において匪賊五十を發見、交戰三時間後これを擊退した、この戰闘で二等兵戸崎昇一君は戰死した

日野畫伯歸國

南大將の令弟

今を時めく駐滿特命全權大使南大將の令弟で滿洲國外交部囑託といふいかめしい肩書を持つ日野鷹三郎畫伯は六日出帆のうらる丸で歸國した

私は去る十二月兄に隨伴して新京に行き爾來官邸に滯在してゐました、靑年團長をやつてゐるので旁々一度鄉里大分に歸省し後鎌倉に參りその消息を傳へて東京の樣子を視察したいと考へてゐます、再び渡滿しますが目下の處何時になるか分りません私は養子にいつたので日野といふ姓を名のつてゐます、兄弟は七人居ますが私は尻から三番目です

早川齒科 大連市西通九三 (常盤橋附近) 電話二・三九七一番

けふのメモ

られてゐる

▼グライダー初飛翔 午後一時より周水子飛行場

▼大衆文藝物語の夕 午後七時より協和會館

▼寶聲會素謠會 午前十時から滿鐵社員俱樂部

▼食料品展示會 商工會議所

▼金州春競馬 第二日目

▼救世軍瀨川氏講演會 午前十時より沙河口滿鐵家事講習所、午後七時半より西廣場軍營

スポーツ

◇ラグビー…▼工專對大商戰(一時より)▼國際對滿電戰(二時十分より)▼工專對工場戰(三時二十分より)いづれも大連運動場で

◇ハイキング…▼滿鐵社員會遠足部、運動會遠足部及び本社共同主催第一回ハイキング、午前九時大連神社國旗臺下に集合老虎灘裏街道で(參加隨意)

句樂持参

今度關東軍に返り咲いた吉岡安直中佐といへば有名な支那通で而も氣骨稜々、その豪快ぶりについてはいろ〳〵な逸話が傳へられて居るが、その內最も奇拔なのを一つ。

……◇……

それは一昨春熱河聖戰の際、錦州での話であるが、當時數多い慰問品の中にモガ諸姉が好んで口にするチユウインガムが混つてゐた、素よりこんなものに緣のなかつた吉岡參謀、キヤラメルと同じやうに思つてそれを無雜作に口の中に抛り込んだものだ。

……◇……

所が幾ら嚙んで見ても解決がつかない、ゴムだといふ事を御存じない參謀は〃えゝ面倒な〃とそれを嚥下して了つた、それも一つならよいが次から次に呑み込んだチユウインガムが何んと十三個とは―

お蔭でそれが腸壁に粘着して離れず、一時盲腸炎見たいになつて發熱し、流石の豪傑も參るかと思ひの外、下劑をドン〳〵飮んで到頭それを流して了つた。

……◇……

題して〃吉岡參謀のチユウインガム事件〃といふ、如何にも武人らしい〃頑張りズム〃の發揮ではないか。

異人劍法 (46)

伊東行男
金子清之介畫

湯けむり（その四）

「何をそんなに驚いてゐるのさ」

思はず呆れて眼を見張つた巳之助の前で、小梅の着物がするりと辷つた。

裸體になると、それでも流石に羞かしそうに、唇をむすんで微笑ひ乍ら、眼で巳之助をやさしく睨んだ。

小梅はのめ〳〵と湯ぶねのふちにしやがんだ。肉づきの豐な肌が雪のやうに白いのである。腰から膝へかけての曲線も、なめらかにむつちりと盛りあがつてゐる。すべてが、わざと人を誘ふやうな媚態なのだ。

入れ代りに巳之助が默つてそつけなく上らうとすると、

「まア逃げるのかい、お前さん……」

と小梅の手が、すばやく、お湯をくゞつてからんで來た。

「昨夜のお禮も云ひたいし、逢つていろ〳〵話もしたいと、わざわざかうして訪ねて來たのに、お前も薄情なおひとだねえ。ひよいと覗いたこの湯小屋に、お前をみつけた時のうれしさ、幸ひほかに邪魔はゐないし、妾ア胸も飛び立つばかりで、これも神樣のお蔭かとそつとあなた、心の中で手を合せて泣いたんですよ……」

怨めしそうな眼眸で、ぢいつと小梅に見つめられると、そのまゝ巳之助は、湯ぶねの隅に腰をおろして、動けなくなつてしまつた。

月明りを湛へた湯ぶねに、滿足さうな小梅の顔が浮んでゐた。

小梅は悠々と髪の毛をかきあげてゐる。

すると、白粉と髪油の匂ひが、甘く惱ましく、湯氣ににぢんで、漂つてくるのであつた。

「ねえ」

と鼻にかゝる聲で、小梅は白い齒を見せ乍ら、

「昨夜はほんとに有難うよ。救けられてこんな事を云つチヤア、何だか御世辭めくけれど、お前の啖呵の齒切れのよさ、妾ア胸がスーッとした。あの大浦の岩太郎が、グウの音も出なかつたねえ。やつぱり流石にお前だと、思ひ出した時のうれしさ。何しろ昨夜はあのざまだつたし、お前はお前で商人に化けてゐたから分らなかつたが、ねえ巳之さん、思ひがけないこの土地で、お前に逢へようとは思はなかつた。夢のやうで、嬉しくて

嬉しくて、妾ア今日になるのを待ちかねて、逢ひふら〳〵と追ひかけて來てしまつた……」

小梅はそれがテレかくしの、ほろ苦く微笑ひつゝ、

「旅から旅の渡り鳥、今ぢやアこんな見るかげもない旅藝者だが、巳之さんお前おぼえてゐよう。いへば妾の恥さらしだが、甲州でお前さんにこつぴどくふられた女さねえおぼえてゐたら一度でいゝ、おくれでないか。ねえ可哀想だと少しやア妾の氣持にもなつてみて思つてさ、ねえ、巳之さん……」

と窓を指さし、

「幸ひ今夜は、ふたりの話を聞いてゐるのは、あのお月樣たつたひとり……」

ほんの少しでも笑つてみせれば巳之助の腕の中に、小梅はすぐ崩れかかつて來たかもしれぬ。だが巳之助は默してゐた。默つてそつぽを向いてゐるのだ。

「呆れたのかえ、巳之さん……」

それにも巳之助は返事をしないで、立上つた。きつい聲が、口惜しさうに、

「まアお待ちつ」

だが巳之助は啞のやうに、さつさと着物を抱へると、ニベもなく湯小屋を出て行かうとした。

「ぢやア巳之さん、お前あくまでシラを切る氣かへ。フン甲州の勝沼一家にやア、確か狼煙の巳之助といふ、いい賭博打がゐた筈だつた……」

B 104

滿洲日報 夕刊

けさ九時横濱へ 豫定通り御入港

星空の下・御召艦東航

【新京電話】比叡五日午後九時發、駐滿海軍部發表＝太平洋上うねり大なるを慮り豫定航路を變更して針路を陸岸近くとり、艦は滿州灘に入りて動搖次第に靜まり弦月弓の如く空にかゝり星光極めて明かなり、陛下には御機嫌益々御麗しく晩餐には滿洲料理を饗進す、今夜北西の風十一米本艦時速十五ノットにて東航中なり、所定通り明朝午前九時横濱に入港の豫定

驛から赤坂離宮へ 莊嚴華麗の鹵簿！

特に無蓋馬車に召さる

【東京五日發國通】六日午前十一時三十分宮廷列車東京驛御着と共に聖上陛下と歴史的御對面を遊ばされて後滿洲國皇帝陛下には午前十一時四十分東京驛中央御車寄せに御迎へ奉る美々しき四頭立の儀裝馬車に御乘車秩父宮殿下御同乘林首席接伴員御陪乘、驛前廣場を飾る滿洲國風の **大奉迎門を** 經て御旅館赤坂離宮に向はせられるが、この日の鹵簿は特に第三公式鹵簿を以て編成し、而も國民の熱誠なる奉迎を受けさせらるゝ思召と皇帝陛下の颯爽たる御英姿を拜せしむるため御召馬車を無蓋に遊ばされ近衛騎兵曹長の捧持する皇帝旗を先頭に前後二部隊より成る儀仗騎兵は御召馬車を中心に沈宮內府大臣、張侍從武官長以下隨員の坐乘する七輛の儀裝馬車を從へさせられるこの御有樣は古代の繪卷にも似て莊嚴の裡にも **華麗の極み** である、この日皇帝陛下には滿洲國大元帥の御正裝に蘭花大綬章同頸飾を召され天資の氣高き御容貌輝かしく奉拜者に對し御會釋を給ふ御樣子は思ふだに畏き極みである

列、更に溜池から紀國坂までには被服本廠、通信學校、工科學校、傷病軍人、在郷軍人が整列して奉迎

鹵簿には鎌田大尉指揮の近衛騎兵一中隊が軍旗を捧持して儀仗、又皇禮砲は野砲隊一聯隊第一中隊、砲四門は宿利大尉指揮の下に參謀本部前において皇帝陛下が東京驛御到着と同時に二十一發の皇禮砲をはなつ

なほ赤坂離宮の御警衞には近衛步兵四聯隊の一個中隊が御退京まで勤務に當ることになつてゐる

御入京當日の 陸軍儀禮

五日公表さる

【東京五日發國通】六日滿洲國皇帝陛下御到着當日の陸軍儀禮は五日公表されたが、それによると儀仗隊は横濱岸壁においては步兵三聯隊伊集院少佐の指揮、軍旗を捧持する步兵一中隊及び戸山學校軍樂隊、反對が海軍側横須賀海兵團、宮田大佐の指揮する一ヶ大隊と共に堵列奉迎申上げ、東京驛には近衛二聯隊中村少佐指揮、軍旗を捧持する步兵二ヶ中隊及び戸山學校軍樂隊が儀仗し堵列部隊は第一師團長代理中村少佐の指揮する第一師團部隊及び近衛步兵三聯隊、電信隊一聯隊が東京驛から郵船ビル、宮城前、拓務省前から櫻田門、警視廳、虎ノ門公園附近まで堵

サ國總領事 シゲンザ氏 皇帝陛下に拜謁

【東京五日發國通】昨年五月日本に次いで滿洲國を承認し全世界をあつと言はせた中米サルヴアドル國の初代駐日總領事レオン・シゲンザ氏は此の度皇帝陛下御訪日が決定されるや是非とも眼のあたり拜謁したいといふ熱情を抱いてゐたが遂に意を決しこれを丁滿洲國公使に打明け謁見方を懇請したところ丁公使も種々考慮の結果、七、八日頃赤坂離宮で內謁見の形式の下に晴れの謁見を給はることになつた

滿洲國海軍練習生の奉迎

【横須賀五日發國通】滿洲國海軍練習生の一團は去る三月十三日滿洲國江防艦隊より選ばれて横須賀海兵團に入團、猛訓練を受けてをり日本語も相當上達專任教授

趙氏單獨拜謁

【東京五日發國通】官を辭して以來高輪の寓居に靜養中の趙欣伯氏は今回皇帝御渡日に當り勳一位の帶勳者として謁を賜ふ事になり八日の公使館における皇帝奉迎會當日丁公使等と共に單獨賜謁を許される事に內定した

協和會視察團 帝都で皇帝奉迎

【東京五日發國通】帝都で皇帝陛下を御迎へ申上げる滿洲國協和會視察團一行六十二名は團長小川增雄氏に引率され四日吳市を訪問、工廠等を見學の後午後零時三十二分發の列車で東上、五日午前六時五十五分多數の出迎へを受け東京驛に到着した

一行は少憩の後、自動車に分乘二重橋前で宮城を遙拜、明治神宮にも參拜、滿洲國公使館を訪づれ、午後四時宿舍に入り六日午前虎の門での皇帝陛下晴れの御入京を御迎へ申上げることになつた、尚一行は十一日、日光見物に赴くまで六日間滯京の豫定であるが、その間觀兵式にも臨み靖國神社、東京帝大、林陸相及び前侍從武官長本庄大將を訪づれる筈である

文部省、訓令を發し 機關說を排擊

著書に對しては行政處分 閣議で方針決定

【東京五日發國通】天皇機關說に關し五日の閣議は左の方針を採る事に意見一致した

一、美濃部博士の著書中には用語上に不穩當な點ある故速かに檢事局に召喚して用語上不穩當の點あるを認め自發的に訂正すればそれでよいが若し自發的に訂正を行はぬ場合は直ちに行政處分に付す

一、文部省は訓令を發して天皇機關說を排し國體明徵に關する敎育方針を明示する

召喚は七日か

【東京五日發國通】司法當局はなるべく速かに美濃部博士を召喚して用語上不穩當の點に關する說明を聽取し不敬罪に關する起訴、不起訴を決定することとなつたが、美濃部博士は大體七日の日曜に召喚を見るのではないかと觀られてゐる

お待兼ねの 聖上陛下

畏し・拜察される御友情

【東京五日發國通】畏くも天皇陛下におかせられては國際平和の上に大御心を垂れさせられ滿洲國建國に當つては東亞の平和親善の鍵となつてゐる同國の興隆の上に常に御軫念遊ばされ、滿洲國の諸事情に就いては各關係者を御召し御聽取あらせられた程で今回の御來訪は一入お待兼ねであらせられるは申すまでもなく、御來訪を明日に控へた五日の如きは側近者に御歡迎御接待の御模樣を御聽取遊ばされる等友邦元首に對する御友情の程を拜して側近者何れも恐懼感激してゐる

高橋藏相ら 急速解決を主張

學說問題と五日の閣議

【東京五日發國通】天皇機關說の處置に關しては去る二十九日の閣議にて急速に解決の方針と決定し閣議散會後岡田首相と後藤內相小原法相、松田文相の三閣僚が協議するところあつたが五日の定例閣議にて小原法相は美濃部博士の著書に關する告發事件の取調狀況を報告し近く美濃部博士を召喚して

一、如何なる思想如何なる意圖の下に天皇機關說を說かれるか

一、執筆當時の心境、現在の心境並に思想

等につき博士の說明を聽取し然る上で何分の措置を講ずる考へであると司法當局の方針を言明し又後藤內相も

內務當局としては出版警察の立場より調査を進めてゐるが之が處置に關しては司法當局の取調べの結果を俟つてなす方針である

とて出版法に牴觸する點等につき詳細なる說明があり司法處分と行政處分の不可分なる所以を力說し更に松田文相より

文部省としては敎育上の見地より國體の本義を明徵ならしめるため適切妥當なる措置を講ずべく鋭意調査を進めてゐる

旨報告があつたに對し最も長老閣僚たる高橋藏相より

美濃部博士の著書の內容が犯罪を構成するかどうかは別個問題として既に本問題が學說論爭の範圍を脫し政治問題として取扱はれ社會問題化した以上政府としては行政上の見地から速かに明確なる處置を講ぜねばならぬ

とて急速解決を圖るべしとの強硬意見を述べ床次、林兩相よりも同樣の意見が開陳され後藤、小原、松田等の關係閣僚もこれを諒承した

審議會委員は 銓衡任用とす

その官僚化は努めて防止 長老閣議で決定

【東京特電五日發】岡田首相は五日首相官邸における師團長招待會後、午後二時半から床次町田兩相を招致して內閣審議會問題に就いて重要三長老會議を開いたが先づ首相から町田氏の旅行中における閣議の模樣を報告して諒解を求め町田氏からは民政黨總裁として黨の意向を傳へ協議を遂げた結果大體次の點に歸着した

議會の希望に應ずることに努めるのは勿論であるが委員の自由任用は實際問題として議院法その他に牴觸して困難であるから銓衡任用をするが勿論官僚化の防止は充分考慮し更に調査局參與には民間から有識者を網羅することなどもその一方法である

通商審議會 來廿二日頃招集

【東京五日發國通】廣田外相はいよいよ懸案外交に乘出すことに決意し約二年振りで通商審議會を開催すべく來栖通商局長に命じて萬端の準備を調整せしめつゝあつたが、既に去る三月七日民間側委員の顏合せを終り大體の諮問案骨子も出來上つたので十五日滿洲國皇帝陛下の御離京ならびに十九日米國產業視察團神戶出發後愈々來る二十二日頃通商審議會を招集することに決定した、しかして當日の會合においては廣田外相の挨拶に引續いて來栖幹事長は最近の國際通商情勢を詳細に說明したる後、外相の諮問案として提出される現下世界情勢に對照してわが通商振興根本策の

一、對外的問題 我國商品に對して制限を行ふ諸國への對策、我國の恒常的入超國對策、新市場對策

二、對內的問題 通商機關の擴充強化、輸出組合、輸入組合の連絡ならびに統制

諸案に對し各委員より率直なる意見の開陳を求めるはずであり、貿易省設置問題、輸入組合統制問題等の國內重要問題の論議される折柄今次の通商審議會は內外共に多大の關心を拂はれるに至つた

產金買上値段

【新京五日發國通】財政部產金買上價格一瓦に付き三圓四角五分

對支借款問題 結局立消とならん

英の提議に列國反對

【東京特電五日發】對支國際共同借款は米佛動かず、日本も不同意を表明してゐるので事實上絕望視される、最近英政府は單獨借款の意思なきに拘らず日米佛に對支借款の共同調査方を提議し來つた所之また列國の同意を得る能はず、結局單獨調査に名を藉りて體裁を繕ふ事になる模樣である、然し支那の財政事情は一般に知悉され幾多の報告書もあるので今更調査の必要なかるべく英國が單獨調査する事は對支借款打切りのための口實と觀られる、而してわが外務當局は幾多對支借款の經驗に鑑み南京政府の自力更生的國內整理案が現れざる限り新借款は無駄であるとの大方針を持し、國際借款案も立消えとなるものとの觀測の下に國民政府の親日轉向策を基調とする日支提携の具體案を期待する態度を以て進む筈である

米第三次抗議に 覺書を手交

…滿洲國石油統制問題… 今週中に外務省から

【東京五日發國通】滿洲國石油統制問題に關する昨年十一月二十四日英國大使よりの第三次抗議に對しては既に去る三月二十五日附覺書を以てわが外務省より英國大使館を通して英國に回答を發し、所謂英國側の抗議に法規上にも亦實際上にも何等の根據なき理由を詳ねて說明したのであつたが、同樣昨年十一月三十日駐日米國大使グルー氏を通して行はれた米國第三次抗議に對しては今週中に覺書を手交する筈である、而して右對米第三次回答は對英第三次回答の內容と大同小異であり

一、滿洲國の石油統制政策は一に滿洲國獨立主權の發動によるものであり英米は素より第三國の何れの國家と雖もこれに聊かの容喙をも許さゞるところである

一、支那と第三國との條約規定が支那より獨立したる滿洲國により何等新たなる取極めなくして一律無條件に繼續せらるべしと解するを得ないことは國際法上自明の理と思考す

一、滿洲國石油統制法は既に國內實施期にある關係上、米國石油業者は此の際實務的見地に立つて宜しく滿洲國政府當局との間に事務的折衝を開始し次善の策を講ずべきを至當とす

との骨子に從ふものであり、更に來週中には駐日オランダ公使パブスト氏に對して正式覺書が手交される筈である

東歐條約に代る 全歐軍事同盟

佛の對獨案內容

【パリ四日發國通】フランス政府はベルリン會商の經過に關し、更に英國政府から詳細報告を接受してゐるが、右報告に徵し東歐ロカルノ條約案に見切りをつけ同案に代る軍事同盟案を考慮、飽くまで強硬な防衞陣を張つてドイツ政府の軍事的野心を叩き潰す方針と解される、フランス外務省當局の言明するところによれば、右代案の內容は次の通りである

第一案 全歐軍事同盟 侵略の行爲ある場合には、歐洲各國政府は被侵略國に對して軍事的援助を附與する、締約國は佛ソ兩國はじめ英伊兩國その他歐洲各國政府を網羅する

第二案 相互援助協商案、佛ソ兩國にチェッコスロバキアを加へて大戰前の協商と同樣な同盟關係を確立、三國政府間に相互援助を締約する

フランス政府は第一案をストレーザ會議に提出、英伊兩國代表の同意を要請する方針で、既に英伊兩國政府の間に意見の交換を了したといはれる

プラーグ會談

【プラーグ四日發國通】四日午前八時プラーグに到着したイーデン國璽尚書は直に外相官邸にベネシュ外相を訪問、會談を開始した、席上イーデン氏はベルリン、モスクワ、ワルソー會談の結果を報告し之に對する英國政府の立場を說明し、これに對しベネシュ氏は歐洲平和工作に對するチェッコスロヴアキヤの意圖を披瀝して相互に胸襟を披いて懇談、正午頃會談を終つた、會談後發表されたコムミュニケ全文左の如し

四日行はれたイーデン國璽尚書とベネシュ外相との會談にて兩國政府は歐洲の一般平和確保に就いて全然その目的並に政策を一にし、且つ國際聯盟の政策を眞摯且つ不變の態度を以て支持せんとするものなることにてその軌を一にしてゐることが確認された

滿洲國の 會計年度改正

曆年度と一致させ 來三年度から實施

【新京電話】從來滿洲國の會計年度は七月一日から六月三十日までとなつてゐたが滿洲國政府では今後これを改めて會計年度と曆年度と一致せしめて一月一日より十二月三十一日までとすることに決定康德三年度よりこれを實施することゝなつた、從つて康德二年度豫算は七月一日から十二月三十一日まで六ヶ月豫算の編成をみる筈である

反日滿畫策 成らず

失意の宋哲元

【承德四日發國通】信ずべき筋への情報に依れば宋哲元は過般察哈爾省雲王を籠絡し二省協力以て日滿軍に對抗すべく畫策準備中なりしところ最近雲王は宋に對し該策動には反對の意を漏らしたるため兩者の意志疎隔せしもの如く、雲王の背後にはソ聯の使嗾ある模樣である

なほ宋は過般の事件勃發以來蔣介石の信用を失ひ失脚の運命を辿りつゝあると

師團長會議

【東京五日發國通】師團長會議第二日は五日午前九時より參謀本部大會議室にて開會、閑院參謀總長宮、朝香近衛、東久邇第四兩師團長宮殿下をはじめ奉り、植田朝鮮、寺內臺灣兩軍司令官以下各師團長等出席、冒頭閑院總長宮殿下より一九三五、六年に對應する國防用兵につき御訓辭を賜はり、ついで杉山次長から諸般の統帥事項に關する講演あり、更に山田總務部長より本年度豫算實施に伴ふ編成その他細目、鈴木第一部長より本年度の作戰動員計畫についてそれぞれ說明あつて正午休憩、午後繼開した

三月中の商標 出願數

【新京電話】商標局發表による康德二年三月中における商標出願數は左の如く二百五十三件中日本が二百三十件により壓倒的多數を占めてゐる

日本二三〇、イギリス三、米國二、ドイツ三、滿洲國一五

州內と附屬地 二月末人口

關東局發表にかゝる二月末現在の關東州及び附屬地人口は左のごとくで前月に比較し州內にて二千五百五十九人、附屬地にて二千三百二十三人の增加となつて居る

	關東州	附屬地
內地人	一三一、九三七人	一七一、一七六人
朝鮮人	一一、七一四	一六、六六九
滿洲人	九〇四、三一六	二三一、四〇九
外國人	一、〇八七	一、三二九
計	一、〇八〇、二八〇	四二三、四二三
總計	一、五〇三、七〇三	

井上大同學院長

【新京四日發國通】新任大同學院長井上忠也氏は八日〃あじあ〃で着任の豫定である

大觀小觀

旅順に結成された「日本精神聯盟」の綱領及宣言を見よ▲「覇道的世界政策に基く民族的偏見を排し道義的國際關係を確立」する▲之は非常時に全盛なショーヴィニズムに向つて一掬の冷水を灑ぎかけたものだ▲又正義に則り自他の誤動を行ふといひ「排他を戒め大國民たるの襟度を養ふ」といふ▲孰れも刻下の時弊に適切な文字であり綱領である▲擧國の協力が必要である際に「斷乎排擊」が一の流行をなしては居らぬか▲自己反省は拋擲して他人を責むることのみに急な弊風がないか▲此の秋において關東州の一角から此の堂々正々の旗幟を掲げた聯盟の出群を見ることは大に心強い▲非常時に簇出する各種の運動、各種の團體は玉石混淆といふべきものがある▲此の「日本精神聯盟」が其の標榜するところに邁進して克く指導的中心勢力たらんことを希望する。

人事

▲井之上理吉氏（親子窩警察署長）五日後六時半着あじあにて來連 ▲岐部與平氏（ハルビン郵政管理局長）同上 ▲石橋巳之助氏（州廳警察部保安課長）同午後九時大連發新京へ ▲渡部通業氏（撫順セメント專務取締役）同上 ▲白井喜一氏（新京鐵道事務所長）五日午後十時半着列車にて來連 ▲吉野不二夫氏（元大連市總務課長）五日午後四時五十分發列車で吉林へ ▲熙洽氏（滿洲國財政部大臣）五日新京發あじあにて奉天へ

愛戀十字街（32）

淺原六朗 橋本八百二繪

春の情炎（五）

支那料理をたべて、カナン・ホールにむかつたときは、誰も彼れも、食事の充ち足りた感情で活氣づいてゐた。明子も初めのころよりも、ずつとこのグループのかるい氣分に和することが出來た。

伊勢佐木町の裏側に新築されたばかりのカナン・ホールは、それを目的に建てられたホールだけに、東京などのホールよりも、ずつと豪華なもので、大理石の圓柱のあたりに裝飾的に立ちならび、觀覽席のあたりから、休憩室のあたりに、その圓柱の周圍には、薔薇や、カアネエション、スキトピイなどが、ジャズの音に搖らぐやうに咲きほこつてゐた。

みると、外人や、アメリカの軍艦がついたのか、いかにもヤンキーらしい明るい表情をした士官たちも踊つてゐる。

街子はすぐに青柳と踊りだしてゐた。森はスキーでクリスチアニアは踊れるが、こんな處のダンスは苦手だと云つて、踊らうとしない。村上は、明子に申込したが、それほどの自信がないので斷ると、あつさりまだ向ふに居殘つてゐるダンサーの方に歩いて行つた。

「あんたはなかなか上手だつて、街公が云つてゐましたよ」

森は、あざやかに踊りまはつてゐる青柳と街子をながめながら、明子に話しかけた。

「踊れるなら踊つた方がいゝぢやないですか？、僕なら、ちよつとでも出來たらすぐにとびこんでやるんだが………」

「こんなに立派な處だと、晴れがましくつて駄目なんですの」

「ダンスなんてものは、要するに汚い處でやるもんぢやないでせう」

「そりや、そうですけれど」

「僕は踊れないけれど、この華やかな空氣が好きですね。人間がみんなこんな華やかな生活面ばつかしだつたら、すばらしいと想ふなア」

「森さんは、そんなに派手なことが、お好きなんですの？」

「いや、これは逆說かも知れない。僕に派手な部分が少く、田舍者みたいだから、華やかなものをみるのが好きなのかも知れませんよ」

ブルースが終ると、青柳と街子は、前よりもさらに生々とした表情でかへつてきてゐた。

「明さん、今度あんた踊るのよ」

「あたし駄目」

「いけない。そんなずるいこと云つちや。青柳さん、とても上手にひきまはしてくれる。あたしのやうな重い者でも、輕く踊れたわよ」

「ぢや、この次の次にね。もう少しこゝで氣を落ちつけたいの」

「あんな陽氣なことを云つて、ぢや、この次はきつとよ」

と云ふと、街子はまた次のフォクス、トロットを青柳と踊りはじめてゐた。

街子は青柳に囁いた。

「あんた、あたしと同じやうに踊りながら明さんに話しかけたつて駄目よ。あの女はそれほどひらけた性質ではないんだから」

「大丈夫、その邊のことは解つてゐる」

輝かし！奉迎準備 全く整へらる

けふぞ日滿親善の御握手交さるゝ日 帝都に感激の渦巻く

皇帝晴れの 豫報慶たく

【東京特電五日發】春雨からりと霽て明日は皇帝晴れだとの豫報芽出度く、五日の帝都は最後の御接伴や奉迎の手筈を全く終つた——宮内省その他の關係者は五日から赤坂離宮及び帝國ホテルの二ヶ所に別れて接伴事務を開始し、宮内省雅樂部では午前午後に亘つて管絃樂や舞樂の最後の練習し、日滿親善の固き御握手を交し給ふ東京驛も五日朝以來非番驛員が總動員して消毒清掃を濟し、相阿彌正流十八世家元横地氏は皇帝の御旅情をお慰めするため離宮に伺候して五尺餘の端麗な藤櫻に老松と深山椿を配した幽玄にして氣韻高き活花を奉仕し、警視廳では三監察官を大隊長、四十八署長を中隊長に擧げ、正私服四千七百名を動員して水も漏さぬ警戒網を布き、赤坂離宮は皇宮警手四十名、近衛師團から儀仗兵が出動護衛申上げ、六日早朝から正門をさつと一文字に開かれすべてが光榮に輝き、いまはたゞ明日の御入京を待つばかりである

歷史的場面 放送 アナウンサーの部署決る

【東京五日發國通】滿洲國皇帝の横濱に於ける御第一歩から、東京…れの大仕事を明日に控へて準備萬遺漏なきを期してゐるが順序左の如し

横濱の第一聲は河西アナウンサーか承り、四號岸壁上にマイクを据ゑ午前十時二十分よりスイッチを入れ皇帝比叡御退艦から特別御召列車が横濱驛出發迄の實況を約二十五分間に亘り審さに放送する筈で、東京驛ではホームに中村アナウンサーが、驛玄關には松田アナウンサーの兩老練が待機し午前十一時二十分放送開始、同卅分滿洲國歌吹奏裡に御召列車がホームに到着し兩國元首が初の御對面を遊ばさる歷史的光景を始めとし、東京市民の歡呼裡に國海にて離宮に向はせらるゝ光景を二十五分餘に亘り逐一放送する事になつてゐる

歡喜の中に緊張

滿開、妍を競ふ館庭の櫻花に 喜びの滿洲國公使館

【東京五日發國通】あすのお喜びを前にして麻布櫻田町の滿洲國公使館では全員早朝より詰めかけ、玄關前には雨の中を出入の自動車が身動きも出來ぬ程ごつた返し、慌たゞしく廊下をかける靴音、電話のベルで歡喜の中にも緊張しきつてゐる

午前中は協和會日本視察團七十六名が公使を訪問、續いて滿洲國選手一行四十五名が自動車を列ねて來館、午後からは鐵嶺縣公署主催の教育視察團か岡部開原縣副參事官に引率されて挨拶に來るなど奉迎前奏曲も朗かである

六日には公使代理として參事官が横濱に、更に丁公使以下高等官以上の館員が東京驛に陛下の御着を奉迎することになつてゐる

八日の謁見式に對する警備は館員の手で着々進められて既に館内の清掃を終り、飾付けを行ふのみとなつてゐるが庭の櫻は滿開の妍を競ひ芝生の翠綠も春雨にぬれて鮮かである

淨めの雨も

カラリ霽れわたり けふは上々の天氣

【東京五日發國通】四日夜來降りしきつた東京の雨は五日午後三時半すつかりあがつて燦々たる陽光が大内山の **綠に** 輝き濺いであすの御來訪を壽ぐかのやうだ

この雨は本州東南一帶に低氣壓が愚圖ついてゐたゝめだが計らずも滿洲の高氣壓が御召艦に順けて日本内地に進んで來るので恰もこれが露拂ひ「そこのけそこのけ」で西の方から低氣壓を追拂つて東京迄やつて來たわけ街を飾つてゐる日滿の國旗、雪洞提灯も滿くを切つて五色の色も鮮やかに春光を一杯に浴びてゐる、願向しい天候に御着京當日の晴れの御歡迎を氣遣つてゐた五百萬市民も輝きはじめた天日を仰いで有頂天、あすの準備に右往左往、足どりも輕くはずんでゐる

中央氣象臺では「晴」と意氣込んでゐたものゝ一抹の不安はあつたが、午後から差込んだ **陽光** にほつとして各方面からの問合せに大丈夫です、このお天氣は當分續きますよと太鼓判を捺して嬉しさうだ

日滿女學生の國歌交驩放送

九日、新京と東京で

【新京五日發國通】皇帝御訪日を機として九日日滿女學生間の國歌交驩放送を行ふこととなつた、滿洲側においては新京教育聯合會主催の下に新京高女及新京特別私立女子中學校生徒約一千が新京高女講堂に集合し、同日午後一時十分より約十分間に亘り日滿國歌及交驩放送する、之に對し東京の各女學校生徒數萬の合唱放送が行はれる筈

勸商場に怪盗

五日午前七時半頃市内仲町沙河口勸商場の商店員が出勤してみると同勸商場のガラスが二枚粉々に打破られ、何者か侵入した形跡があるので驚いて他の商店員にその旨告げ、各自自店の金庫、品物等檢査したところ各店とも多くは五圓、少くは一圓位合計十五圓程及びワイシャツ等數點盗まれてゐるのを發見直に沙河口署に屆出

犯人は前夜侵入したものらしく同勸商場はこれまで何年間一人の留守番も居らず今迄泥棒に狙はれなかつたのは不思議な位だと同署では云つてゐる

北鐵讓渡調印の 歷史的映畫

けふから日活、映樂兩館にて 本社提供で公開

本社では常に滿鐵弘報係映畫班と連絡、或ひは滿洲社と契約、内地映畫製作會社と提携して重大事項の實寫映畫を速報公開し、市民に事實に對する認識を深からしむべく努めて居り今回滿洲國皇帝陛下の公式御訪日に際しても逸早く御出發の御模樣を **謹撮** したる弘報係映畫を本社提供として映畫館にて公開、引續き日本における御動靜を特約映畫によつて速報することになつてゐるが、更に去る三月二十三日東京廣田外相官邸における北鐵讓渡協定調印の歷史的狀況のニュースを六日より日活館、並に映樂館にて上映公開することゝなつた

右映畫は三月二十三日午前九時より外相官邸にて行はれた歷史的光景を滿鐵弘報係の手によつて撮影されたもので、丁士源公使以下滿洲國側全權委員ユレニエフ大使、カズロフスキー極東部長以下ソ聯側全權委員が我が廣田外相を中に挾んで行ふ嚴肅なる調印實景を收め、さらにオールトーキーとして日滿ソ三國委員の演說、北鐵の歷史解說等が錄音されてゐる貴重なるニュースでこの一篇によつて北鐵問題を完全に理解し得ることを信し、こゝに本社の手によつて廣く一般に公開することになつたものである

日活 館並に映樂館は何れ…ある

兵滿載の列車衝突 卅餘名負傷す

京圖線明月溝の椿事

【圖們特電五日發】五日午前九時十分延吉發村川部隊〇〇兵を滿載せる臨時列車は京圖線明月溝北方七粁にて新京發貨物列車と激突、貨物列車は全部顚覆、臨時列車は機關車顚覆し重輕傷三十餘名を出した、右臨時列車は午後五時半一先づ延吉に引返し負傷者は延吉衛戍病院に收容、原因取調中である

救援隊 現場に急行

【新京五日發國通】明月溝列車衝突事件の急報あるや新京鐵路局では午後四時二十分新京發救援臨時列車を編成し、新京鐵路局次長外軍醫、係員便乘、治療材料を滿載して現場に急行せしめた、一方吉林に指令して同地滿鐵醫院より醫者一名、看護婦三名を現場に赴かしめた

延吉、敦化、明月溝よりも軍醫看護兵が衛生材料を携行して派遣され應急措置に萬全を期してゐる、なほ鐵路總局の大里人事處長および運輸處長は六日午前七時半新京發現地に向ひ、負傷者を見舞ふはず

大每社員 危く遭難

激浪の唯中にSOSを發す

【佐世保五日發國通】聯合艦隊の滿洲國皇帝陛下奉迎艦隊實況報道寫眞撮影のため大阪每日新聞西部總局社會部長大野靜馬、佐世保通信部主任梅田是、販賣店主谷口惣一、囑託寫眞部員野中義雄、船主吉田常一氏他乘組員七名計 **十三名** は發動機船第二北國丸に乘組み三日朝七時佐世保を發し、同夕刻五時富江に寄港同八時發男女群島に向ふとの通信を最後に消息を斷ち、五日朝に至るも何等通信無きため通信部では大いに憂慮し五日朝來鎮守府に依賴し軍艦出雲、航空隊より飛行機數機出動して行方搜査中で、又長崎無電を通じ航行船舶に依賴して搜査されてゐる

第二北海丸（百二十五噸）米島丸無電に入電あり、右に依れば西五島列島飛島南々西六浬の海上を漂流中の船舶あり、同船はスクリューを破損し空廻りのため船體の自由を失ひ乘組員無事なるも船名不明であると

【長崎五日發國通】五島飛島附近漂流中の發動船は北國丸と判明し救助船は之を曳行せんとしたが波浪高く近寄れず、ために **女島に** 到り無電を以てS・O・Sを發したもので本日午後一時長崎出帆の長崎丸は右無電に依り現場に急行中、一方佐世保航空隊より飛行艇一機現場視察に午後六時頃赴いた

懷かしの兄よ・いづこ？

はるぐ滿洲の地に探し求むる青年 遂に思ひあまつて嘆きの服毒

去る一日午前五時半ごろ市内桃源台九九八番濱河稔生氏方の裏手倉庫内で異樣な物音がし時々うめき聲が洩れて來るので、家人が不審に思ひそつと倉庫内を覗いて見ると、同縣人と稱して二、三度訪れたことのある **長崎** 縣生れ山本三造(二二)といふルンペンが顏面蒼白となり藁の上に轉々苦悶してゐるので、直に醫師の手當を加へたところカルモチン少量を嚥下してゐた爲め生命を取止めた、自殺の原因に同情すべき點があるといふので濱河氏は青年を自宅で靜養させた結果健康を取戾したので五日鄉里へ送り返したが、涙ながらに青年が語つた數奇な彼の半生はかうである

三造が未だ生れて間もない頃父の大酒飲みに愛想をつかした母は三造と兄の賢一（當時六歲）を近所の叔母に「一寸預かつて下さい」と云ひ置いたまゝ姿を消し父は間もなく大酒が原因で死亡した、三造は十五歲になるまで叔母夫婦の手に育てられ兩親なくとも幸福な生活を送つてゐた、ところがその頃 **惡病** が流行し僅か一年間に叔父夫婦を失ひ、兄弟は悲歎の涙に暮れたが、當時二十二歲の兄の賢一は青雲の志を抱いて滿洲へ、三造は村人の同情で徵兵檢査まで村で育つた、昨年徵兵檢査には〃どうか立派な兵隊になつて兄の居る滿洲へ出征したい〃これが願望であつたが、眼が惡くて遂に兵隊に取られなかつたのでひどく失望し、せめて憧れの滿洲で兄を探し兄弟の名乘りをあげるべく本年一月末勇んで鄉里を後に來連した、爾來音信不通の兄の所在を尋ねて狂奔した、しかし冬から春を迎へたが戀ひ慕ふ兄の所在が判るどころか風評すら耳にせず、それに懷中無一文で悲觀のドン底に陷つた、止むなく同縣人を訪ねて喜捨を受けてゐたが遂に世を厭み、三十一日夜カルモチンを服用自殺を企て、せめて濱河氏に死骸の始末をして貰ふ爲め同家の物置きに倒れ込んだものと判明した

青年の身上を聞いた濱河氏は非常に同情し **内地** には二、三親戚もあることであるから、滿洲の惡風に染まらぬうちに歸國した方がよからうと訓戒し、五日旅費を出して内地へ送り歸したが、濱河氏の義俠に感激し「死んでも御恩は忘れません」と涙を流して旅立つた

奉迎花電車 御化粧成る

【東京四日發國通】東京市の皇帝奉迎花電車は四日すつかり御化粧を終り、今はたゞ皇帝の御入京を待ちあげるばかりになつた、一臺に一千乃至二千五百の色電氣を用ひたのも木彫の龍や獅子頭を使つたのも最初のことで、一臺の工費二千圓、空前の出來榮である、これを綠色の粹な洋服を着た運轉手が操縱し、六日から三日間市内に日滿親善色を流して歩き、九、十の兩日は朝十時から夜十時迄水天宮、土州橋間に陳列される、雨天の際は順延

【寫眞】奉迎の裝ひ全くなつた銀座

新京附屬地の 水道料値上

五月から十三錢に

滿鐵地方部では新京附屬地の上水供給が他の附屬地のそれと特異な事情に在るので料金値上げを行ふべく昨年來研究中、今回監督官廳の認可を得て五月一日より家事用水一立方米につき十錢より十三錢に値上げを **實施** することに決定した

新京附屬地は事變以來急激な人口增加に伴ひ上水使用量は加速度に增加し、事變前一日四千立方米弱であつた附屬地水源地に二百餘萬圓の巨費を投じて現在の一日六千五百立方米給水まで擴張したが、現在附屬地人口七萬人の一日の水道使用量は一萬立方米で不足量三千五百立方米はこれを滿洲國側國都建設局から一立方米國幣十三錢の單價で買入れ給水して居り、原價計算一立方米十七錢に達してゐるが急激な値上げを差控へ一立方米三錢の引き上げに止めたものである

同附屬地は現在の增加率に依れば明年度には人口十萬、上水使用量一日一萬五千立方米に達する見込みであるが、同附屬地水源地は現在以上擴張の餘地が無いので **國都** 建設局よりの買入れ量は附屬地水源地の給水量とほゞ同量となり、それだけ滿鐵の損失が增大する譯である、なほ新京附屬地外における國都建設局の家事用水料金は一立方米國幣十五錢である

…も每夜二回に亘つて上…する筈で…あるから是非觀覽されるやうおす…めする

怪盗の角帽懺悔

漫然渡滿者の墜ちる惡の道 世に送る涙がたり

五日午前十時出帆しあとる丸の出帆間際途に逮捕された特急あじあと定期船荒しの茨城縣生れ高橋榮（二二）は水上署司法係の取調べにスラスラと **自供してゐる** その後判明したところでは

一月二日市内兒玉町自警寮十六號室松浦某の洋服より百七圓在中の懷中一個、二月十日あじあで二十圓在中ハンドバッグ一個（被害者不明）三月十日はとで渡邊クラの名刺入り百二十圓在中ハンドバッグ一個、同十三日はとで寫眞機械一臺（被害者不明）を窃取し二十圓で入質、同二十九日あじあで市内星ヶ浦西門二五鐵道工務所事務員山田盛一郎氏より現金七十圓入赤皮トランク一個、同三十一日兒玉町四地質調査所員佐倉政雄氏よりあじあ二等車内で活動寫眞機シネマパック八ミリ時價百五十圓、四月二日吉林丸で百四十四圓在中ハンドバッグ一個、寫眞機一臺（何れも被害者不明）三十圓で入質等被害現金だけでも既に千餘圓に上り、金は止宿先の浪速ホテルのボーイを引連れ逢坂町二見樓で全部費消してゐたが盗んだハンドバッグは全部棄てずホテルの自室に隱匿してゐた

二十一歲の華やかな青春時代に人生の岐路を踏み誤り **怪盗の名を** 恣にした彼が涙ながらに係官へ語る惡への道の懺悔は子を持つ親に、また滿洲の景氣に釣られた無暴な漫然渡滿者への警鐘である

彼は鄉里の小學校を首席で卒業し、福井市の八百屋に小僧に住込んだが父が八百屋を開業したので自宅に歸り四年間父を助けた、商賣は何時も缺損し勝ちだつた、景氣のよいといふ滿洲に行つて成功しやうと新京の關東軍經理部に勤める同鄉の知人を賴つて渡滿したのが昨年の八月で新京日本橋の國際藥局に働くやうになつたが、餘りにも話と違い現實に、自暴自棄となつて馘首された結果、知人の家にも戾れず九月十九日午後八時新京驛發列車に乘つた際、向ひ側にある寫眞機を人がゐないのを幸に無我無中に持出して成功したのに味を占め、來連してから兒玉町自警寮に止宿、大連驛に或は埠頭に現はれて荒し廻はつた、そして意外に多い收入に日藤町で角帽を買ひ求め去る一月十三日より大學生と稱し伊勢町の浪速ホテルに投宿、わざく旅順工大に直通電話をかけたり讀めもしない英文の書籍を購ひ工事に忍込んで三尺もある定規を盗んで室に飾つてゐた、父に宛て現金五十圓を爲替で送つた外「滿鐵に勤めてゐたが話程よくないので辭めて今は歐洲航路の船に乘つてゐる、乘組んでゐる時の方が多いからあまり大連にゐない」といふ意味を認めた手紙のコッピイーを所持してゐた

私がこんな 大それたことをしたと父母が知つたらどんなに歎くでせうと悔悟の念にひしく胸打たれるらしく彼は今四圍のベッドから暗い警察の留置場で泣いてゐる

敦化に匪襲 六名を拉致

【吉林特電五日發】某機關着電に依れば五日拂曉敦化縣城附近に多數の匪賊襲來し、小松製材所の日本人一名、滿人五名拉致されその後の消息不明

足拔きする女 大連で捕はる

足拔して內地へ高飛せんとする所を取押へられた女がある

この女は奉天金波樓抱へ君香事伊藤フジエ（二七）と云ひ三月三日午前零時半頃朝鮮以來の情人と前借八百圓を踏倒して手に手を取つて內地へ向ふべく來連し市內美濃町伏見館に潜伏中を四日午後十一時頃小崗子署田切刑事に取押へられ、同署へ保護留置された、一方情人は何れへか外出中で午後零時過ぎ歸館しこの話しを聞き慌てゝ姿を晦した同署ではフジエの身柄引渡しについて奉天署へ手配中

夫婦者廿組 珠數つなぎ

五日午後の小崗子署司法係室には常ならぬ空氣が漂ひ俄然緊張の氣漲り四十數名の鮮滿人夫婦者を引致して目下取調べ中である

これ等は全部阿片密賣者の群で小崗子署では今回管內の阿片取扱業者に警告を與へて正業に就かしめ廓清を圖り所謂遷善改過の意圖に出てたものゝ如くであるが、その甚しき者に至つては麻醉劑取締規則違反として送局される模樣である、引致した四十數名の夫婦者は夫だけ留置され他は歸宅を許す方針らしく、異樣の緊張の中に取調べを續行してゐる

瀋陽警察に 女密偵

五名を採用

【奉天電話】瀋陽警察廳では警察網の完備を期するために今回女密偵五名を採用する事に決定し目下警務廳と交渉中で近く募集に着手する筈である

滿洲國警察において女密偵を採用するのは瀋陽警察廳を以て嚆矢とするものでその成果を期待されて居る

親鸞聖人 (173)

女人篇　吉川英治作　山村耕花畫

時雨の罪（八）

「使僧範宴とは、何者の子か」

關白道基が、鷹司右大臣を見て云つた。

「さあ?」

と鷹司卿は又、冷泉大納言のはうを向いて、

「おわきまへか」

と訊ねた。

「されば、あの僧は、亡き皇后大進有範の子にて日野三位の猶子にてとか」

「ほ。藤原有範の子か」

道基は、默つた。

公卿たちの頭には、姓氏や家門といふものが、人を見るよりも先に支配する。

無名の者の家の子なら、大いに憐んでやらうと思つたかも知れないのである。

「さうか、有範の子か」

囁きがその邊りをながれた。時刻を指示してあるので、公卿たちは、衣冠をつらねて、範宴の參内を、待かまへてゐた所であつた。

やがて次々から、關白まで、執り次がとゞく。

道基は、またその由を御簾のうちへ奏聞した。

一瞬、公卿たちは、固唾をのむ

末座遠く、範宴のすがたが見えたいつせいに、人々の眼が、それへ射た。

人々は、はつと思つて、

（不作法者つ）

と顔色を騒がせた。

なぜなら、ふつう、初めて參内する者は、遠い末席にある時から眼はをのゝき、頸は俯向き、到底列座の公卿たちを正視することなどできないものであるのに、範宴少僧都は、怯ぢるいろもなく、砧の打目のぴんと張つた淨衣を鶴翼のやうにきちんと身に着け、眸を御簾から左右に居ながれる臣下の諸卿へそつと向けて、二歩、三歩席のところまで進んできた。

公卿たちが、はつと感じたのは餘りに、彼のすがたが巨きく見えた爲だつた。およそ、どんな武將や聖でも、この大宮所で見る時は、あの頼朝ですらも小さく見えたものである、それが、まだ一介の若僧にすぎない範宴が、いつぱいに眼へ映つたことは、

（不遜な）

といふ憤りを公卿たちに思はすほどであつた。

然し、靜かに、座をいたゞいて主上の高御座のはうへ、謹んで拜をする彼のすがたを見ると、公卿たちは憤りも消えて、自ら自分の頭も下げずには居られなかつた。

作法は、形ではない、心だ。範宴の一擧一動には、その眞が光つてゐた。

日本のわが天皇――

佛子も天皇の子である、佛祖釋尊もこの皇御國へ渡り玉ふからには、天皇の御心をもて天皇の赤子の叡をいたはり導く佛祖であつて釋尊もまた天皇の子であらねばならぬ。

この國土に、あらゆる思想や文化を輸入たまふた聖徳太子のこゝろを深く自己の心の根に培つてゐた範宴は、さういふ常々の信念が今、至尊の御座ちかくすゝむと共に全身を光榮と感激にひたせて、眩い額をいつまでも上げ得なかつたのである。

御簾のうちはひそやかであつたが、主上、中御門天皇も、その赤心な拜に對して、ひそかに、うなづかせ給ふた御氣色であつた。

ろうけつ　浪曲界の宿將　虎丸來連　全滿各地を巡演

浪曲界の老將鼈甲齋虎丸は一門の新人多數、及び變り種の富士野五郎等を率ゐて五日大連入港の定期船で來連したが、七日より大連劇場にて公演、ひきつゞいて沿線各地を巡演する筈である、尚虎丸の來連は五年振りである

蒲田俳優陣　新人十名を送る

男優陣の確立に努めつゝある松竹蒲田では他社の既成スターは絶對に使用せず同撮影所中の新人より素質人格滿點の者のみを拔擢する方針の下に既に德大寺伸、近衞敏明、日下部章、上原謙、南部耕作の五名を第一線に送つたが更に矢繼早に次の五名を拔擢することゝなつた

◆花村千惠松、往年の蒲田の名子役、今後は學生もの涙もの映畫に主演する◆山縣隆「ぬれた素肌」に出演紳士役、會社員役專門の二枚目◆園田豊、慶大出身「女の友情」に出演◆若本一郎、數千の應募者中から選ばれた一等當選の美男子「春爛漫」に出演◆本郷秀雄、日大藝術科在學中の十九歳の美少年「二人靜」でデビユウした

尚同撮影所では更に第三次發表により數名の新人を拔擢登用すると

日活時代劇部　花井蘭子再契約

日活京都時代劇のピカ一スター花井蘭子はこの程日活との間に再契約が成立、父君の清水林之助氏と池永日活所長との間に公正證書が作成されたが、傳ふるところによると前金として三千圓、月給五十圓增俸の四百圓といふことになつて文字通り大スターの貫禄を備へてきたが當人はまだ肩上げのとれぬ當年十八歳の番茶も出ばなといひたいところ映畫界ならでは見られぬ圖だと評判が高い

廣告

◇◇青春音頭◇◇

日活現代劇部特作ウエスタン・システム・オール・トーキー、熊谷監督作品、原作は婦人公論連載、岡讓二、井染四郎、澤村貞子等の外東海林太郎が特別出演してゐる、近く全滿各地にて上映（寫眞は右より井染、岡、澤村）

メトロ社超特作『夜間飛行』に集る讃辭

ジヨン、バリモア　ライオネル、バリモア　クラーク、ゲーブル　ロバート、モンゴメリー　マーナ、ロイ　ヘレン、ヘイス　六大スター大共演

（四日より日活館上映中）

大連飛行場長　立松航空官

メトロ社の傑作「夜間飛行」の映畫を見たが、近頃會心の寫眞だ、此の畫は吾々專門の者が見ても實に眞情ひし／＼と身に迫り實に興味しん／＼たるものがあるが、一般の人が見られたなら各種の意味において深い印象を與へ航空の進歩の實相を知つて貰ふ事が出來るものと思ふ、畫中暗夜の暴風中に勇敢而も沈着な操縦振を以て咫尺を辨ぜざる雲霧と戰ひ、斷崖絶壁の間一髪といふ所を巧に切り拔けハラ／＼手に汗を握らせられる又荒狂ふ暗黒の大洋上に燃料盡きんとして愈々絶對絶命と觀念するや最後の馬力を掛けて重疊する密雲を拔けて雲上に出で皎々たる月光を浴びて二人の飛行家が互に幸運を祈りつゝやがて暗の雲中に落下傘降下をする場面は飛行家の天命を悟り恬淡として而も友情溢るゝ心理状態を遺憾なく表してゐる又一面航空會社の監督者が操縦者やその家族に對する情愛や社長の威壓にも屈せず、飽くまで強い信念と鞏固なる決心とを以て新事業の完成に猛進する處亦壯とせざるを得ない、又この慘事を惹起した原因が氣象通信の錯誤に起因せる筋書は吾人の最も注意する處である、其他機上無線電話により各地の通信所と絶えず連絡しつゝ飛行を繼續する處、或は飛行機内の操縦の諸裝置、夜間飛行の設備等明瞭に見ることを得て一般航空知識向上に大なる參考となるものと思ふ、特に最後に友機が飛行に成功して今や死に瀕してゐる重病人に對し貴重なる血清を送り届けて一命を救ふ事が出來、貴い犧牲は文明を生み文明は人を助けると結くゝりたる處は本映畫の骨幹であつて嚴々として停止する處なき航空の進歩は常に斯くして築き上げられつゝあるとの眞理を説いて餘りある、

今や東京―新京、東京―大連間一日飛行が四月一日より決行され本格的夜間飛行が實施せられ我航空界の一段の飛躍をなさんとするこの際本映畫を見る事は非常に益する所ありと思ふ。

最後に、本映畫を見て單に夜間飛行の危險さや飛行家の心情に同情するのみにては益はない。一體夜間飛行は氣流靜穩で晝間に比し却て航空には安易なものである、而も今は航空燈臺や「ラヂオビーコン」等の設備も逐次出來てどんな暗夜でも安全に目的地に到着し得る域に達してゐるから決して危惧の念を抱く必要はないのである事を附記して置く。

「夜間飛行」の試寫を見て

航空會社大連支所　MA操縦士

原作者自らが何も彼も悉く知り絶えず危險に遭遇した體驗に基いて夜間飛行の最も困難なりし一過程を表し夜の空中征服實録として興味を與へている。

僕等は今日まで何れの會社で作られた空中映畫を見たがそれ等の作品にあつては作者が經驗式飛行等の場面にて才能に彈力性はあれど此の映畫はたゞの一場面もなく敍事詩風の素朴なる手段にて我々の行動の意志と超人的な獻身的精神とを織り交ぜた一連の悲劇にして此の精神を恰も空のパイロット一人の劇的冒險を描いて極度に壓縮しもつて悲劇を効力的に悲壯美を盛上げている

彼が行方不明になつた操縦士の妻が輸送會社の事務所へ不安に追はれて支配人リヴイエルに面會を求める場面や又夜明に浮び漂ふ二つのパラシユートの場面等は此の映畫を一度見た人の心には永久に深い印象を殘されるだらうと思はれる

又一臺の郵便機が颶風なる深夜に進路を失ひガソリンは盡きて只死を待つ許りと雷鳴とゞろく中に消れ勝ちな無電の電波だけが操縦士との連絡のみにて地上勤務の社員は全線に渡つて夜明けまで事務室に受信室に[illegible]陸揚にそれ／＼の職場にあつて絶望の觸手を此の飛行機に差しのべるのである場面等は此の緊張した苦惱の空氣を刻一刻に僕等に感じさせられる

夜間飛行の主人公は人間の幸福は自由の中に存するものでないと義務の甘受の中に存するものだと此の映畫は敎へ又非人情的になる事なしに自分を超人間的な美德にまで高め人間の緊張した意志の力によつてのみ到達し得る自己超越の境地こそ吾人が今日最も知らんと欲する所であると示し、又義務の觀念が人間と云ふものは自らのうちにその極致を見出すものでなく人間を支配し人間によつてのみ生きる或るものに從屬しその犧牲となるべきものであると云ふ信念のもとに恰も何ものかに人間の生命以上の價値が存するかの如く行動す

此の映畫は最初と最後に夜間飛行の功利的な價値を現す爲に附け足されたらしい血清輸送の、エピソオードを加へてある内容の興味滿點なことはメトロ社によりオールスタアキアストの超特作品にして一個の名飛行士を敢然として死の飛行に就かしめ幾百萬人の人間に福祉をもたらして人命の爲に心を鬼として成功と云ふのである　以上

（[illegible]第三種郵便物認可）

滿洲日報

朝夕刊共十四頁

大連市東公園町三十一番地　發行所　株式會社　滿洲日報社

青史に輝く日滿兩國の親善

王道國の御若き元首 けふ櫻の國に御一歩 九千萬國民が歡喜奉迎

【東京特電六日發】東洋史上に輝く一新紀元——盟邦滿洲國皇帝陛下には帝國軍艦比叡に御坐乘、六日午前九時横濱港に御入港、わが九千萬國民歡喜して奉迎申し上げる日本本土に輝かしき最初の御一歩を印せられ、午前十一時三十分（滿洲時間午前十時三十分）帝都に御入京、午後一時三十分（滿洲時間零時三十分）宮中に御參入、天皇、皇后兩陛下と御對面、こゝに兩國皇室の固き御握手を交させ給うた、日滿協力によつて王道樂土の確立なるや、さきには深甚の謝意を表すべく鄭首相を御差遣あらせられた皇帝陛下が、けふこゝに尊貴の御身を以て御親ら帝國を御訪問あらせらる、日本の感激！、日本の慶喜！これに過ぐるものはない、一國皇帝の正式御訪日は正にこれを以て嚆矢とし、而もわが皇室におかせられては昨年御名代として御渡滿、皇帝陛下と御交驩あらせられた秩父宮殿下には横濱まで御出迎あらせられ、また畏くも天皇陛下には東京驛に行幸、親く御出迎へ遊ばされた、この盛儀こそ日滿兩國親善至高の象徴といふべきであらう

御出迎の秩父宮殿下 艦上御座所で御會見 感激、歡喜一色の港・横濱

【横濱特電六日發】滿洲國皇帝陛下御訪日最初の第一歩を印せられる六日の横濱港は、朝來薄曇りに北西二、三米の微風で絶好の奉迎日和で、限りなき感激と歡喜に滿ち、唯一筋に陛下の

御安着 を御待申し上げた、この日神奈川縣警察部では横濱稅關と協力海陸に亘る嚴重なる警戒線を布いてゐたが、午前八時を期して港內外の船舶航行は一切禁止され、喜びの裡にも靜肅の氣は漂ふ、午前八時三十分横須賀、館山、霞ヶ浦各海軍航空隊の精鋭數十機、三機、五機の編隊も見事に松永館山航空司令官の指揮の下に朝陽に銀翼を輝かせ空より御歡迎の爆音を投げれば春陽に港內の金波銀波躍つて奉迎の歡歌を奏すかゝるうちを天皇陛下の御沙汰により御出迎への秩父宮殿下には陸軍大尉の御正裝にて林樞助男以下各接伴員を從へさせられて第四號岸壁御休憩所に御着、又柳川第一師團長、末次横鎭長官、飯田横濱稅關長、谷東京灣要塞司令官、石田神奈川縣知事、大西横濱市長以下文武奉迎者を始め海軍儀仗兵一大隊、陸軍儀仗兵一個中隊、有資格者、鄕軍、青年團、各學校等の奉迎者は夫々所定の位置につき胸躍らせて御入港を御待ち申し上げた午前八時四十五分主檣高く滿洲國海軍旗を翻した光榮の

御召艦 比叡は、叢雲、白雲の各供奉艦を從へ堂々碧波を蹴つて港口に雄姿を現すや外港にあつて滿艦飾を施した儀禮艦那智、那珂並びに港內の儀禮艦嚴島は一齊に諸員登舷禮を行ひ、同時に二十一發の皇禮砲が發せられた、殷々として港內外を壓する禮砲は日滿親善の聲を水天の間に轟かせて響きわたる、在港中の內外船舶も一齊に滿船飾を施せば御召艦は悠々港內第十號浮標に繫留された、これより先扈從員入江滿洲國宮內府次官は大連まで御出迎申上げた坊城接伴員と共に小浮棧橋より上陸、上屋二階にて皇帝陛下が沈宮相謹話の形を以て發表せしめらるゝ最初のメッセージを發表された、かくて同九時四十分秩父宮殿下には林男以下接伴員、末次横鎭長官を從へさせられて皇族旗燦たる御召艇にて御召艦比叡に成らせられ、御座所長官公室にて皇帝陛下に御會見、御久方振りの固き御握手を交させられ、先づ秩父宮殿下より天皇陛下の御沙汰により

御出迎 へ遊ばされた旨の御挨拶あらせられゝば、陛下にはいとも御懐しげに迎へさせ給ひ懇なる御禮の御言葉あり、續いて殿下には接伴員及び末次長官を御披露遊ばされ、陛下には隨從官以上の扈從員を御紹介あらせられた

と洩れ承はる、同十時二十分陛下並びに秩父宮殿下には諸艦の皇禮砲登舷禮裡に井上艦長の御先導にて御退艦、明石横濱稅關港務部長の嚮導艇御嚮導の下に午前十時三十八分大浮棧橋に御上陸遊ばされたが、陛下には滿洲國陸軍大元帥の御正裝も莊嚴に長途の御船旅にもかゝはらず、些かも御疲勞の御模樣なく、御機嫌麗しく拜され、御上陸と同時に飯田稅關長御先導の下に新裝清々しき臨港驛プラットホームに進ませられたが、御途中奉迎の諸員に一々擧手の禮を給ひ、又秩父宮殿下と御同列にて陸海軍儀仗兵を

御閲兵 あらせられた、かくして陛下には晴れの奉仕を御待ち申し上げてゐた金色の御紋章燦たる御召列車に乘御、同十時四十七分横濱驛御出發御歡迎の熱情に沸る帝都に向はせられた、この時又もや皇禮砲轟いて横濱の天地を喜びの聲に搖り動かせば、全市民日滿兩國旗を打ち振り萬歲を高唱して陛下を奉送申し上げた

兩盟邦を久遠に結ぶ 聖上、皇帝御握手 東京驛頭曠古の御盛儀

【東京特電六日發】滿洲國皇帝陛下御入京當日の東京全市はたゞ歡喜のるつぼと化し、春霞のヴエールをかけた爛漫たる櫻花の蔭に日滿親善の縮圖が限りなく繰り擴げられてゐたが、この日

畏くも 天皇陛下には陸軍式御正裝に大勳位菊花章頸飾を御佩用、午前十一時十分略式自動車鹵簿にて宮城御出門、同二十分東京驛御車寄に着御、御先着の各皇族殿下を始め奉り、岡田首相以下重臣顯官の奉迎裡に便殿に入らせられ、十一時二十二分緋の絨毯敷かれたる第三ホームに出御、つゞいて岡田首相以下各國務大臣、一木樞相、牧野內府、湯淺宮相、西東京警備司令官、田代憲兵司令官、小栗警視總監、横山東京府知事、牛塚東京市長、丁滿洲國公使その他文武顯官約百二十名大禮服輝かしく整列したが、滿洲國皇帝陛下に深き御ゆかりを持つ者として特に第三ホーム參列を許可された前外相芳澤議官、前滿洲國顧問宇佐美勝夫兩氏がつゝましく控へてゐるのは人々の注目を惹き、この外近衛儀仗兵二個中隊、陸軍々樂隊が一糸亂れず整列してゐたが、第四ホームには公爵以下の宮中席次を有する文武百官、在留滿洲國各機關代表約一千名、同じく大禮服、位階服、燕尾服を裝うて堵列、何れも

五色旗 の模樣鮮かな滿洲國建國功勞章を胸間に輝かして盟邦の元首を迎へまつるにふさはしい景觀を描き出してゐた、かくて午前十一時三十分（滿洲時間午前十時三十分）ゆるやかに奏で出された滿洲國々歌の莊嚴なる旋律に乘り、皇帝陛下の御召列車は先頭に日滿兩國旗を翻しつゝ滑るが如く進入、所定の位置にピッタリ停車した、最後部に連結された菊花御紋章燦たる展望車より御出迎への秩父宮殿下御下車遊ばされ、續いて滿洲國皇帝陛下には陸軍御正裝にてホームに降り立たせられ、玆に兩國元首の御双眸は力強く結び合ひ給ふ、この瞬間こそ兩國々交史上に永遠に銘記さるべき御情景であつた、秩父宮殿下には天皇陛下の御前に進ませられて皇帝陛下を御紹介あらせられ、かくて兩陛下には畏くも仰ぎ見るだに感激あふるゝ固き固き御握手を交させ給ふた、原田御用掛御通譯にて

御挨拶 の御言葉を御交換あらせられた後、天皇陛下より皇族方を皇帝陛下に御紹介あり、皇帝陛下には皇族方と御挨拶を交させ給ふた、その御姿凛々しく東洋平和の重責を御分擔遊ばさるゝ御力強さをしみじみと拜し奉つたかくて松平式部長官の御先導にて天皇陛下を御右に御肩を並べさせられ重臣顯官に御會釋を賜り、御同列にて近衛儀仗兵の御閲兵あらせられたる後、中央道路を御車寄に出でさせられ、皇帝陛下には驍馬四頭曳の無蓋儀裝馬車に御乘車、秩父宮殿下御同乘、林首席接伴員御陪乘、近衛騎兵の槍旗を先頭に、畏くも天皇陛下御見送りあらせらるゝ裡に午前十一時三十五分

御旅館 赤坂離宮に向はせられ、天皇陛下には十一時四十五分龍顏殊に麗しく宮城に還幸遊ばされ、東京驛頭の歷史的盛儀は了らせられた

この歴史的御盛儀 日滿兩國民の欣慶に勝へず 沈宮相のメッセージ

（寫眞）

【横濱六日發國通】滿洲國皇帝御來訪に際し、沈宮內府大臣は六日午前九時十五分横濱稅關屋上において謹話の形式にて左の如きメッセーヂを發表した

此次我皇帝陛下の日本國帝室を訪問せらるゝは空前未曾有の盛擧にして東洋歷史上に一新紀元を拓かれるものにして洵に日滿兩國民の欣慶に勝へざる所なり、我滿洲建國の肇に方り日本國は大仗によつて之を扶持し力を竭して援助し軍事には無數健兒の生命を犧牲とし、外交上には儼乎として國際聯盟の脫退を惜しまず以てわが爲めに立國の眞意義を表明せられたり

★

我皇帝陛下は曩に誠意民の爲に執政の任に就きてより政協ひ人和き復び天意に遵ひ多方の贊助により帝制を實施せしめ三千萬民衆遂に歸依する所なり、俱に王道政治の樂を享けたり、登極大典の禮既に成るや日本天皇陛下特に皇弟秩父宮殿下を差遣し給ひ厚く駕を效し誠意周旋訴合間るなし、既往の事實既に然り、この誠懇の酬答なき能はざる所以なり、兩國の特殊緊密の關係は分離すべからず、蓋し天然の形勢と我東邦固有の道德に基き相結合せるに外ならず

★

此次皇帝陛下と日本天皇陛下と親しく相睦み給はゞ、兩國々交の親善當に日に增し濃厚を加へて鞏固となり必ず東洋平和の上に莫大の公益あらんこれ將來に企圖する所にして此の盛大なる擧なき能はざる所以なり、寄誼深遠にして誠を積むこと既に久し、今や春景和明の候に値ひ乃ち毅然として駕を命じ期を定めて東行せらる、海陸萬里毫も跋涉の艱勞を憚らず茲に四月二日の朝六時五十分新京發輦となり午後五時二十分大連驛に臨まる、各團體及民衆の歡呼して奉送する者甚だ多し

★

是より先日本天皇陛下の御特派し給へる御召艦比叡既に日を升けて發航を待つあり、同三十分艦に上れば禮砲隆々として春雷の轟くが如く同六時に出港、艦中一切の設置招待は備に隆盛を極む、航海の間は皇情豫悅異常にして起居も亦康適を極めたり四日往きて九州の西南海を過ぐるに、高橋海軍中將の統率する聯合艦隊七十餘隻と會ひ各戰隊每に皇禮砲を放つて奉迎せり、六日東京灣に至れば横須賀鎭守府管下の各航空隊あり、歡迎分列式を行ふ壯觀極まりなし

★

今日朝九時御艦横濱に御安着、官臣民衆の熱誠なる歡迎に深く感動するところあり、秩父宮殿下旋ありて天皇陛下の命を銜み港に來り迎迓せらる、尤も瑞麟等の感激光榮に勝へざるところなり、聖駕發御の前に方り新聞紙上報するところにより貴國の種々鄭重なる歡迎の準備を知り、我國朝野上下既に萬分に感激せざるものなかりしが、今や航海と入境の際既に備に盛況を睹、未曾有の盛事たるを信ぜり、皇帝陛下のこの幸は貴國に對し親しく悃惻を致し平素の積懷を攄へられむとす、既往の酬答はこれに依つて稍感謝の意を申ふべし、而して將來の企圖又必ず無限にして圓滿の希望あらむ、輦轂の交驩は殆ど上天の作合して之を玉成するところなり、瑞麟は忝くも扈從を領しこの盛典を襄く感幸の極摯はんと欲するところ啻さす（寫眞は沈宮相）

溥傑潤麒兩氏

【東京六日發國通】滿洲國皇帝陛下は八日午前十一時滿洲國公使館へ御臨場遊ばされ、御弟溥傑氏、皇后陛下御弟潤麒氏及び丁公使以下館員二十四名に謁を賜る

御盛儀拜觀の滿洲國團體

（寫眞）

滿洲國皇帝御來朝の歷史的の盛儀を拜觀すべく新京の大同學院から派遣された青年官吏百餘名は日本各地視察見學の上、二日午後東京驛着入京した（寫眞は入京の一行）

肅然たる鹵簿 御旅館赤坂離宮へ

【東京特電六日發】九千萬同胞御歡迎裡に無事御入京遊ばされた滿洲國皇帝陛下には、東京驛頭における聖上陛下との初の御會見を終へさせられ、午前十一時四十分（滿洲時間午前十時四十分）東京驛中央御車寄せより秩父宮殿下

御同乘に て御料四頭馬車に御乘車、林接伴員御陪乘、沈宮相張侍從武官長以下扈從員の坐乘する儀裝馬車を從へさせられ、公式鹵簿にて御旅館赤坂離宮に向はせられたが、御沿道一糸亂れず肅然として迎へ奉る近衛儀仗兵を始め、日滿兩國旗を各々手にせる男女青年團、各學校生徒その他諸團體、一般奉拜者に對して御會釋を賜はりつゝ進ませ給ふ陛下の氣高き御相貌は今ぞ特に御輝かに、奉拜者何れも言葉もなく、建國以來の御心勞を思へば胸打つ感激に涙さへ催す程であつた、鹵簿は全市民の喜びの裡に市內各所より打ち揚ぐる奉迎煙花春空を搖し爛漫たる櫻花にこだまする中を肅々として進み、驛前廣場を繞る

滿洲國風 の大奉迎門を經て、松の緑も濃やかなる宮城を右に、拓務省前より右折、更に櫻田門を左折、虎の門より赤坂見付に出で櫻花點在する新緑の中を正午壯麗を極めた御旅館赤坂離宮に入らせられた

近代古代の美しき對照 帝都の奉迎風景

【東京六日發國通】メカニズムの殿堂近代的建築美の粹を誇るビジネスセンター丸の內街も今日ばかりは日滿兩國旗交叉する所、古風な雪洞あり、風雅の提灯あり、近代古代の鋭角的な對照を示してゐるも嬉しい、大和國日本の奉迎である、御通過の鹵簿古代の繪卷物を髣髴させる儀裝馬車四頭の蹄音[illegible]比する大廈高樓にこだまして科學日本の變遷を見せてゐるのも面白い、衆議院構には在留滿人の一團が故國の服に威儀を更めて胸迫る感激の裡に奉迎する、此の滿人の一團中白衣の看護婦に添はれて奉拜する滿人小學生がある、「故國の皇帝だ、是非」と病床を無理に離つては來たものゝ發熱し附近の救護所で休んでゐたが止むにやまれぬ決心は惡寒を強ひて肌寒き街頭に陛下をお迎へしてゐるいぢらしさ——

けふの御日程

【東京六日發國通】滿洲國皇帝陛下御滯京第二日（七日）の御日程

一、明治神宮御參拜午前九時三十分
一、聖德記念繪畫館御成午前十時
一、大宮御所に皇太后陛下御訪問午前十一時
一、皇帝陛下御主催皇族御招宴午後六時

無慮十萬の奉迎陣

【東京六日發國通】鹵簿御通過の御道筋に堵列する無慮十萬の奉迎陣に緊張のざはめき電波のやうに通ずる、胸躍らす一刻一刻は十一時四十分に近づいて奉迎の感激は最高潮に達する、東京驛前中央郵便局の大時計が正十一時四十分を指す時中央御車寄に拜する友邦滿洲の御若き元首、打仰げば天子の氣高き御容は麗な春光と共に一入御輝かしく悠揚たる御物腰に御微笑さへ湛へさせられてゐる、この御英姿を拜する驛前堵列の奉迎の在野の古武士も胸迫つて感激の極み涙をさへ催し愛語を發するものさへない

大空軍陣展開 高等技術を御覽

【東京六日發國通】奉迎準備全く整つたわが空軍精鋭の館山海軍航空隊では六日朝御召艦比叡が遙か東京灣の彼方にその堂々たる姿を現した頃、松永司令自ら操縱の九一式飛行艇を先頭に午前七時三十分三十八機一齊に銀翼を張つて離陸し館山灣上空にて一大編隊陣を作つて空中行進を開始し、かくて館山空軍を中心とする海軍の威力は霞ヶ浦航空隊横須賀航空隊と木更津の上空で合體し大空に一大空軍陣を編成、御召艦上空において低く高く飛翔し鮮かな煙幕展張その他の高等飛行の妙技を御覽に供したところ皇帝陛下におかせられては深く御滿足の趣に拜せられたと承る

宮中鳳凰間において 輝かしき御交驩 我兩陛下に勳章御贈進

【東京特電六日發】御旅館赤坂離宮に入らせられた滿洲國皇帝陛下には陛下西南端の東御座所にて御小憩の後再び陸軍式御正裝に大勳位蘭花章頸飾にわが大勳位菊花大綬章を御佩用、秩父宮殿下と御料馬車に

御乘車 林接伴員御陪乘、沈宮相以下扈從員、大谷宮內次官以下接伴員を從へさせられて公式鹵簿にて午後一時四十四分（滿洲時間午後零時四十四分）離宮御出門、市民奉拜中を二時二分宮城に御參入あらせられた、畏くも天皇陛下には陸軍樣式御正裝に大勳位菊花章頸飾御佩用御車寄階段上まで御出迎へ遊ばされ御揃ひにて鳳凰間に進ませられ、同間入口にて皇后陛下には天皇陛下の御紹介にて皇帝陛下と初の御對面遊ばされ、秩父宮殿下、松平式部長官侍立、鈴木侍從長、本庄侍從武官長、廣幡皇后宮大夫、竹屋女官長等供奉、皇后陛下にも特に御除喪の上御參列盟邦兩國元首にはあらためて御意義深き御會見を遊ばされ、原田、岩村兩御用掛御通譯申上げて三陛下には御歡談遊ばされたる由拜承する、この間皇帝陛下には天皇陛下に滿洲國最高勳章たる大勳位蘭花章頸飾を、皇后陛下に大勳位蘭花大綬章を御贈進、滿洲國建國に對する盟邦の援助を御深謝あらせられ、天皇陛下には

御歡迎 の御挨拶あつて御情景いとも御こまやかにあらせられたと漏れ承はる、次いで別殿に控へた沈宮相以下四十九名の滿洲國隨員は天皇、皇后兩陛下に謁見を賜はり、皇帝陛下には午後二時三十五分（滿洲時間午後一時三十五分）再び秩父宮殿下と御同乘公式鹵簿にて宮城御出門赤坂離宮に御歸還あらせられたが、皇帝陛下には我が皇室の御歡待に御感銘ことの外御深げに拜された

聖上陛下御答訪 大勳位菊花章頸飾御贈進

【東京特電六日發】滿洲國皇帝陛下の公式御訪問を受けさせられた天皇陛下には、御答訪のため御通常禮裝に御召替、わが大勳位副章皇帝陛下より御贈進の大勳位蘭花章頸飾を御佩用、鈴木侍從長御陪乘、湯淺宮相、本庄侍從武官長以下供奉、略式自動車鹵簿にて午後三時半宮城御出門、同三十八分赤坂離宮に行幸あらせられた、このとき皇帝陛下には御通常禮裝を召されて御車寄まで御出迎へあらせられ、御揃ひにて階上狩の間に入御、天皇陛下には御答訪の御挨拶の後わが國最高勳章大勳位菊花章頸飾を御贈進、更に種々御物語の上午後三時五十分離宮御出門、同五十八分宮城に還幸あらせられた

横濱港頭の壯觀 豪華なる一大繪卷

【横濱六日發國通】今日ぞ東洋平和史上に永遠に燦として輝く佳き日、記者は許されて横濱港內の儀禮艦嚴島艦上において御召艦奉迎の光榮に浴した、この日天日もこれを壽ぎてか瑞雲棚曳き絶好の

奉迎日和 黑潮の香り高き港頭の海波は奉迎の喜びにひたる、港外には御召艦の御入港を待つ儀禮艦那智、那珂、港內の浮標にはわが嚴島が威容嚴かに控へ、その無電室には近づく御召艦の位置が報ぜられる、かくて午前八時三分艦は全員起立、君ヶ代吹奏裡に軍艦旗掲揚式を行ふと共に全艦滿艦飾に彩られる、八時五分遙か横須賀軍港の沖合水天の間、渺乎として一條の黑煙見ゆ、これぞ我等が誠心を以つて御待ち申す御召艦比叡の艦影、嚴島艦上のブリッヂの哨兵より御召艦見ゆの報告と共に全員緊張、上甲板に整列、諸員部署につき

登舷禮に 襟を正して待つ裡を主檣高く五色に燦と映ゆる滿洲國海軍旗を翻して御召艦比叡は供奉艦海雲、叢雲を隨へ紺碧をふくみて威風堂々黑潮の碧波を蹴つて、間もなく港外にその英姿を現す、この時儀禮艦三隻は一齊に皇禮砲の火蓋を切り殷々として水天を震はす、折しも空には松永館山航空司令の指揮する館山、霞ヶ浦、横須賀各飛行隊の精鋭九十八機編隊も鮮かに銀翼を旭日に輝かせ、奉迎の爆音と共に天地も揺く日滿親善の一大シンフォニーとなり、在港各艦の滿艦飾も微風に翩翻としてはためき、海に陸に空に港頭は忽ちにして日滿親善の

豪華な 繪卷を繰り展げる、かくて比叡艦上にて奏せられる軍艦マーチも勇ましく御召艦は嚴島の左舷百米の近距離を通過すれば嚴島艦長の發聲で全員萬歲三唱、奉拜せば、比叡艦上の陛下は御正裝も麗しく双眼鏡を御手に艦橋に立たせられ登舷禮に御答禮遊ばされつゝ御機嫌もいと麗しく御微笑さへ泛べさせ給ひ、奉迎の人々は只感激に緊張する、斯くて比叡は悠々港を壓し嚴島を距る四百米の海面に投錨、第十號浮標に

繫留され た、時に九時二十分、直に御召艦上甲板は陛下御上陸御準備のため兵員の作業も忙しく艦載汽艇が降ろされ御上陸準備全く成つた

在留滿人の奉迎 八日駐日公使館にて

【東京特電六日發】滿洲帝國公使館では八日皇帝陛下を麻布の同公使館に親しく奉迎申上げることになつてをり、公使館員一同は今から榮ある當日を歡喜してお待ち申上げてゐる、この日公使館で奉迎申上げる人々は丁士源公使以下館員一同、滿日留學生約四百名、上京中の童子團及び運動選手七十名、近く上京する大同學院生徒百六名、滿洲國協和會主催の日本旅行視察團八十名等で、いづれも新帝國に國籍を有する光榮の人ばかりである

大同學院生徒百六名の一行は中原八郞氏が引率者となり、未來の大官を約束されてゐる優秀なる滿洲國青年を網羅し一行を第十班に分けた一團であるが、三日上京し、八、九兩日皇帝陛下の奉迎及び觀兵式の盛儀を拜觀した後、東京市の各大學、中學小學校、陸軍戸山學校その他市內一般を見學、關西各地の視察を經て十八日の神戸市湊川神社參拜を最後に歸滿の途につく

一方滿洲國協和會主催の皇帝御訪日記念日本視察團の一行八十名は同國中央事務局社會課長小川增雄氏が指揮となり紳農、中小學校長、銀行家、農商業者、省公署各局課長等であるが、四月五日午前九時三十分東京驛着、公使館、明治神宮、日本青年館、靖國神社等を參拜並に訪問し、六日宮城前に皇帝陛下を奉迎申上げ八、九兩日公使館にて皇帝陛下の奉迎並に觀兵式を拜觀後、東京市內の商工各關係所、觀劇、Y・M・C・A等を視察し横濱、吳、熊本の博覽會及び各地の觀光を行つて櫻日本の春を滿喫して十八日神戸港より歸滿の途につくものである

聖上の御出迎に 我國民恐懼感激 ——鄭國務總理謹話

【新京電話】鄭國務總理は六日皇帝陛下御安着の報に左の如く謹話した

皇帝陛下には海上御恙なく今朝横濱港に御安着遊ばされ御親交深き秩父宮殿下の御出迎へを受けさせられ、次いで日本帝國の帝都東京に入らせ給ひました、畏くも日本天皇陛下には東京驛に行幸仰せ出され親しく皇帝陛下を御出迎あらせられ、三千萬滿洲帝國國民の恐懼感激に堪へない所であります。

この上は皇帝陛下には滯りなく日本皇室御訪問の御盛儀を終へさせ給ひ引續き、日本朝野の熱誠なる御歡待の中に友邦の國情を御視察遊ばされ、目出度御旅程を終へさせ給はんことを衷心より御祈りして已みませぬ。

入江次官謹話

【横濱六日發國通】入江宮內府次官は皇帝陛下御上陸に先だち午前九時二十分御召艦よりランチで棧橋に先着、四號岸壁上屋において記者團に對し

皇帝陛下には只今御安着あらせられました、御航海中風波に遭つたが頗る御元氣にあらせられこれより日本天皇陛下に御對面遊ばされる多大のお喜びを抱かせられて御上陸遊ばされます

と謹話した

光榮の生花奉仕

【東京五日發國通】滿洲國皇帝陛下の御旅情を御慰め申上げるため生花奉仕の榮を賜つた相阿彌正流十八世家元横地宗臨氏は五日午後二時門下生の荒井嘉月、此間嘉斗の兩氏を隨へて赤坂離宮に伺候し心魂を傾けて御座所に生花を奉仕した、宣德大廣口の花瓶に幾多の星霜に苔むす五尺餘の優雅端麗なる幹、櫻に古雅なる老松と色美しき深山椿を配した幽玄にして頗る氣韻高きものである

名鐵の警備陣 完全に整ふ

【名古屋五日發國通】滿洲國皇帝陛下は來る十五日東京驛御發車陸路東海道線で關西御巡遊の途に就かせられるが、沿道警備關係者種々打合せ中のところ愈々左の如く決定した、即ち鐵路職員七千名、警官軍隊、消防關係等二萬五千名を總動員して管內沼津、米原間には二百米每に一名、ガード、トンネル等には二名乃至三名、特に名古屋驛は七百五十名で警備し、又御召列車と擦合ふ列車には一輛每に車掌、移動警官各一名、各踏切には指導列車通過五分前に線路を遮斷し鐵道局員四名のほかに警官、消防隊員を以て警備をなし其他私鐵線路との交叉箇所の運轉を中止させると共に沿線電力會社には十三日から一切の工事を中止させる等徹底的警備陣を布く事となつた

奉迎

滿洲國皇帝陛下謹賦　吉川鐵華

盛典迎來京欲顛　山河草木悉加鮮
龍舟無恙入東海　蘭旆帶祥靄碧天
富嶽春回留瑞雪　琶湖日麗漾清漣
二重橋畔景雲滿　應有長宮開御筵

蛇角

◇青史を飾る固き御握手、日滿兩國親善の御態度、仰ぐも畏し。

◇感激の波は、潮は、新京より東京へ、どつと盛りあがつた。

◇櫻花よ、杏花よ、笑へ共に。

◇對支共同借款、これからユックリと御調査なさうな。

◇紳士國は氣が永い、といふは當らず、臘起となつた照れ隱しだ。

◇審議會、調査局の官僚化防止を考慮するといふ、それよりも官僚內閣自體の脫離が先決問題。

奉天の青年學校
今年度の入學生は七百名
十日入學式を擧行

【奉天】非常時日本を背負うて起つ若き強者を育むべき青年訓練所は四月一日の勅令により全國一齊に青年學校と改稱する事となり、奉天青年訓練所でも之に倣ひ五日木の香も新しい青年學校の大看板を掲げたがこの新制度によれば非常時青年女子の教育のため女子部を設ける事となるもの、之の奉天青訓は滿鐵學務課の監督下にあり家政女學校對女子部の問題で滿鐵側では反對の意向であるが

勅令の趣旨に依つて軍部の支持を得るものと見られ之に對して許可權は關東局にあり志望者は既に五十名を超え續々申込あり現勢上十日開校は認可されるものと見られてゐる

青年學校の改稱も未だ滿鐵社報に發表されてゐないが、學校側では四月十日午前七時より奉天神社境內にて入學式を擧行する事となつた、今年度入學生は七百名で、その內女子は五十名に及んでをり現學生數は定員一千名に達し校舍の狹隘と諸種の關係で現在は男女共學制を採つてゐるが學科としては補修學校青訓時代と同樣で

科目　年限　入學資格
普通科　二年間（尋常科卒業生）（現就學數一三名）
本科　五年（高等科卒及中等學校中途退學）（二〇〇）
研究科　一年（中學卒及本科の卒業生）
專修科（二十歲以上の青年男女）

▲學科　普通學科、職業科、公民修身科、教練等を課し女子部は家事、裁縫等が加へられる筈である（寫眞は五日掲げられた青年學校の大看板）

非難の鴨江鐵橋に
快速・豆タク出現
煩雜な通行を整備し朗かに
櫻咲く頃には實現

【安東】改架、增架の懸案とさへなつた名物國際鐵橋鴨綠江鐵橋は日滿不可分の絕叫と共に

……税關を……除いては相互に異國感著しく漸く橋上交通從つて極めて增加し現在の狹隘な片道鐵橋は甚だしい不便を來して居る、而も自動車は官廳用或は特に許されたもの以外は一切通行を許さずそれで居て一日橋上に乘り入れるや幅員不足のために通行人はヤモリの如く欄側に停止して

……自動車……をやり過ごさねばならず、先走る洋車は自動車に追はれて三キロの橋程を息切つて走らねばならぬといふひどく横暴な風景を映し出して居る、然も最近自動車に限らず橋上交通は著しい繁雜を來して居り、花の季節と共にそのクライマックスがどんな形になるかゞ心配され、之等豫想さるゝ種々な不便を防ぐべく安義兩警察間で案を練つて居たが漸く成案を得た模樣で、それによると近代

……交通界……の寵兒豆タクの通行を自由に許してはといふ事になつた、而も其の數は安義自動車業者一店につき二臺限り從つて六店都合十二臺が安義を結ぶ身輕な足として登場することになるのだが、安東新義州片道一圓程度として安義營業者は互に歸り車は客を漁らない事として許可を見やうとして居り櫻咲く頃までに實現するのではないかとされてゐる

全滿的に大募兵
滿洲國軍政部が擴張のため
主要都市を中心に

【奉天】今回滿洲國軍政部では國軍擴張の爲め全滿的に大募兵を行ふ事となり、奉天警備軍にありては四平街以南南滿一帶の沿線主要都市を中心に約三百名募集することに決定し、既に募集開始したが滿洲國混成旅、奉天警備軍、騎兵第八團機關銃隊旅長齋崎中尉の語るところによれば

目下鐵嶺、法庫、康平の三縣に亘り三十名の嚴選募集中であるが一般國民の國軍使命に對する認識乏しき爲め應募率は非常に惡く軍としては困却してゐる現狀にあると

今年の雨量は
平年の半分にも足りない
奉天觀測所の談

【奉天】本年は例年にない天氣續きの暖かさで草木は既に發芽し殊に五日は十六度といふ記錄的の暖かさに奉天の杏の蕾も既にふくらみこの調子で行けば數日中に開花しどうしても例年より旬日は早からうと云はれてゐるが、本年一月以降觀測所の記錄によると

一月は三度、二月は五度、三月は三度例年より暖かく又降雨量は數回少量の降雪と三月廿四日七ミリの降雨があつただけで、十五ミリ二を示し例年の半分にも足りないといふ有樣で今後播種期に入りこの變態的天氣に旱天が杞憂されてゐるが、同所では語る

本年のやうに氣溫が高くしかも雨量の少いことはまだその例を見ない、殊に雨量の如き平年の半分にも足りないので相當空氣も乾燥してゐる、現在の處では天氣轉換の見込みなくどれだけ續くか判らぬ、これで行けば播種期に入り發芽に相當影響することであらう

北鐵舊從業員
就職配置良好

【新京】北鐵讓渡後本國に向け歸國するソ聯邦從業員に對しては既報の如くイルクーツク市にソ聯交通人民委員會を設けその手によつて歸國後の便宜並びに就職先等の振當てを行つてゐるが、これ等歸國從業員の歸國後の就職配置は出來るだけ迅速に行ふ事となり手際よき捌きぶりを見せてゐるが、大體ユーゴーウオーストーチナヤ鐵道、モスクワ・カザスカヤ鐵道、モスクワ・ドンバス鐵道、ザラマ・ヅラトウスカーヤ鐵道、中央アジヤ鐵道、リヤザン・ウラリスカーヤ鐵道の諸鐵道に振り當て既に夫々職に就いてゐる

奉・撫・八・景
永久的名所として
鐵路總局が紹介する

【奉天】鐵路總局では奉天、撫順間五十六キロの路線勝地に奉撫八景を選定し、バスによつて之を紹介しやうと計畫を樹てゝゐるが、近く素人のカメラマンを集めバス七、八臺に分乘して奉撫線に出かけ思ひ〱に沿線の勝地をカメラに收め、この寫眞と實際見た所を合せて審査し八景を定め奉撫八景として永久的名所となすべく力を注ぐことゝなつてゐるので、山紫水明に惠まれない奉天人にとつては大なる福音で各方面から期待されてゐる

日清・日露の
戰蹟九連城を
さくらの公園に
遞信汽車公司が三千本を植樹
遊覽バスを運轉

【安東】櫻のシーズンが近づいて國境の櫻熱は著しく昂揚し、安義の戰蹟保存會では義州統軍亭の對岸に位する

日清日露役の戰蹟九連城に櫻を多數植ゑ付けて同地を公園化して意義深かく戰蹟を保有して行かうといふ議が起りつゝある既に遞信汽車公司では櫻苗三千餘本を無料で九連城に運搬、植樹を行つてゐるやうな狀態で、斯くて同地も櫻の名所となれば義州及び鎭江山の櫻と共に國境に一大櫻花圈を現出する事となり、從來の如く朝鮮側は義州を、滿洲側は鎭江山をと孤立的遊覽場となつて居たものが、特に

櫻の季節には安東、九連城、義州を結んだ櫻と戰蹟を巡る一大遊覽コースの編成さるゝ事は明らかで、既に遞信汽車公司では遊覽バス運轉の用意ありバスガールの乘務を行つてその準備訓練を行ひつゝある狀態である、安義の發展と共に自然美に惠まれた國境では早くも素晴らしい遊覽圈の出現が期待されて居る

櫻苗數千本
營口より註文

【安東】滿洲櫻の本尊安東は滿洲櫻熱と共に營口より苗木數千本の註文を受けて驛公署では目下その需要に應ずるべく種々調査を進めてゐる

安東省公署
愈よ廳舍增築

【安東】狹隘で苦しみ續けて居た安東省公署廳舍の增築は十八萬圓の豫算を以て七月一日着工さるゝ事に決定を見た、それによると現在の約二倍の堂々たる廳舍が結氷期までに出來上る筈である

遼陽淸交會
第二回懇親會
六日城內で開催

【遼陽】遼陽は三十年來日滿兩國官民の親睦融和なことは餘りにも有名である上に、去る昭和七年山崎領事、淸水警察署長、關屋地方事務所長、楊縣長その他の發起で淸交會なるものが組織されその第一回は滿鐵社員俱樂部で催され、其の後立ち消えの如くであつたが今回有志間に再開の議があり六日午後五時半から城內西海興にて其の第二回懇親會を催すことになつた

談天談心
心外、附屬地黨
奉天大東醫院長　森川千丈氏

◆…奉天在住二十五年、近き十年間はここ大東門外に居をトして、生命に別條もなく門前雀羅も張らずに、かうして生活して來たこと、人は冒險家のやうにいふけれども私はさほどにも思はない。

◆…事變の時ばかりではない、十年前からだから、郭松齡事件でも張作霖爆死事件でも、やはりこの家で見たり聽いたり感じたりしたものだ、郭事件の折など軍用無電が私の家に裝置されたので、家主としての特典には兩軍の軍狀掌を指すが如きものがあつた、その頃大東門外の日本人の家といへば私の家など目立つ方であつたから期せずして新聞記者の巾所となり庭前に二十何社かの諸君が詰めかけ堅いペンの砦を築いたものだ、そこへ私が差當り傳令役を勤めるわけなんだが、一度かういふことがあつたことを憶ひ出す

◆…郭がいよ〱捕つたといふ情報が例の無電ではいつた、むろん軍用であるからそのまゝ傳へることは出來ないけれども、とにかく「事件は完了だ」と取敢ずペン砦に向つて捷報したものだ、ところがペン砦の方ではウソだらうといふのだ、そんな筈はないといふのだ、といふのはまだ大砲の音がドン〱聞こえて居るからだ、規律のない軍隊のことだから郭の捕つたことなど知らうやうなき下層の部隊はだらしなく砲擊を續けたに過ぎなかつたのであるが、ペン砦の諸君にはそこまでは氣がつかぬから、到頭私の捷報をウソにしてしまつたといふわけだ。

◆…事變後は兵工廠やら滿洲工廠やらこのへんも大へん變つて來たが、日本人住宅が少い、大會社の首腦が相率ゐて附屬地に住宅を定めるのでその部下の中堅社員までが附屬地へかたまる傾向があるのは心外だ、危いことも怖いこともない、私が生身を以てする實證ではないかといつても却々聽き入れない。どういふ性根なのかね、私にはどうも不可解千萬なことだ（奉天）

吉林、新京間
驛傳競爭
十九日に擧行

【奉天】僚紙盛京時報社、新京日日新聞社主催の吉林、新京間の驛傳競爭は來る五月十九日擧行されるが出場者は日滿人いづれでも差支へなく、一組十人とし滿人は各省市對抗、日人は各都市對抗であるが、奉天體協、滿洲國體聯奉天事務局で希望者斡旋中であるが申込者は既に殺到してゐるので盛況を豫想されてゐる

娘々祭に
運賃を五割引

【奉天】滿洲名物の異彩娘々祭は湯崗子娘々廟が全滿のトップを切つて來る十八日より二十二日迄五日間に亘つて擧行する事となつたが、祭禮中は高脚踊、支那芝居、奇術映畫を上演し杏花滿開の湯崗子の巷は例年の樣に老若男女の蝟集歡喜に滿ち溢れる恒例の盛大な祭禮に今年の廟修理の完成でより一層拍車をかけるもので、奉天鐵道事務所ではこのため大石橋遼陽間旅客運賃の五割引サービスをなし奉天驛よりは五名以上を團體とし往復五割引とし個人の際は三割のサービスで特に往復券所持者には割引の幸運券及び滿林館、龍泉別墅の割引入浴券をサービスする筈である

國婦延吉支部
六日盛大に發會式

【延吉特電六日發】豫て計畫中だつた延吉在住日本國防婦人會は六日午後一時延吉小學校において地元在鄉軍人分會主催の下に愈々芽出度く發會式を擧行したが當日の婦人參會者約百名來賓有志多數列席の上延吉〇〇守備隊長鷹森中佐の「非常時に處する日本婦人の覺悟」と題する頗る有益なる講演あり極めて盛會裡に終つた

萬泉園改修

【奉天】奉天市民の唯一の散策地小河沿萬泉園公園は最近荒廢し改修を要する所多く、これからの散策夕涼みに恰好の地たらしめんと奉天市政公署では中央銀行分行より特資四十萬元を受けて改修工事に着手、本夏までには完成の豫定である

北滿各地の軍隊慰問に
國婦支部長ら十六名が來滿

愛國婦人會本部救援部長中村鐵藏大佐に引率され五日來滿した同會各地支部長等十六名の一行は旅順大連視察後、錦州、山海關、新京ハルビンその他北滿各地の軍隊を約三週間の豫定で慰問する筈である（寫眞は愛婦慰問團一行）

奉天各校始業式

【奉天】奉天浪速、朝日兩高女校の始業式は五日午前九時から擧行されたが入學式は九日午前九時から行はれる筈、又奉中の始業式は六日、入學式は八日午前九時から擧行される

會と催し

◇鳳凰城自治會定期總會　八日午後二時より警察署會議室で開催
◇遼陽地方事務所酒井農務主任送別野球試合　四日午後四時より白塔公園グランドで開催
◇天津大東公司合資會社設立披露宴　七日午後六時半より大和公園公會堂で開催
◇鞍山聯合會青年部總會　十日午後四時より社員俱樂部にて後任部長選擧其他を行ふ筈

スポーツ

◇ラグビー…▼奉天滿鐵對滿洲醫大戰（午後四時より）奉天國際運動場で

各地人事

◇陳明賢氏（營口縣警務局衞生股長）奉天衞生講習所へ入所
◇日向警正氏（營口縣警務局警務指導官）熱河省へ轉出五日赴任
◇山岡壯二氏（奉天鐵道事務所營業係）安東驛事務助役に轉任、八日赴任
◇南治之助氏（昭和製鋼所營業部長）赴連中の處五日夜歸任

瓜子児

滿洲國新皇居建築委員のうちに其顧問として伊東忠太博士が加はつてゐる。

◇

めちやくちやにポン〱擊つことを禁ずべく新京實業部の林務司で鳥獸保護法を考究中。

◇

滿洲全國の自動車は何臺あるか
乘車用　二、九七八輛
トラック　一、三〇二輛
合計　四、二九七輛
その三分の二が官廳使用。

◇

數日前瀋陽警察廳の衞生科で行つた奉天市內支那料理店の婦人女給さん六十名の健康診斷の結果はトラホーム氣管枝炎扁桃腺肥大等の患者が三十人あつた。

◇

支那のチャンバラ映畫として有名な火燒紅蓮寺に出演して一時名を揚げた張慧沖は其後轉向して奇術で賣出し香港で興業中前國務總理某氏のお妾さんを三人迄ひッかけて大問題を起しとう〱國[illegible]

小說　儒林外史（五）
原作　吳敬梓
譯　瀨沼三郎
插畫　河野久

開校の日、申祥甫は村の衆と一緒に、背丈もまる〱な幾人の兒童を連れて來て、先生との初目見得をさせた。それが濟むと付添うて來た親達は直ぐに歸つた。周先生は教壇の椅子に納まり、授業を始めた。

夕方生徒達を歸してから、贈られた謝禮の包を一々開けて見た。荀家から銀一錢と銀八分の茶代を包んでゐた外は三分、四分、中には十何文しか包んでないのもあつた。それは全部で一ヶ月の飯代にも足らなかつた。周進はそれを掌の中にまるめ「孰れ勘定しませうから……」と無雜作にそつくり和尚に渡して了つた。

生徒達は發育盛りの仔牛のやうに、一寸でも眼を放せば表に出て瓦の打合ひや球蹴りに毎日遊んでばかりゐた。周進はぢつと性來の感情を噛み殺して、教場に坐つてゐた。

二月餘は直ぐに經つた。天候は日一日と暖かさを加へた。或る日周進は晝飯を濟ますと裏口をぬけ川端に立つて景色を眺めた。村落は川のほとりにさへ幾本かの花をつけた桃の木、芽を吹きそめた柳が、殊に紅や綠の色彩を點綴して眺めは美しかつた。飽かず眺めてゐると、霧雨が細かに降りそゝいで來た。周進は門に靠れ、雨の日の河の景色を猶も眺めてゐた。遠樹は雨の煙に罩り景色はまことに妙なるものであつた。雨は降るにつれ大降りとなつた。

上流から一隻の舟が雨を冒して下つて來た。舟は餘り大きくはなく、アンペラの小屋掛けがしてあるだけで雨をおそるゝもの如くであつた。舟が岸に近づくと小屋掛けの中に一人の男が坐つてゐるのが見えた。舳の方には二人の從者が蹲り、食物を用意し擔ぎの岡持が置いてあつた。

岸の邊に差かゝると、小屋中の男は船頭に船を泊めろと口早に呼びかけ、お供を連れて岸に上つて來た。周進の前に現れたその人物は、文人頭巾を被り空色の緞子の袷を着、厚底の先きの丸味をもつた長靴を穿き鬚髯を生した三十五六の男であつた。

彼は裏口に入らうとして輕い會釋を周進に投げ「これは學校なんだな……」と呟いた。周進は彼の後に跟いて入り、丁寧な挨拶をしたが、彼の男は横柄に構へ

「あなたが此處の先生か」

と問ひかけた。

「さうですよ」

と周進は素直に返事した。

「和尚、なぜ出て來ぬのか」

とお供の呶鳴り聲を聽きつけて和尚は飛んで來た。

「これは、これは、王家の大旦那樣でしたか。どうぞお掛け下さい。茶を入れて來ませうか……」

と和尚は挨拶もそこ〱に周進の方に振り向いて

「大旦那樣は去年の擧人の試驗にお通りなされました。先生、どうぞお持成してゐて下さい。俺は茶を運んで來ますから」

と出て往つた。

王擧人は謙讓を知らぬ男のやうに横柄な態度を持續けてゐた。供の者は腰掛を持つて來て上座に据ゑた。周進は下座に持成役のやうな狀態で腰掛けさせられた。

「先生の御姓は」

と訊かれて、周進は相手が擧人であることが分つたので

「晩生は……」

とへり下り

「周と申す者です」と答へた。

「去年は誰家で教師をなさつてゐました」

「驟聽の顧家に」

「では、足下は拙者の師の白老先生の頃、一番で試驗を通られたのぢやありませんか、この二、三年顧家に居たのですか。それは良かつた」

「顧さんとは元來御昵懇な間柄なのですか」

「顧の先生、彼は拙者の下で書記役をしてゐますが、私達二人は義兄弟の契りを取交してゐますよ」

スポーツ
電業チーム獨立と"全新京"の反對
開幕を控へナゼ騒ぐ（上）

滿洲電業公司が名乘をあげて以來新京の野球界は既存の全新京、滿洲國の兩チームに電業を加へて三チームの鼎立となり華々しい三つ巴戰が行はれるものと想像されてゐたが、はしなくも傳統の歴史を誇る全新京チームから電業の獨立に反對意見を發表し、また滿洲國野球部でも三日開かれた部會で新興の電々を加へた三者のリーグ戰は時期尚早であるとの方針を決定したので、折角名乘りをあげながらも目下のところでは試合をするグラウンドもない有樣で、華やかに幕を開かうとした新京の野球界に一抹の暗影を投げかけることになつた。

◇

然らば何が故に全新京は電業の獨立に反對したか、先づそれについて全新京監督源川榮二氏の發表した聲明書の一部を左に拜借することにする。

全新京野球部は全新京各機關を本體としたもので、現在のやうになつたものでありますから、勿論電業も含まれてゐる譯で、全新京の中の電業が獨立を企圖する事は野球界の革命でなくて何でせう。しかも光輝ある全新京野球部を無視して獨立を宣言するに至つては、非禮も甚だしきものと言はなければなりません。——中略——電業獨立の意義の中に、多少でも滿鐵に對抗するといつた樣な事が含まれてゐるならば曲解も甚だしいものであります。——中略——電業は滿洲國、全新京と獨立的立場に立つと簡單に考へてゐるやうですが、滿洲國野球部が交通部中央銀行、總務廳といつた具合に獨立し、全新京が滿鐵、電業電々、實業團と言つた風に分裂せぬ以上到底不可能なる事であります。——中略——亦外來チームの場合を考察して見ますと新京で三チームと試合せねばならぬことは到底望み得ない事であります。——中略——本年度より全滿野球聯盟の設立を見、大會や試合を制限し各選手とも充分に勤務が出來るやうに健全なる發達を希ふ折柄、全新京野球部を無視するか如き策動は絶對に排擊する次第であります。聞くところによれば大連より電業本社に來た選手中俺達は大連滿倶でベースボールをやつて來た、今更ら新京のやうなチームに入る位ならスポンヂをした方がましだと言つてゐる人がゐるさうですが……

◇

源川監督が記者に語つた内容も大體以上の如くで、要するに電業が全新京の一組織としてチームを作るのには喜んでこれを援助しやうと言ふにある。これについてまた滿洲國チームの實權を握る監督古海忠之氏は左の如く語つてゐる。

自分は電業の獨立には反對しない。然し新京には常に二大チームの對立が必要で、さうすることが新京の野球界を一番發達させると思ふ、さうした意味で電業が全新京に入ることが望ましいが、電業の獨立を拒む理由はないやうに思ふ。だから電業から試合の申込みを受ければやつてもよいと思つてゐるが幸ひ全新京との關係が圓滿に運んでゐる今日、全新京を怒らせてまで自分としては電業を援助するやうな意志はない。

即ち、古海氏は積極的には反對意向でないとしても、二大チームの對立を强調する意味において電業の對立的獨立には反對意見を持つてゐるものと見るべきであらう。

◇

かくて電業の今後については未だ全く見透しがつかず、全新京對電業の調停に積極的に乘出す者もなく兩者の意見全く對立のまゝでシーズンを迎へんとしてゐるのであるが、今これについていさゝか批判的にこの問題を檢討して見やうと思ふ。全新京の反對意見の中に多少感情問題があることは否めない事實で、これについてはこの際何も語りたくはないが、理論的にまた實際問題としこれが反對理由としてあげ得るものを考へると、

一、電業は從來全新京の一部（事實滿電支社當時はそうであつた）をなしてゐたのに拘はらずこれが圓滿な了解を得ずして獨立を企てることは全新京の面目を無視した非禮である。

二、新京の野球は二大チームの對立によつて發達するものである。

三、外來チームとの試合に……

昭和九年度 全滿氷上二十傑（八）
◇女子總得點

順位	氏名	所屬	得點	會名	期日	場所
1	瀧三七子	奉天	一一三・五三三	全日本	一・二三	日光
2	鐵瀨鴨子	同	一一六・五〇〇	同	同	同
3	木谷妙子	同	一一九・五六六	同	同	同
4	岩田美代子	撫順	一二三・一六六	全滿	一・一三	奉天
5	汾陽泰子	奉天	一二三・五三三	奉選	一二・三〇	同
6	江島八重子	同	一二三・七六六	全滿	一・一三	同
7	平野寫美子	同	一二六・一六六	同	同	同
8	今村トシ子	同	一二八・一六六	同	同	同
9	渡邊キヨ子	同	一三二・〇三三	同	同	同
10	村山菊子	同	一三八・七三三	同	同	同
11	村山節子	同	一四一・八六六	同	同	同
12	古谷睦子	大連	一四三・一三三	同	同	同
13	鮎川初代	奉天	一四六・九〇〇	奉選	一二・三〇	同
14	宇津木秀子	同	一四七・七六六	同	同	同
15	橋本幸子	同	一四七・九六六	同	同	同
16	應吉華子	同	一四九・〇六六	同	同	同
17	高松綠	同	一四九・四六六	同	同	同
18	檜川敦江	同	一四九・九〇〇	同	同	同
19	渡邊ヨシ子	同	一五〇・三六六	同	同	同

本年度平均 一三五・三四五

本社特選 新進指切棋戰【其八】

先手 四段 梶一郎
四段 中村龍治

日本棋院 大手合戰譜【卅四局】

四段 島村利博
二段 伊藤きよ子

制限時間各七時間（但し一分以内は切捨）

戰跡を顧みて

ラヂオ 七日

新京百キロ

大連

奉天

新京

京城

家庭顧問
避雷用スキッチの配線はどうするか

滿日敗退聯珠

滿日案內

滿洲の『摘草辭典』
……とりどりの色も豐かに…… 〃らんまん〃の春は描く

あの山この野に、いよいよ爛漫の春のおとづれ――可憐な野草が首をもたげて、とりどりの色も豐にピクニックの人たちを招きがほです。「何やら床しい」すみれの花も滿洲には變り種が非常に多く内地の植物學者や園藝家から注目の的になつてゐる事をご存じですか。けふは日曜です、野に、山にお出の時は植物採集とまでいかなくとも、せめて昔からの摘草程度を一歩踏み越え珍しい野花に細かな觀察を怠らぬやうにしませう。

科學小辭典
海底はどんな物か

海底は一體どんな具合になつてゐるものでせう……？いろいろの機械で調べたところによると太平洋の海底などはノツペリとした赤粘土で覆はれてゐるさうです。

野に！山に！！ 床しい〃花の精〃

大連第一中學校・教諭 小林勝氏

ピクニックには幾らか長いめの鋸をお忘れなく。珍種が見付かつたらこれで根を掘り輕く霧を吹いて新聞紙にでも包んで歸ればお家へ歸つてから鉢植にして來年も同じ花を樂しむことができます。

（一）廣葉おきなぐさ 高山性植物ですから、まだ寒いくらゐの中から咲きます。丈は二、三寸。花は紫色を本體としますが淡紅、純白などの變種もあります。花瓣はききやう位の大きさで六瓣、葉は羊状。老虎灘、南山など山腹の日向に生じます。鉢植にしようと思へば根をかなり深く取り、花は捨てゝ持歸ること。

（二）ばらもんじん 菊科植物でたんぽぽに似てゐるところから、よく混同されます。葉はチユーリツプの葉を小さくしたやう、銀白色の毛を密生してゐ、やゝ廣葉のものをばらこもんじん、細葉のをこほのばらもんじんと呼び一株に黄色い花を二、三輪づゝ咲かせます。根の長いことで有名ですが、持歸る時は一寸ぐらゐで切つてよろしく鉢植ゑにすると次々に花咲きますし、第一内地にはないものですから珍重してやつて下さい。

（三）すみれ 普通の野路すみれはいたるところに咲いてゐるが大連附近には變種が多いからご注意願ひます。すみれ色の名があるくらゐ、紫色ばかりかと思ふと間違ひで、赤いのもあり（滿洲すみれ）、白に紫の條のあるものもあり（大連すみれ）、いゝ純白のもの、花瓣の中に白毛のあるもの、その他葉の形もいろいろですし、根の色さへ白、紅と變つたものがある程で實に多種多様です。をさな草と違ひ、花を捨てず持歸つて鉢植にして下さい。

（四）あまな 百合科。老虎灘、臨海浴場附近、

（五）こかきつばた 凌水寺道中の樂家屯附近の林中に多い。花は六瓣で薄紫ですが稀に黄色のものもあります。丈は三四寸大連緑山、南山一帯にざらに咲いてゐますが、日本では珍花とされてゐるものです。葉と花莖とまるで背中合せになつてゐるやうな恰好です。これに似たものにひめねじあやめがあり、紫と黄と二いろありますが、實は同一種となつてゐます。葉が細くねじれてゐてこんな可愛いあやめは世界中でわが關東州内だけしかない。大連附近なら老虎灘に多いやうです。

（六）リウキウコザクラ 蘭草の一種で、その葉が小さく細毛あるものと思へばいゝでせう。純白と淡紅の二種あり、小さな梅の花のやうなのが幾輪も集まつて徑四、五寸の傘形に叢生してゐます。

（七）千本槍 葉も花も菊を極く小さくしたやうなもので、花の色は紫、丈は五六分から一寸ぐらゐなものです。土地一面にまるで花ばかり咲いてゐるやうに群生します。（寫眞中央ねじあやめ、左右はひめねじあやめ）

あす 釋迦降誕祭

佛生會、龍華會、浴佛會等ともいひます。大聖釋迦の誕生祭です。お寺では本堂の眞中に花御堂を設け、その中に「天上天下唯我獨尊」を示したお釋迦さんの像を安置すれば、善男善女は來りて甘茶を注ぐ――この行事は釋迦誕生の折り天に九つの龍現れて、淸水冷水の甘き淨水を吐き注げば、釋迦は三十二相を完備し、大光明を放ちて三千世界をてらし、天龍は虚空に滿ちて妙なる樂を奏し、妙音は花瓔珞の天衣を降らせり……といふのに起因するのです。

傳書鳩の家庭における飼育と訓練【七】

遼東傳書鳩聯盟幹事 照井隆吉

四、孵化より巣立迄

（一）孵化の豫定日と前後の注意

普通産卵してより十八日目頃（天氣や其の他の加減で二十日乃至二十五日位を要したのも實際あります）に第一卵、續いて一日乃至二日後に第二卵が孵ります、孵化に近づけば卵は底黑くなり愈々近くなれば表面の一個所が穴が穿いたやうになります。それからは約半日位で孵ります。孵れば卵殻を皿の外、或は巣房の外に啄へ出してありますから、それによつて識るのです。この時、早く見たさに矢鱈に覗き込んだり、手をやつたりしてはいけません。孵化の前にもその注意は嚴重に守らねばなりません。折角孵りかゝつた卵を潰したり、孵つたばかりの雛を死なしたりして了ひます。

（二）哺育と發育振り

雛が孵れば兩親鳩が一生懸命に哺育します。その眞剣さは決して人後に落ちません。無論、兩親共同で同樣な事を交番に行ひます。産れたばかりの雛に對しては自分の素嚢の内壁より分泌する薄い鳩乳を口傳へに飲ませ愈々生長するに從つて濃い乳を與へ更に少しづつ固形物を交へ巣立前位には殆ど普通の飼料に消化液を混じた程度のものを與へます。その樣子は誠に可愛らしく實に奇妙でもあり感心でもあります。兩親が熱心なだけに雛の發育は實に目覺しいもので二十五日も過ぎると親鳩と餘り變らぬ形となります。

（三）一週間後の監視

産まれて一週間も經てば雛は二倍位となり、始めの生毛も餘程長くなり、そして本當の羽の頭が黑く太い形で出て來ます、脚も丈夫になりますので、ノソノソ匍ひ歩き過つて巣皿から落ちて匍ひ上れずに死んで了ふことがありますから時々見てやらねばなりません。

（四）脚環裝着と方法

脚環を裝着する意味については前に充分申上ました。これは孵化後七日目乃至十日目位の間に嵌め込むのです。發育が速やいから少し遅れても嵌まらなくなりますからさうなつては一生値を下げますからよく注意してやらねばなりません。當聯盟では新製脚環を既に準備してあります。これを嵌める方法は前の趾三本を一緒にして前方に揃へ後趾一本は反對に後方へ反らして脚環を通し、後でその脚趾を引張り出します。それから二、三日は良く注意しないと識らぬ間に拔け落ちてゐることがありますその時は直ぐ嵌めなければなりません。脚環の一種で種々の色別けしたものを後から嵌めますが、是は單に見覺えのためのものです。

（五）巣立頃の樣子

孵化してから一日々々と大きくなり二十五日も經てば巣立します、この頃は體形も殆ど親のやうになり飼料も親を眞似てボツボツ一人で啄き出します。しかし、まだ親に食べさして貰はうとねだつてゐるのもあります。只この頃になると面白半分に自分の巣房から出て遂に歸れなくなり、他鳩の巣房に這入つたりして外の鳩に散々いぢめられ血を流してゐることもありますから注意せねばなりません。

（六）育雛中の注意

前にも多少掲げましたが、更に澤山雛が孵つてゐる時には、どの雛は、どの巣房であるかをよく記憶もし、記錄もしておかねばなりません。これを間違ふととんだ失敗を致します。又寄生蟲の豫防として掃除をよく行ふことゝ、巣房内には石灰粉末や、いまづ粉を撒布するがよい、餌には充分の飼料とボレー、鹽土を常に與へ飲水中には鐵分を入れておきます。若し發育が特に惡い時はなるべく早く診斷して處置をとらねばなりません（つゞく）＝寫眞は給餌器です＝

サロン 人氣くらべ さすが大統領

世界で最も人氣のあるのは誰々か？
一、アメリカ大統領フランクリン・デラノ・ルーズヴエルト
二、ルーズヴエルト大統領夫人
三、イギリス皇太子ウエールズ公殿下
四、女流飛行家アメリア・イヤハート女史
五、ヨーク公、エリザベス女王殿下
六、南極探檢家バード少將
七、ローマ法王ピウス十一世
八、スエーデンのスケート選手權保持者サンヤ・ヘニー
九、タツプ・ダンス名手黑人ビル・ロビンソン
十、アン・リンドバーク夫人
（ニユーヨーク・チヤーム・エキスパートツ通信社調査）＝寫眞はルーズヴエルト＝

少年子女の生活指導座談會
滿日婦人團主催て

滿日婦人團では八日（月曜）午後一時半から滿日三階講堂において大連警察少年係三牧氏、大連民政署少年保護係高畠氏及び關東廳少年保護囑託伊藤氏を聘して少年子女の正しき生活指導の座談會を開くことになりました。少年保護に關し豐富な經驗を有し、鋭敏な觀察力で彼等の動靜を眺め、彼等の裏面を知悉する三氏から不良な輩の跋扈するシーズンを控へて、如何に彼等の生活を正しく指導すべきかを婦人團員と共に忌憚なく語り合ふことは、大へん意義深いことゝ思ひます。どうか團員諸姉は多數御出席下さい、又この座談會をより意義あらしめるために、團員外の出席も歡迎いたします、會費無料。

家庭顧問

身上、育兒、法律 衛生相談、宛先〃家庭顧問係〃

【問】滿洲發明協會所在地及び手續法（特許權）御教示下さい（本溪湖Y生）

【答】大連市愛宕町六十六番地です、特許權に關することは同協會に照合下さい、出願手續等に就ても斡旋してくれます（係り）

飛行家の新救命服

海上を飛行する人々のための新救命服が出來ました、ゴム製のチョツキで平常は平つたい普通のチョツキと同じやうになつてゐるが、いざといふ時に下についてゐる鋼製のタンクのコツクをあけると瞬間に充氣するといふのださうです

學藝 安徽の大文豪
＝儒林外史と著者吳敬梓＝

胡適 【三】

程晉芳作る所の〃吳敬梓傳〃には、彼が平生時文を作る人を恨み時文をよく作りうる者を最も極端に痛惜したと謂るされて居る〃儒林外史〃が八股文人を痛罵して居るのは、各所に容易に散見しうるところであつて、敢て私が一々指摘するまでもないが、只一般にあまり注意されてない二ケ所を舉げよう。

第三回、范進を寫す文章は、周學臺が三回看直して始めて了解を得たもので「天地間の至文は眞に乃ち一字一珠なり」とある第四回、范進母の死に遭ひ、湯知縣を尋ねて打ちしほれたので湯知縣は彼を御飯に招待し銀鑲の杯著を用ひたが、范擧人は喪に居るので杯著を擧げようとしなかつた、湯知縣は斯くて陶器の杯と象牙の著とに換へたが、彼は尙著をとらうとはしなかつたのを描寫して「湯知縣は彼が喪に服する斯くの如く禮を盡くすは、或は設備が充分でないからだらうかと疑つたが、後彼が燕窩碗の中から大きい蝦をつまみ上げて口の中に送りこんだのを見て、始めて安心した」と。斯かる絕妙の文學技術、絕高の道德見解は、吉姚鼐、方苞一派の人々の夢想だもしうるところであらうか。

最も妙なるは、湯知縣、范進、張靜齋三人の談話の描寫である。張靜齋は云ふ。「洪武年門の劉老先生を思ひ出した―」と。湯知縣は云ふ。「どの劉老先生だ」と。靜齋は云ふ。「諱は基だ、彼は洪武三年の開科の進士で、〃天下有道〃三句中の第五番だ」と范進挿んで云ふ。「想ふに第三番だらう」と。靜齋云ふ。「第五番だ、僕は其の墨卷を讀んでしまつたのだ。後翰林に入り、洪武偶々私行して彼の家に到つたとき丁度江南の張士が彼に一罎の小菜を送つて來た。面前で開いて見ると、すべて金の瓜子であつたので、洪武聖上は惱まれ、劉老先生を靑田縣知事に貶し、又毒藥を以て死せしめたのだ」と。湯知縣は、彼の懸河の如き辯を見、又是れ本朝催切の典故であり、信ぜざるを得なかつた。（つゞく）

日本の起つ時【五】

ゲオルギ・サコルスキー

日本が平和會議に來た時、東アジアに於ける指導的國家としての地位が社交的に認められた。しかし日本人は彼等があらゆる問題の中で、もつとも重要なものと考へて居たところの人種的平等の一點に於ては不面目極まる敗退を喫した。彼等が、その原則を平和條項中に挿入しやうと求めた時、それはウイルソンに依つて拒否された。ウイルソンが山東問題で日本側を支持し、合衆國が日本の南洋獨領管理反對を撤回した位のことでは人種としての日本人に加へた侮蔑を緩和しもせず、又できもしなかつた。恐らく合衆國内で、この論議を記憶してゐる人は極めて少いだらうが、日本では平和條約の中へ人種平等の條項を挿入しやうと努力した際に、合衆國が邪魔をしたといふことは、小學生でも知つて居るのである。

×

一九二〇年の協商の際に、アメリカの政策に對する日本の恐怖に添加されたところのものが始まつた。シンクレーア石油會社が北部樺太の油田の開發を目的として、ソウエート管制下の緩衝國「極東共和國」との間に一つの取りきめを作つた。シンクレーア石油會社はハーデイングの政治と密接な關係のあることが知れたので、日本人はその取りきめがアメリカ政府の官許を得て居るものと解した。

×

樺太はポーツマス條約によつて日露兩國で半分づゝもつて居る。一九二〇年に、シベリア遠征の一部として、日本軍はロシア領の北半分を占領したが、丁度その年にシンクレーア石油會社が協商をはじめたのであつた。これが日本人から見ればアメリカが又々日本の發展を邪魔するのだとしか思はれなかつた。合衆國は自國で消費するに必要な以上の石油をもつてゐるが、日本は油田に乏しいので、アメリカ政府はシンクレーア石油會社をつかつて日本が石油地方を獲得することを政治的に防がうとするのだと結論した。アメリカ人は日本から防禦用の物資を奪はうとするのだと感じた。さては合衆國が戰爭を目論んでゐるのだな、と考へたのである。

×

太平洋の平和の上からいへば幸にもシンクレーア會社は、この許可を失ひ、ロシアが再び北樺太を支配するやうになつてから許可は日本の石油業者團に與へられた。さもなかつたら、以上のことが日米開戰のキツカケとなつたかも知れない。

×

國務大臣ヒユーズは、一九二一年に日米間の緊張を緩和せしめるためにワシントン會議を開いた。日本は第二位におとされて會議は終つた。日英同盟は更新されなかつた。山東は支那へ還された（直接にではなかつたが兎にかく還された）支那の保護に關するアメリカの傳統を體現して居る九ヶ國條約が國際法と結びつけられた。軍備制限條約によつて日本は英米につぐ第三の地位を受容した。

×

それにも拘らず、この會議は日本の輿論をなだめ、合衆國内における反日感情を緩和した。合衆國はハーデイング・クーリツヂの繁榮の喜びに浸り、日本は一九二三年の大震災の復興事業及び支那に於ける通商及び地位の保護と發展とに忙殺されてゐた。一九二二―三〇年の八年間は一九二四年の移民法を別として、兩國間の好感の顯著な期間であつた。

×

これが一九三〇年及び三四年の海軍會議及び滿洲事變によつて破られてしまつた。兩方面ともアメリカの日本に對する態度は敵對視するやうになつた。兩方面に關して兩國には又々戰爭話が生れかへつて來た。海軍の平等については、若しアメリカが戰爭を豫想しないなら何故パリテイに反對するかを日本人は理解する事ができない。合衆國は、もし日本が戰爭を豫期しないなら、何故パリテイを固執するかといふ譯がわからないのである。滿洲國については、合衆國は一般に二十一個條の要求や、山東の略取や、シベリア遠征などの時と同樣に、日本信ずべからずと感じて居るのである。日本は誰彼の別なく、發展の機會の爲には他人の損害を意としないで振舞ふと信じられてゐる。加之、日本を相手としては如何な條約も、取きめも効がなく、日本の公的陳述も信頼できない。蓋し政府の一部のものが、他部の行つてゐることを知らずに居るといふやうなことが信じられてゐるのである（つゞく）

書顔

古川賢一郎

もうなにも云ふことがない。
孤獨な騎惰のくさむらに寢て
ひやりとした觸覺をたのしみに
たぶひつそりと生きて行き給へ
そしてほのかなるこゝろのいろと
數々の小さな葉つぱを身につけ
ひねもす砂壓の中でその脈を守り給へ。
あゝ 荒野の灼けつくやうな
あらあらしい精樂の土に芽生えて
あなたはあなたの生活を
いとほしく哀しく汚し給へ。
さようなら。わたしは獨り
果なきたつきの北方へ向ふ。
ひるがほや林士娘の眞ツ平

ブツクレヴユウ

滿洲國とはどんな處か（清水國治著）著者は十數年來大連の操觚界にあり、滿洲事變突發するや、關東軍囑託として第一線に活躍する皇軍將兵の辛苦を具に視察し以て國民の愛國的熱情の昂揚に資すべき資料蒐集のため殆ど全滿を行脚したが、本書はその踏査と多年研究の結晶にして滿蒙の興亡史、史蹟、名所、風物、人情、風俗、民習、文藝など凡ての社會事象に亘つて苟くも興味ある事項は盡く敍述し、行文流麗、興味津々たる滿蒙風土記にして寫眞も二百餘葉を添へてゐる（東京日本橋吳服町大阪屋號、一・五〇錢）

・ヤア諸君（四月號）東京、京橋西八丁堀文映社、一〇錢
・斯民（七號）新京、中央通滿鮮ビル其社、五分
・滿洲消防新報（十七號）大連、越後町二八其社、一五錢
・中外公論（三月號）東京、京橋木挽町泰豐ビル其社、三〇錢

謹奉迎滿洲國皇帝陛下

表彰狀

避雷裝置 延原觀太郎殿

優秀ナル發明ヲ完成シ我邦産業ノ興隆ニ裨補セラル其功勞洵ニ顯著ナリ仍テ玆ニ之ヲ表彰ス

昭和十年三月二十二日

大阪市長加々美武夫

社長 延原觀太郎

此度大阪市長から發明功勞者として表彰せられたる私の避雷裝置の特徴は放電容量最も大にして雷の直擊放電に堪へ是れを高壓配電線路に用ひて電燈電力の停電を防止し又特高用としては送電線の落雷停電を防止するを得又遮斷裝置を有する爲め避雷器より絶對に事故の起らざる事が特徴にて又其の發明の實施せられたる事が世界的に早かりし事でありますが此發明品が大量に實施せられたるは卒先御使用各位の御同情の賜と感謝致します。

電力界の福音

塔上用避雷裝置の應用によりて在來の一五四、〇〇〇V送電線にて一三〇、〇〇〇V送電可能なるを立證せられたり。鐵塔改造問題は之れによりて解決せらる。

塔上用避雷裝置の實蹟によりて線路に加はる數百萬**ヴオルト**の異狀電壓は完全に放電せられ、又塔上避雷裝置の放電狀態(碍子の耐壓力の七〇%以上を放電するは雷の直擊電壓而已なり)より視るも年中送電線路には雷の直擊以外には碍子を破る異狀電壓の起り居らざるの事實判明せり。

又從來避雷裝置無き送電線路に於て雷の直擊によりて懸垂碍子拾枚中八枚迄を燒破せられ、殘る二枚丈けにて雷雨中一五四、〇〇〇Vの送電を繼續するも支障なき事實より觀るも現在の送電線が使用電壓に對して如何に不必要なる過剩碍子を使用せしやを知らる、卽ち塔上避雷裝置によつて雷電壓を合理的に放電せしむるを得ば、在來の一五四、〇〇〇V送電線にて一三〇、〇〇〇Vの送電するも猶ほ十分なる餘裕を存するものなり

特許 延原式 塔上用避雷裝置

本器は朝鮮送電株式會社北鮮橫斷大幹線の全線に使用せらる因に北鮮橫斷幹線は長津江水電株式會社發電所(咸鏡南道咸州郡下岐川、發電容量三二〇、〇〇〇kW)より平安南道平壤に至り更に南下して京城に至る全朝鮮電力系統の大主幹線たり

一、本器を送電線路に使用するに當りて三相六線式一組を三分して一相二線分宛を一鐵塔に分設することにより本器の經濟的効果は三倍に擴大せられたり
二、本器は**タイムラグ**絶無にして放電動作絶對確實、放電容量世界無比
三、其添附特許可熔片は廉價にして取扱簡單、遮斷容量絶大
四、猛烈なる雷の直擊放電に非ざれば**フユーズ**は遮斷せず(普通放電は**ギヤツプ**の消弧作用で消滅す)
五、故障絶無、耐久力半永久的(構造上老朽部なし)

大阪大仁

延原製作所

電話福島 長二五一〇番 長二五一一番 二五一二番

男
介 畫

一個をそんなに[illegible]思はず呆れて眼を見張つた巳之助の前で、小梅の着物がするりと辷つた。

裸體になると、それでも流石に羞しさうに、唇をむすんで微笑ひ乍ら、眼で巳之助をやさしく睨んだ。

小梅はのめ〳〵と湯ぶねのふちにしやがんだ。肉づきの豐な肌が雪のやうに白いのである。腰から膝へかけての曲線も、なめらかにむつちりと盛りあがつてゐる。すべてが、わざと人を誘ふやうな媚態なのだ。

入れ代りに巳之助が默つてそつけなく上らうとすると、

「まア逃げるのかい、お前さん……」

と小梅の手が、すばやく、お湯をくゞつてからんで來た。

「昨夜のお禮も云ひたいし、逢つていろ〳〵話もしたいと、わざわざかうして訪ねて來たのに、お前も薄情なおひとだねえ。ひよいと覗いたこの湯小屋に、お前をみつけた時のうれしさ、幸ひほかに邪魔はゐないし、妾ア胸も飛び立つばかりで、これも神樣のお蔭かとそつとあなた、心の中で手を合せて泣いたんですよ……」

怨めしさうな眼眸で、ぢいつと小梅に見つめられると、そのまゝ巳之助は、湯ぶねの隅に腰をおろして、動けなくなつてしまつた。

月明りを湛へた湯ぶねに、滿足さうな小梅の顏が浮んでゐた。小梅は悠々と髮の毛をかきあげてゐる。

すると、白粉と髮油の匂ひが、甘く惱ましく、湯氣ににぢんで、漂つてくるのであつた。

「ねえ」

と鼻にかゝる聲で、小梅は白い齒を見せ乍ら、

「昨夜はほんとに有難うよ。救けられてこんな事を云ふつチやア、何だか御世辭めくけれど、お前の啖呵の齒切れのよさ、妾ア胸がスーツとした。あの大浦の岩太郎が、グウの音も出なかつたねえ。やつぱり流石にお前だと、思ひ出した時のうれしさ。何しろ昨夜はあのざまだつたし、お前はお前で商人に化けてゐたから分らなかつたがねえ巳之さん、思ひがけないこの土地で、お前に逢へようとは思はなかつた。夢のやうで、嬉しくて

……日になるのを待……ふら〳〵と追ひかけて來てしまつた……」

小梅はそれがテレかくしの、ほろ苦く微笑ひつゝ、

「旅から旅の渡り鳥、今ぢやアこんな見るかげもない旅藝者だが、巳之さんお前おぼえてゐよう。いへば妾の恥さらしだが、甲州でお前さんにこつぴどくふられた女さ。ねえおぼえてゐたら一度でいゝ、少しやア妾の氣持にもなつてみておくれでないか。ねえ可哀想だと思つてさ、ねえ、巳之さん……」

と窓を指さし、

「幸ひ今夜は、ふたりの話を聞いてゐるのは、あのお月樣たつたひとり……」

ほんの少しでも笑つてみせれば巳之助の腕の中に、小梅はすぐ崩れかかつて來たかもしれぬ。だが巳之助は默してゐた。默つてそつぽを向いてゐるのだ。

「呆れたのかえ、巳之さん……」

それにも巳之助は返事をしないで、立上つた。きつい聲が、口惜しさうに、

「まアお待ちつ」

だが巳之助は唖のやうに、さつさと着物を抱へると、ニベもなく湯小屋を出て行かうとした。

「ぢやア巳之さん、お前あくまでシラを切る氣かへ。フン甲州の勝沼一家にやア、確か狼煙の巳之助といふ、いい賭博打がゐた筈だつた……」